

令和6年度 事業概要



茨城県教育研修センター



目 次

茨城県教育研修センターの概要	1
茨城県教育研修センターの事業	2
茨城県教育研修センター施設案内図	3
茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標	5
1 研修に関する事業	
(1) 研修体系	
ア 教職員の資質・能力の向上を目指す研修体系	11
イ キャリアステージに応じた教員研修	12
(2) 研修講座一覧（育成指標との対応）	13
(3) 研修講座の受講申込み	18
(4) 研修講座の受講者決定	18
(5) 各種届の提出	19
(6) 研修講座資料等の提供方法	20
(7) 経費	20
(8) 緊急時の連絡方法	20
(9) 研修講座等日程一覧	21
(10) 研修講座実施要項	
ア 基本研修	33
イ 専門研修	
(ア) 悉皆研修	88
(イ) 推薦研修	
a 概要	122
b 実施要項	124
(ウ) 希望研修	
a 概要	132
b 実施要項	140
(11) 公開講義	193
(12) 特別研修	
ア 長期研修（内地留学）	196
イ スキルアップ研修	196
ウ 指導改善研修	196
2 教育研究に関する事業	197
3 研修支援に関する事業	199
4 教育相談に関する事業	202
5 教育情報の収集及び提供に関する事業	203
6 茨城県教育情報ネットワークに関する業務	204
7 いばらき輝く教師塾（Ⅰ期・Ⅱ期）	205
8 その他の事業	
(1) 茨城大学教職大学院との連携	208
(2) 常磐大学との連携	208
(3) 茨城キリスト教大学との連携	208

※ 本事業概要に掲載されている内容は、都合により変更場合があります。

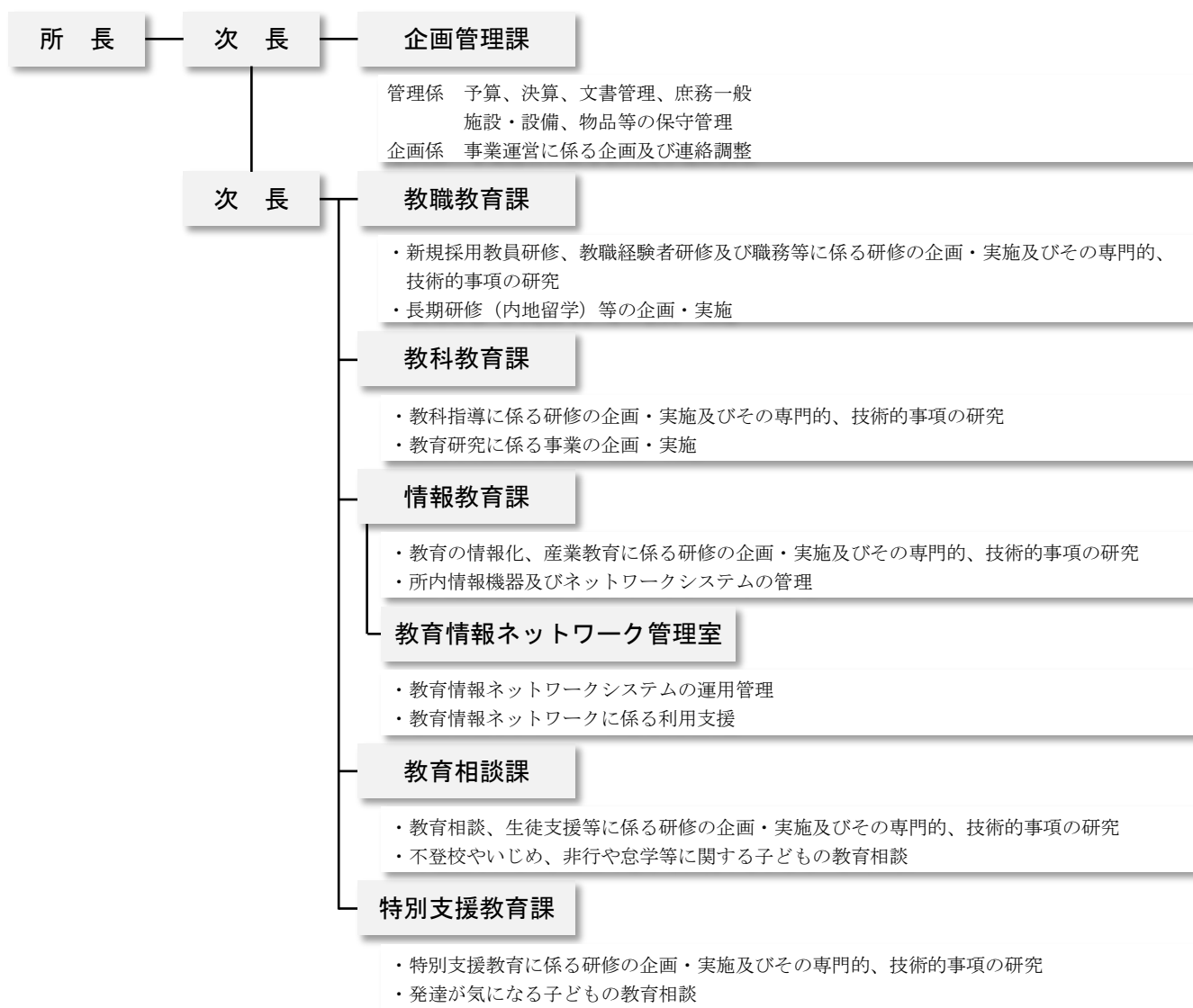
※ 本事業概要では、茨城県教育研修センターを、教育研修センター、研修センター、センターと略記しています。

茨城県教育研修センターの概要

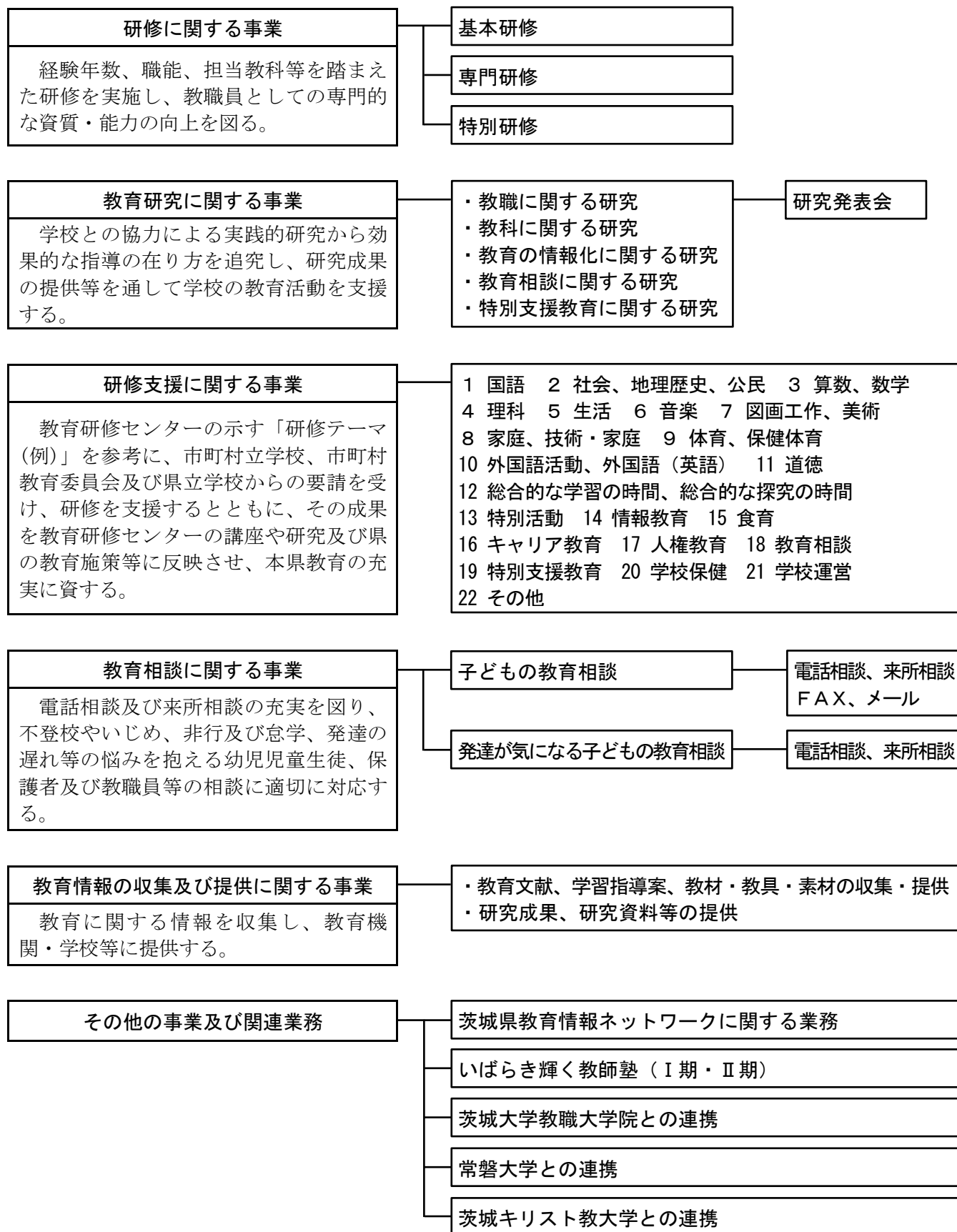
沿革

昭和37年 6 月	茨城県立理科教育センターを設置
昭和39年12月	茨城県立理科教育センターを廃し、茨城県立教育研修センターを設置
昭和40年 4 月	茨城県立教育研修センターの業務開始
昭和52年 3 月	茨城県立情報処理教育センター管理規則制定
昭和52年 4 月	茨城県立情報処理教育センターを設置
昭和60年 3 月	教育庁内に茨城県立総合教育研修センター（仮称）建設調査委員会設置
平成元年 4 月	教育庁指導課内に茨城県立総合教育研修センター（仮称）調査準備室設置
平成 3 年12月	学校以外の教育機関の設置、管理及び職員に関する条例の一部を改正する条例が制定され「茨城県教育研修センター」設置決定
平成 4 年 4 月	茨城県立情報処理教育センターを統合し、茨城県教育研修センターを設置
平成 6 年 4 月	6 課制が 8 課制に組織改編
平成11年 4 月	8 課制が 6 課制に組織改編
平成15年 4 月	「特殊教育課」を「特別支援教育課」に改称
平成16年 4 月	教職教育課内に「特別研修室」を設置
平成17年 4 月	企画管理課内に教育情報ネットワーク室を設置
平成19年 4 月	教育情報ネットワーク室を企画管理課から情報教育課に移管
令和 4 年 4 月	教職教育課内に学校経営支援グループを設置

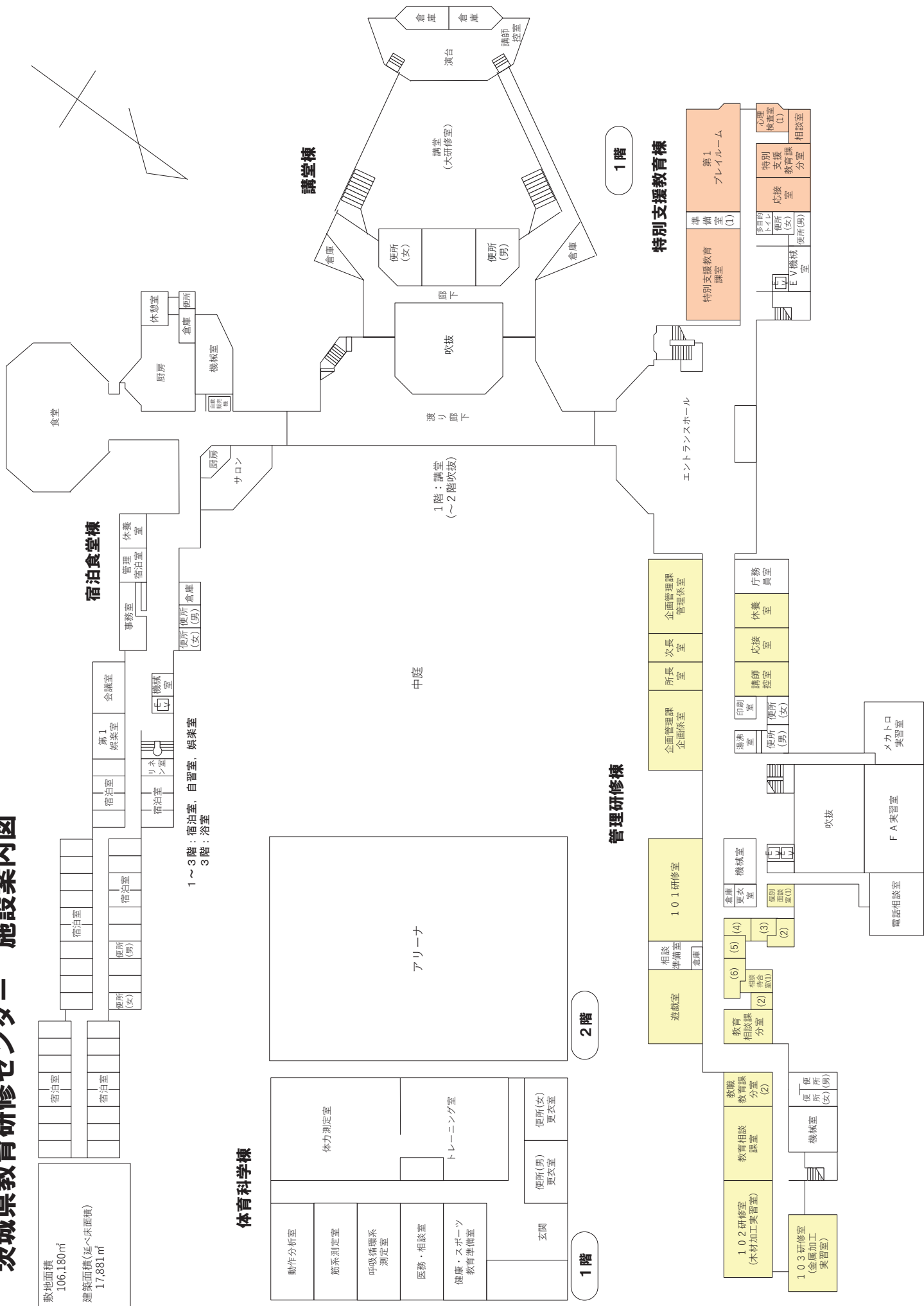
組織



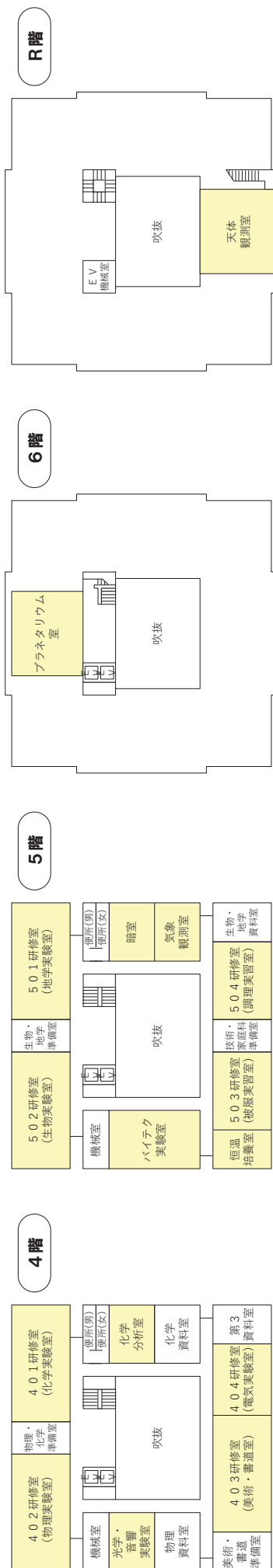
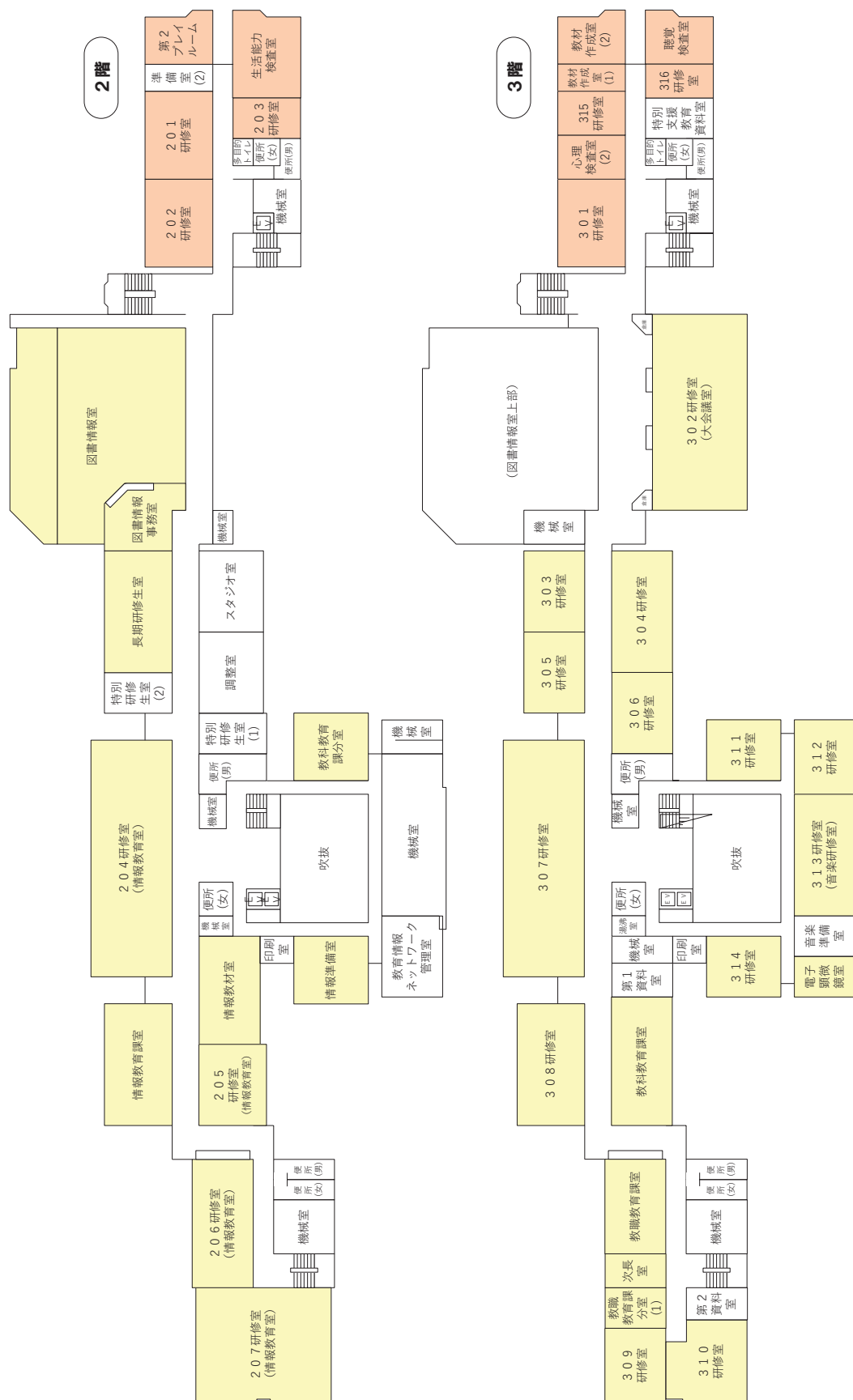
茨城県教育研修センターの事業



茨城県教育研修センター 施設案内図



- ・ 数値 3 桁で表記。左端 1 桁は階、右 2 桁はその階での連番。
- ・ 情報教育研修室や、教科教育の実験室等は、（ ）内に用途を表記。



茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標

校 長
令和5年2月

項 目	指 標
① 学校経営 ※学校組織マネジメント	☐ 児童生徒や学校を取り巻く環境の変化を的確に捉え、法令や国・県・市町村の教育施策を踏まえた上で、教育の在り方を熟慮し、改革を果敢に行うことができる。 ☐ 学校の教育目標について、学校の実態を踏まえ、教職員、児童生徒、保護者、地域の方々と連携しながら適切に作成し、公表することができる。 ☐ 学校の教育目標達成へ向け、研究体制を含む必要な組織体制を整備し、教職員を牽引することができる。 ☐ 学校の教育目標については、達成状況を常に検証し、結果を公表するとともに、それを踏まえて見直しを行うことができる。
② 学校管理 ※リスク・マネジメント クライシス・マネジメント	☐ 日頃から、災害や学校事故等に備えて緊急時の安全・救急体制を整備し、防止のための諸行動を計画的・効果的に教職員に指導・助言することができる。 ☐ 災害や学校事故等の不測の事態に対して、冷静かつ迅速に判断・指示し、教職員に組織的な行動をとらせることができる。 ☐ 学校運営にあたり、教職員とともに、どのような人的・物的・財政的・情動的な資源が必要かを考えて予算を立て、効果的・効率的に執行することができる。
③ 教育計画 ※カリキュラム・マネジメント	☐ 学校の教育目標の実現のため、児童生徒の実態に基づいて、適切な教育課程を編成し、教職員に指導・助言をすることができる。 ☐ 学校の教育目標の実現のため、教科・領域ごとの教育計画を立案し、教育活動を効果的に実践することができる。
④ 人材育成及び服務監督	☐ 児童生徒の能力の開発のために、教員が高い意欲をもって自己研鑽に努められるよう、教員一人一人の実態を把握しながら適切な指導・助言をすることができる。 ☐ 教職員集団が、日々の教育実践を通して、お互い協力し高め合いながら、教育活動を進める学び合いの場となるよう、教職員を支えることができる。 ☐ 法令遵守について高い意識をもち、自らが模範を示すことにとどまらず、教職員全員にコンプライアンス意識を定着させることができる。 ☐ 教員がより高いパフォーマンスを発揮できるよう、勤務時間を適切に把握し業務の軽減を図るなど、働き方改革を進めることができる。 ☐ 教職員の心身の健康管理に努めるなど、教職員のワークライフバランスに関して適切な指導・助言をすることができる。
⑤ 連携・協力体制の構築	☐ 特別な配慮を必要とする児童生徒に対して適切な指導が行えるよう、関係機関と連携・協力体制を構築するとともに、教職員に指導・助言をすることができる。 ☐ 開かれた学校づくりを推進するため、様々な方法で、学校のビジョンや教育活動の実態についての情報を発信することができる。 ☐ 家庭や地域社会からの信頼と連携・協働の意識を得ることができるよう教職員に指導・助言をすることができる。
⑥ 職務遂行能力	☐ 学校の最高責任者として、高い使命感と誠実、公正、公平の意識を備えるとともに、自らの言動を絶えず省察し、校長職としての自己研鑽に努めることができる。 ☐ 豊かな経験と広い視野に基づき、児童生徒の成長を考え、校長としての考えを児童生徒・保護者・教職員等に説得力をもって伝え、行動の変容を促すことができる。

茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標

共 通
令和5年2月

※共通の対象：教諭（講師含む）、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、養護教諭、栄養教諭
※小：小学校・義務教育学校前期課程、中：中学校・義務教育学校後期課程・中等教育学校前期課程、高（・高校）：高等学校・中等教育学校後期課程

Ⅰ 基本的資質				
■ 1 教職に必要な素養				
採用時の姿	※第1期～第4期…教員のキャリアを、経験年数を基に4期に分類			
	第1期（形成期）1～5年	第2期（成長期）6～11年	第3期（発展・充実期）12～23年	第4期（貢献・深化期）24年～
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、 若手教員への支援	学校運営への貢献、 若手・中堅教員への支援
（1）社会人として	☐ 人間性が豊かで、言葉遣い、あいさつ、礼儀等の備えておくべきマナーをもって行動することができる。 ☐ ダイバーシティに関する知識があり、人権感覚を持って寛容の精神で人と接することができる。 ☐ 飲酒運転・性犯罪・暴力等についてコンプライアンス意識をもち、社会人として自分を律することができる。 ☐ 相手を尊重し、コミュニケーション力を生かして、良好な対人関係を構築することができる。 ☐ 働き方改革の意識をもち、タイムマネジメント及びストレスマネジメントに配慮し、心身の健康の維持・増進に自ら努めることができる。			
（2）教員として	☐ 子供が好きで、一人一人の子供の捉え方が異なることを理解し、一方的でなく、個々の子供に寄り添った関係づくりができる。 ☐ 学習指導に際し、子供の既知等のレディネスを把握した上で、教材の選択や効果的な指導・支援方法を工夫することができる。 ☐ 自身の経験した過去より子供たちが生きる未来に目を向けて、キャリア形成につながる学びを提供できるよう、研修を重ねることができる。 ☐ ニーズが多様化する児童生徒や保護者等に柔軟に対応するとともに、困難な場合には上司や同僚から援助を受けて解決することができる。 ☐ 教育者として厚く信頼されるに足るコンプライアンス意識を有し、高い使命感をもって教育活動に勤しむことができる。 ☐ 教職員組織の一員として、カリキュラム・マネジメントに基づき、他の職員と協働し、実践と研修を続けることができる。			

Ⅱ 専門職としての教員に求められる力量				
■ 2 児童生徒の主体的・対話的で深い学びを支える授業力				
採用時の姿	※学力の三要素…「知識・技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」			
	第1期（形成期）1～5年	第2期（成長期）6～11年	第3期（発展・充実期）12～23年	第4期（貢献・深化期）24年～
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、 若手教員への支援	学校運営への貢献、 若手・中堅教員への支援
（1）学習指導要領の理解等	☐ 学習指導要領の主な目標を理解している。 ☐ 学力の三要素のそれぞれを育む重要性を理解している。	☐ 教科・学年・分掌部の目標における、指導内容、指導方法を理解している。 ☐ 学力の三要素の育成を目指しての指導ができる。	☐ 学習指導要領の内容の系統性（学年間、教科間、校種間）を理解している。 ☐ 学力の三要素を育むために効果的な指導ができる。 ☐ 学習指導に、積極的に外部人材（専門家）等を活用できる。	☐ 学習指導要領の内容の系統性を深く理解し、他の教員に指導・助言できる。 ☐ 学力の三要素の育成について、他の教員に指導・助言できる。
（2）授業の展開	☐ 授業（単元）を成立させるための要件（学習課題や評価基準の設定、評価方法等）を理解している。 ☐ 身に付けさせたい力に応じて教材を選択することが重要であると理解している。 ☐ 対話・体験・協働の場を設定することが重要であることを理解している。	☐ 児童生徒の実態に応じた評価基準を設定することができる。 ☐ 本時の目標を達成させる授業をすることができる。 ☐ 単元のとまとめの時間に学習のリフレクションを取り入れることができる。 ☐ 単元の中で、児童生徒の対話・体験・協働の場面を取り入れることができる。	☐ 単元の評価基準を適切に設定した上で指導計画を作成し、「導入・展開・まとめ」のつながりを考えて授業を実践できる。 ☐ 単元のとまとめの時間にリフレクションを取り入れて、単元目標の達成状況を分析し、次の単元の指導に生かすことができる。 ☐ 単元目標の達成状況を評価する当たり、学習成果を表現・発信する場を設けることができる。 ☐ 学習内容に応じて、児童生徒が自ら対話・体験・協働の学び方を選択できるような場面を設けることができる。	☐ 個々の教員の授業の実態を把握し、適切な指導・助言を行うことができる。 ☐ 単元における、児童生徒の対話・体験・協働の場面に関して、教員に指導・助言を行うことができる。

■ 2 児童生徒の主体的・対話的で深い学びを支える授業力

※ HR：ホームルーム（高）、「道徳」：「特別の教科 道徳」（小・中）

採用時の姿	第1期（形成期）1～5年	第2期（成長期）6～11年	第3期（発展・充実期）12～23年	第4期（貢献・深化期）24年～
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、若手教員への支援	学校運営への貢献、若手・中堅教員への支援
（3）教育課程、主体的・対話的で深い学び				
□ 学習課題、評価規程の設定の重要性を理解している。	□ 各教科・領域の役割を理解し、指導することができる。	□ 各教科・領域の目標に照らし、育みたい資質・能力の定着状況を把握している。 □ 把握した定着状況を基に、指導を改善することができる。	□ 教育課程編成表の内容を理解している。 □ 学校全体の指導計画を推進するための体制づくりを担うことができる。	□ カリキュラム・マネジメントを担い、教育課程の編成及び年間指導計画の作成を中心となって推進することができる。
□ 授業の立案に、主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れることが重要であることを理解している。	□ 授業を計画し、実践することができる。	□ 思考力、判断力、表現力等を育成することができる。	□ 思考力、判断力、表現力等の育成について、若手教員に助言することができる。	□ 教員の授業改善に向けた組織体制を構築することができる。
（4）探究的な（課題解決重視の）学び、ICTの活用				
□ 社会の急激な変化に対応するため、児童生徒が自ら問題を見出し、考え、他者と協働し、試行錯誤しながら解決に向けて行動する人材を育むための探究的な（課題解決重視の）学びが重要であることを理解している。	□ 探究的な学びを軸とした授業を実施することができる。 □ 児童生徒が疑問点を表明できる場面を設けることができる。	□ 探究的な学びを軸とした授業を工夫して実践できる。 □ 児童生徒が疑問点の解決に向けて試行錯誤できる場面を設けることができる。	□ 探究的な学びを軸とした授業を実践し、公開できる。 □ 探究的な学びをとらえて、児童生徒が自ら次なる課題を想起する授業を実践することができる。	□ 探究的な学びについて、児童生徒が自ら課題を見つけ、年間を通じて疑問を持ち続ける学習ができるよう教員に指導・助言することができる。
□ ICT活用の最新の知識及び技術を理解している。 □ 授業におけるICT活用の意義や方法を理解している。	□ 個別最適な学びと協働的な学びを充実させるために、ICTを活用した授業を実践することができる。	□ 個別最適な学びと協働的な学びを充実させるために、ICTを活用した授業を実践し効果を上げることができる。	□ ICTを活用した教科指導を積極的に推進し、教員に指導・助言することができる。	
（5）特別活動（シティズンシップ教育等）				
□ 子どもの権利条約に掲げられた意思決定・意見表明に係る教育の必要性を理解している。 □ よりよい社会の創造に貢献する市民となる資質を育む教育の重要性を理解している。	□ 学級会・HR活動において、係活動や役員選挙、ルールづくりなど、児童生徒の意思決定・意見表明の機会を設けることができる。	□ 学年行事・学校行事等において、学級・HRや学年の意見を集約し、反映させる自治的な取組を企画・実践し、望ましい集団づくりを推進できる。	□ 児童会・生徒会活動等において、学年等の意見を集約し反映させる体制づくりやリーダー育成を中心となって推進することができる。	□ 地域と連携して、自治体等の社会の体験的活動への参画を促進することができる。 □ 自治的な取組について、他の教員に指導・助言することができる。
（6）道徳教育				
□ 道徳教育の目標を理解している。 □ 道徳教育は、小・中では「道徳」、高では「公民科」「特別活動」を要として、学校の教育活動全体を通じて行うものであることを理解している。	□ 小・中では「道徳」において、協働的な学びを取り入れた授業を構想し、実践することができる。 □ 高校では各教科・科目等において、協働的な学びを取り入れた道徳教育に係る授業を構想し、実践することができる。	□ 小・中では「道徳」において、協働的な学びの充実を図った授業を展開することができる。 □ 高校では各教科・科目等において、協働的な学びの充実を図った道徳教育の授業を展開することができる。	□ 小・中では「道徳」において、協働的な学びの充実を図った授業を公開することができる。 □ 高校では、道徳教育に係る授業等の取組を公開することができる。	□ 小・中では、「道徳」における協働的な学びを取り入れた効果的な指導法を、他の教員に指導・助言することができる。 □ 高校では、各教科・科目等における道徳教育の実践について、他の教員に指導・助言することができる。

■ 3 児童生徒を理解し支援する力

採用時の姿	第1期（形成期）1～5年	第2期（成長期）6～11年	第3期（発展・充実期）12～23年	第4期（貢献・深化期）24年～
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、若手教員への支援	学校運営への貢献、若手・中堅教員への支援
（1）子供の心身の発達への理解				
□ 児童生徒の心身の発達に関する知識を身に付けている。 □ 児童生徒の行動の背景を把握することが重要であることを理解している。	□ 児童生徒の行動を多面的にアセスメントし、面談等をおとして、行動の背景等を把握することができる。	□ SCやSSW等の助言を、児童生徒の行動やその背景等のアセスメントに生かすことができる。	□ SCやSSW等の助言を生かして、アセスメントの方法等を改善し、校内で共有することができる。	□ アセスメントの方法等の改善やSC・SSW等の活用について、教員に指導・助言することができる。
（2）チーム支援				
□ 困難等を抱えた児童生徒に対しては、チームとして支援に当たることが重要であることを理解している。	□ 所属する学年等の教員と、情報を共有することができる。	□ 学年等のチームで決定した支援策を一員として適切に実践することができる。	□ 学年等のチームの会議において、支援策を提案することができる。	□ 学年等のチームにおいて、中心となって支援策を推進することができる。
（3）教育相談				
□ 基本的な理論や意義を理解している。 □ 公平かつ受容的・共感的な態度で児童生徒と関わるることができる。	□ 児童生徒との丁寧な関わりを心がけ、信頼関係を築くことができる。	□ カウンセリングマインドを身に付け、よりよい人間関係づくりに努め、児童生徒や保護者と信頼関係を築くことができる。	□ カウンセリングマインドを生かして児童生徒や保護者に寄り添った対応ができる。	□ 学校や関係機関等と保護者の連携の在り方について、教員に指導・助言することができる。
（4）いじめ対応				
□ いじめはどの子供にも、どの学校でも起こりうるということを理解している。 □ 法に示すいじめの定義を理解している。 □ 校内暴力、児童虐待等のいじめ以外の学校における生徒指導上の諸課題を理解している。	□ 法が示すいじめ対応の手順を理解し、組織の中において実践できる。 □ 児童生徒を支援するチームの一員として、自分の役割を理解し、教職員間の連携方法を身に付けることができる。	□ 法が示すいじめの未然防止に係る様々な取り組みについて計画し、実践できる。	□ いじめの未然防止や解消に向け、専門家を活用して取り組むことができる。 □ 専門家や関係機関等との連携や校内の協力体制の整備に積極的に関わることによって、児童生徒や保護者等を指導・支援することができる。	□ いじめの未然防止と解消に関する幅広い知識をもち、解決へ向けた校内のチーム支援の中心的な役割を担うことができる。 □ 解決や支援の過程・結果を検証し、未然防止へ向けて教員に指導・助言することができる。
（5）キャリア教育				
□ キャリア教育の意義や基礎的な知識を理解している。	□ キャリア教育で育成すべき諸能力を理解し、キャリア教育を実践することができる。	□ キャリア教育で育成する基礎的・汎用的能力が身に付くよう、個に応じた適切な指導を行うことができる。		□ キャリア教育の全体計画・指導計画を作成することができる。 □ 計画に沿った教育活動を教員に指導・助言することができる。

■ 4 特別な配慮を必要とする児童生徒を支援する力

採用時の姿	第1期（形成期）1～5年	第2期（成長期）6～11年	第3期（発展・充実期）12～23年	第4期（貢献・深化期）24年～
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、 若手教員への支援	学校運営への貢献、 若手・中堅教員への支援
（1）特別支援学校・特別支援学級・通級による指導				
☐ インクルーシブ教育の理念を踏まえた特別支援教育に関する基礎的な知識を身に付けている。 ☐ 自立活動の指導に当たっては、個々の障害の状態や、発達段階等に応じて行うことが重要であることを理解している。 ☐ 各教科等の学習指導においては、自立活動と密接な関連があることを理解している。	☐ 適切な実態把握の下、「個別的教育支援計画」、「個別の指導計画」について、作成の意義を理解した上で、立案し、実践することができる。 ☐ 効果的な指導形態・指導方法を工夫することができる。	☐ 保護者や関係機関、教員との連携を図ることができる。 ☐ その上で、個々の自立と社会参加を見据えた「個別的教育支援計画」、「個別の指導計画」を立案し、指導や支援に生かすことができる。 《特別支援学校》 ☐ 幼児教育施設、小・中・高校等に対し、対象幼児児童生徒への指導・支援に関して助言・援助することができる。	☐ 他の教員に特別支援教育の視点に基づいた適切な助言を行うなど、校内で中心的な役割を担うことができる。	☐ 校種間の円滑な接続による一貫した教育支援や、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を中心となって推進できる。 ☐ 上記について、他の教員に必要な助言を行うことができる。
（2）（1）以外における特別支援教育				
☐ すべての学校・学級に対象児童生徒が在籍していることを理解している。 ☐ 特別支援教育の基礎的な知識を理解している。	☐ 「個別的教育支援計画」、「個別の指導計画」を活用し、個に応じた指導や必要な支援を行うことができる。	☐ 特別支援学級の担任と連携を図りながら、当該児童生徒に対して適切な指導ができる。	☐ 管理職や特別支援教育コーディネーターと連携を図りながら、他の教員に対し、特別支援教育の視点に基づいた適切な助言を行うことができる。	☐ 校種間の円滑な接続による一貫した教育支援や、保護者や地域、関係機関と連携した支援の体制構築を中心となって推進することができる。 ☐ 上記について、他の教員に必要な助言を行うことができる。

■ 5 学級・学年の経営と学校の運営に関する力

採用時の姿	第1期（形成期）1～5年	第2期（成長期）6～11年	第3期（発展・充実期）12～23年	第4期（貢献・深化期）24年～
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、 若手教員への支援	学校運営への貢献、 若手・中堅教員への支援
（1）学級・学年の経営				
☐ 学級（HR）経営に当たっては、児童生徒の人間関係づくりや集団づくり、児童生徒の自治的な能力を育成することが重要であると理解している。	☐ 学校及び学年の組織目標を理解し、学級（HR）経営を行うことができる。 ☐ 児童生徒の自治的な能力を把握し、学級（HR）経営に生かすことができる。	☐ 学級や集団の状況及び課題を把握できる。 ☐ 児童生徒の自治的な能力に応じて、学級（HR）運営を担わせることができる。	☐ 保護者との信頼関係を基に協力体制を構築して、円滑な学年経営を行うことができる。 ☐ 児童生徒の好ましい人間関係づくり等、学年や学級（HR）経営について教員に指導・助言することができる。 ☐ 児童生徒の自治的な能力を引き出すとともに、学年運営や学級（HR）運営の中心に据えて教育活動を行うことができる。	
（2）学校組織マネジメント				
☐ 大学等において、サークルや団体活動等の運営に主体的に関わることができた。 ☐ 学校組織の特徴や役割を理解している。	☐ 学校教育目標を理解し、所属組織の目標達成に向け業務に当たることができる。 ☐ 学校教育目標を達成するために、他の教員と連携することができる。	☐ 学校教育目標を達成するために、所属組織の行事等について、企画・実行・検証・改善を行うことができる。 ☐ 所属組織が主管する行事等において、教職員の協働体制を構築することができる。	☐ 学校教育目標の実現に向け、個々の教員の特性を把握した上で、教員に指導・助言するとともに、学校外部との協力体制を構築することができる。 ☐ 家庭や地域社会、関係機関と連携するなど、学校内外の教育資源を活用し、学校の全体計画の立案・実行・評価・改善を行うことができる。	
（3）リスクマネジメント				
☐ 学校における子供の安心・安全を常に意識し、対応すべきであると理解している。	☐ 安全指導や防災教育等、児童生徒の安全の確保に向けて適切な指導ができる。 ☐ 事故発生時に的確な判断及び迅速な対応を行うことができる。 ☐ 情報モラル、情報セキュリティに関する最新の知識・技術を理解することができる。	☐ 安全指導や防災教育等の実施を計画し、児童生徒の安全の確保に努め、教員に指導・助言することができる。 ☐ 情報モラル、情報セキュリティに関する最新の知識・技術を理解し、指導・助言することができる。 ☐ 児童生徒の安全の確保のための管理及び非常事態に対応するための危機管理を行うことができる。		

茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標（特記事項）

【副校長・教頭】特記事項		令和5年2月
項 目	特記事項	
① 学校経営 ※学校組織マネジメント	☐ 児童生徒や学校を取り巻く環境の変化を的確に捉え、法令や国・県・市町村の教育施策を踏まえた上で、校長と同様の視点をもって校長を補佐し、教育の在り方を熟慮し、校長の行う改革を支えることができる。	
	☐ 学校の教育目標について、校長を補佐し、学校の実態を踏まえ、教職員、児童生徒、保護者、地域の方々と連携しながらその作成や公表を支えることができる。	
	☐ 学校の教育目標達成へ向け、校長の指示のもと、研究体制を含む必要な組織体制を整備し、教職員を牽引することができる。	
	☐ 学校の教育目標については、校長の指示のもと、達成状況を常に検証し、結果を公表するとともに、それを踏まえて見直しを行うことができる。	
② 学校管理 ※リスク・マネジメント クライシス・マネジメント	☐ 校長を補佐し、日頃から、災害や学校事故等に備えて緊急時の安全・救急体制を整備し、防止のための諸行動を計画的・効果的に教職員に指導・助言することができる。	
	☐ 災害や学校事故等の不測の事態に対して、冷静かつ迅速に判断・指示し、教職員に組織的な行動をとらせることができる。	
	☐ 校長の指示のもと、学校運営にあたり、教職員とともに、どのような人的・物的・財政的・情動的な資源が必要かを考えて予算を立て、効果的・効率的に執行することができる。	
③ 教育計画 ※カリキュラム・マネジメント	☐ 校長の指示のもと、学校の教育目標の実現のため、児童生徒の実態に基づいて、適切な教育課程を編成し、教職員に指導・助言をすることができる。	
	☐ 校長を補佐し、学校の教育目標を実現するため、教科・領域ごとの教育計画を立案し、教育活動を効果的に実践することができる。	
④ 人材育成及び服務監督	☐ 児童生徒の能力の開発のために、教員が高い意欲をもって自己研鑽に努められるよう、教員一人一人の実態を把握しながら適切な指導・助言をすることができる。	
	☐ 教職員集団が、日々の教育実践を通して、お互い協力し高め合いながら教育活動を進める、学び合いの場となるよう、教職員を支えることができる。	
	☐ 法令遵守について高い意識をもち、自らが模範を示すことにとどまらず、校長を補佐し、教職員全員にコンプライアンス意識を定着させることができる。	
	☐ 教員がより高いパフォーマンスを発揮できるよう、勤務時間を適切に把握し業務の軽減を図るなど、校長を補佐し、働き方改革を進めることができる。	
	☐ 教職員の心身の健康管理に努めるなど、教職員のワークライフバランスに関して適切な指導・助言をすることができる。	
⑤ 連携・協力体制の構築	☐ 校長の指示のもと、特別な支援や配慮が必要な児童生徒に対して適切な指導が行えるよう、関係機関と連携・協力体制を構築するとともに、教職員に指導・助言をすることができる。	
	☐ 校長の指示のもと、開かれた学校づくりを推進するため、様々な方法で、学校のビジョンや教育活動の実態についての情報を発信することができる。	
	☐ 校長を補佐し、家庭や地域社会からの信頼感と連携・協働の意識を得ることができるよう教職員に指導・助言をすることができる。	
⑥ 職務遂行能力	☐ 高い使命感と誠実、公正、公平の意識を備えるとともに、自らの言動を絶えず省察し、自己研鑽に努めることができる。	
	☐ 豊かな経験と広い視野に基づき、児童生徒の成長を考え、教職員に校長の考えを共有させるよう努めるにすることができる。	

※副校長については、教頭と異なり配置校によって異なる特命業務に従事し、校長を補佐する。

※これまで校長の指標に準じていたが、異なる部分も存在することから新たに独自の特記事項を作成した。

茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標（特記事項）

【主幹教諭】特記事項		令和5年2月
項 目	特記事項	
① 学校運営・管理 ※学校組織マネジメント	☐ 管理職と同様の視点を持ち、学校の様々な教育課題に対応するため、具体的な取組や対応をとるなど、管理職を補佐することができる。	
	☐ 管理職を補佐して働き方改革を進め、学校運営の充実・活性化を図ることができる。	
② 連携・協力体制の構築	☐ 管理職を補佐して開かれた学校づくりを推進するため、学校ビジョンや教育活動の実態についての情報を発信するなど、地域社会との連携を進めることができる。	
	☐ 学校と保護者との信頼関係づくりをより一層進めるため、教職員に助言をすることができる。	
③ 教育計画 ※カリキュラム・マネジメント	☐ 管理職の指示のもと、教育課程等の教育計画を立案することができる。	
	☐ 管理職の指示のもと、インクルーシブ教育システムの理念を踏まえ、特別な支援や配慮が必要な児童生徒に対する適切な指導計画を立案することができる。	
④ 人材育成及び服務監督	☐ 教職員が高い意欲をもって研鑽に努められるよう、教員一人一人の実態を把握しながら適切な助言をすることができる。	
	☐ 管理職を補佐して教職員集団をまとめるため、学校組織マネジメントを活用して校務分掌間の連携や調整を行い、協働する体制を構築することができる。	
	☐ 基本的な法令等についての知識をもち、管理職を補佐して教職員全員にコンプライアンス意識を定着させることができる。	
⑤ 職務遂行能力	☐ 管理職と同様の視点を持ち、学校経営・教育実践の中核的役割を果たすため、自らの言動を絶えず省察し、常に自己研鑽に努めることができる。	
	☐ 自らの豊かな教育経験と広い視野に基づき、校長が掲げる学校ビジョンを教職員に共有させることができる。	

※職の設置に伴い、新たに特記事項として作成した。

【指導教諭】特記事項		令和5年2月
項 目	特記事項	
① 学校運営・教育計画 ※学校組織マネジメント ※カリキュラム・マネジメント	☐ 学校の様々な教育課題に対応するため、具体的な取組や対応を教職員に助言をすることができる。	
	☐ 教育課程等の教育計画を立案することを中心的な役割を果たすことができる。	
② 研修等の充実	☐ 管理職の指示のもと、インクルーシブ教育システムの理念を踏まえ、特別な配慮が必要な児童生徒に対する適切な指導や必要な支援に関して教職員に指導・助言することができる。	
	☐ 管理職の指示のもと、教職員の個別最適な学びのために校内研修を充実させることができる。	
③ 人材育成及び業務の効率化	☐ Society5.0時代の到来に向け最新の知識・技術を普及させるため、教員のICT活用指導力の向上を図ることができる。	
	☐ 授業や学級経営等の改善のため、教職員の授業力や指導力を向上させることができる。	
	☐ 管理職の指示のもと、教職員の業務量の軽減を図るため、業務の効率化を向上させることができる。	
④ 連携・協力体制の構築	☐ 管理職の指示のもと、開かれた学校づくりを推進し、学校のビジョンや教育活動の実態についての情報を発信することができる。	
	☐ 他校での研修等への助言を通して、教職員の学びの輪を広げるなど、学校や教職員間の連携・協力体制を構築することができる。	
⑤ 職務遂行能力	☐ 学習指導や学級経営のエキスパートとして、常に自己研鑽に努めることができ、教職員の資質能力の向上に役割を果たすことができる。	
	☐ 自らの豊かな教育経験と広い視野に基づき、校長が掲げる学校ビジョンを教職員に共有させることができる。	

※職の設置に伴い、新たに特記事項として作成した。

茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標

【養護教諭】 特記事項

令和5年2月

項目	採用時の姿	第1期（形成期）	第2期（成長期）	第3期（発展・充実期）	第4期（貢献・深化期）
		養護教諭の基盤づくり	専門性の向上	学校保健におけるリーダー的役割の遂行	学校運営への参画・地域の学校保健推進
① 保健管理	- 学校保健・安全に関する法令等を正しく理解している。 - 保健管理に関する基礎的な知識や技能を理解している。	学校保健情報や健康観察を通して、児童生徒の心身の実態を把握し、管理職や地域の関係機関と連携しながら適切な保健管理を実践することができる。	- 教職員や保護者、地域の関係機関と連携し、児童生徒の実態や発達の段階に応じた効果的な保健管理を実践することができる。 - 保健管理に関する校内研修を企画・運営することができる。	- 児童生徒の個と集団の健康課題への組織的対応において、その中核的役割を担うことができる。 - 保健管理について、若手教員や地域の養護教諭等に指導・助言をすることができる。	- 学校における事件・事故・災害等の発生時に備え、学校内外の支援体制を整えることができる。 - 保健管理について、教職員に指導・助言をすることができる。
② 保健教育	- 児童生徒が生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るため、資質・能力を育成することが重要であると理解している。 - 学習指導要領の保健・安全に関する内容や養護教諭の専門性を生かした指導について、理解している。	保健教育における養護教諭の役割を理解し、専門性を生かして学級担任等と協働して保健教育を実践することができる。	- 学級担任等と連携し、児童生徒の実態に基づいた保健教育に計画的に取り組みことができる。 - 様々な方法で家庭へ情報を発信し、保護者の理解や協力のもと保健教育を実践することができる。	- 学習指導要領に示されている各教科等の関連や内容の系統性を理解し、教育活動全体を通じて組織的に保健教育を推進することができる。 - 地域の関係機関等と連携を図り、保健教育への参画を効果的に推進することができる。	保健教育について全体計画を作成し、計画に沿った教育活動を教職員に指導・助言をすることができる。
③ 健康相談	健康相談の意義や法的根拠、心身の発達段階に応じた健康課題について理解している。	- 子供の人間の成長を目指し、人権を尊重しながら受容的な相談活動を行うことができる。 - 保健室の機能や養護教諭の職務の特質を生かし、いじめや虐待等の早期発見・早期対応に努めることができる。	健康相談の基本的なプロセスを理解し、教職員及び学校医等や保護者、地域の関係機関等と連携した健康相談を推進することができる。	児童生徒の心身の健康課題を総合的に捉え、コーディネーター的役割を自覚して支援体制の整備に努めるとともに、組織的対応を働きかけることができる。	校内委員会や事例検討会を積極的に開催するなど、心身の健康課題の解決に向けて、教職員に指導・助言をすることができる。
④ 保健実務担当	- 保健室の役割と養護教諭の職務について、理解している。 - 学校保健計画や保健室経営計画、学校保健活動の基本を理解している。	保健室の学校保健センターの役割を認識し、児童生徒の一人一人の特性や心身の状況、生活環境等に応じた指導・支援をすることができる。	教職員や保護者、地域の関係機関等との関わりを深め、連携・協働しながら保健室を経営することができる。	学校組織目標や実施に基づき、計画的、組織的に保健室を経営するとともに、その成果と課題を捉えて改善を図ることができる。	- 保健・安全の視点を生かして学校運営に参画し、教育活動全体で学校保健を推進することができる。 - 地域の学校保健担当者との連携体制を構築し、地域における学校保健推進のコーディネーター的役割を果たすことができる。

注）養護教諭については、その専門性を特記事項として示す。

茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標

【栄養教諭】 特記事項

令和5年2月

項目	採用時の姿	第1期（形成期）	第2期（成長期）	第3期（発展・充実期）	第4期（貢献・深化期）
		栄養教諭の基盤づくり	専門性の向上	学校給食におけるリーダー的役割の遂行	学校運営への参画・地域の学校給食推進
① 食に関する指導	給食の時間の役割	給食の時間における食に関する指導を年間指導計画に位置付け、教室指導や資料提供等、担任等と連携・協働することができる。	献立のねらいを明確にした献立計画を担任等に提示し、学校給食を「生きた教材」として活用し、給食の時間における指導の充実を図ることができる。	- 各教科等における食に関する指導と相互に関連付け、総合的かつ効果的な指導を実践することができる。 - 食に関する指導により、児童生徒の行動変容を確認し、担任等と結果を共有してその後の指導に生かすことができる。	- 食に関する指導を包括的に把握し、適切に評価・改善を図ることができる。 - 教科等横断的な視点から、教職員に対し、情報提供や指導・助言を行うなど連携を図ることができる。
	教科等での指導	- 学校教育目標や児童生徒の実態をもとに、各教科等との関連を図りながら、食に関する指導の全体計画や年間指導計画等を作成することができる。 - 給食主任等と連携しながら、学校における食に関する指導を推進することができる。	- 学校指導要領に示されている食に関する指導内容を踏まえ、学校の課題解決のための食育を推進することができる。 - 専門的な立場から指導内容や課題について、担任等と協議することができる。	- 各教科等やその他の教育活動において、その内容の系統性や各学習の関連を図りながら、体系的・継続的に食育を推進するための中核的な役割を担うことができる。 - 自らの実践を評価し、課題解決に向けて改善を図ることができる。	- 専門的な立場から学校運営に参画し、教育活動全体で食に関する指導を推進することができる。 - 地域の学校との連携体制を構築し、地域における食育を推進するコーディネーター的役割を果たすことができる。
	個別指導	食に関する健康課題を有する児童生徒に対し、学級担任や養護教諭、部活動担当教員と情報を共有し、個別の指導計画を立案することができる。	教職員や保護者、地域の関係機関等と連携し、専門性を生かした指導・助言をすることができる。	健康課題を有する児童生徒の身体状況、栄養状態や食生活など課題を知り、家庭や地域の背景、児童生徒の食に関する知識、理解度等を考慮し、課題解決に向けた指導をすることができる。	- 児童生徒の健康課題解決に向けて、教職員の指導的役割を果たすことができる。 - 健康課題を有する児童生徒を支援するための校内研修を企画、運営することができる。
② 学校給食の管理	栄養管理	- 児童生徒の食生活の状況を把握し、学校給食摂取基準及び食品構成、地場産物の活用に対応した献立の作成を行うことができる。 - 食に関して特別な配慮を必要とする児童生徒に対し、配慮した献立の作成を行うことができる。	- 食事状況調査や残食調査等による状況把握の実施により、課題に応じた適切な栄養管理を行うことができる。 - 各教科の内容や地場産物の活用、地域の食文化などを関連付けた魅力ある献立の作成を行うことができる。	- 個々の児童生徒の健康状態の実態及び生活活動の実態並びに地域の実情等に十分配慮して、献立の作成を行うことができる。 - 児童生徒の食習慣調査等の結果をもとに栄養管理を評価し、改善を図るとともに、教職員に対して情報提供や指導・助言を行うことができる。	- 栄養管理と食に関する指導を一体的に行い、児童生徒の健康課題解決に向けた地域の取組について、中核的な役割を果たすことができる。 - 市町村の学校給食における栄養管理について、指導的役割を果たすことができる。
	衛生管理	- 学校給食の衛生管理に関する法令を正しく理解している。 - 学校給食の衛生管理体制が十分機能するよう、「学校給食衛生管理基準」に定める衛生管理責任者としての専門的な業務を行うことができる。	- 学校給食従事者や給食施設設備などの衛生管理について、適切な指導・助言を行うことができる。 - 学級担任等が行う衛生管理に係る指導について、専門的な立場から指導・助言をすることができる。	事故発生時の危機管理対応計画の作成など、安全に関する危機意識をもち、その課題を明らかにし、解決に向けた取組を実践することができる。	- 教職員や学校薬剤師、関係機関等と連携し、学校及び地域における衛生管理の改善、充実を図ることができる。 - 市町村の学校給食における衛生管理について、指導的役割を果たすことができる。

注）栄養教諭については、その専門性を特記事項として示す。

茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標

【幼稚園教諭等】			令和5年2月				
項目		採用時の姿	第1期（形成期）	第2期（成長期）	第3期（発展・充実期）	第4期（貢献・深化期）	
			1～5年	6～11年	12～23年	24年～	
			指導力・幼児理解の向上	教職・指導の専門性の向上	園務分掌等の企画調整及び 若手教員への支援	園運営及び 若手・中堅教員への支援	
基本的資質	① 教職に必要な 素養	【社会人として】 □ 人間性が豊かで、言葉遣い、あいさつ、礼儀等の備えておくべきマナーをもって行動することができる。 □ ダイバーシティに関する知識があり、人権感覚をもって寛容の精神で人と接することができる。 □ コンプライアンス意識をもち、良好な自分を律することができる。 □ コミュニケーションを生かし、良好な対人関係を構築することができる。 □ ストレスと身体の健康を適切に自己管理することができる。 □ ICTを活用するなど、社会の様々な情報を収集し、仕事に役立てることができる。	【教員として】 □ 幼児が好きで、幼児の気持ちや考えを理解するよう努めるなど、幼児の学びを支えることができる。 □ 教職員組織の一員として、他の教職員の意見や考えに耳を傾け、学び続けることができる。 □ 保護者や地域の方々に耳を傾け、誠実に対応することができる。 □ 学校教育に関する法令や知識・指導法等を積極的に取り入れながら、教育活動に取り組むことができる。 □ 教育者として高いコンプライアンス意識を持ち、自覚と責任をもって教育活動に取り組むことができる。 □ ICTを活用して、教育に関する情報を収集し、教育活動に役立てることができる。				
		□ 幼稚園教育要領等に表示されている指導計画の意義を理解し、指導計画を作成することができる。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、幼児の実態を踏まえながら、興味や関心に即した指導計画を作成することができる。	□ 発達段階を踏まえ、園や地域の行事と関連付けたり、小学校との交流を取り入れたりしながら、具体的な指導計画を作成することができる。	□ 実践後の反省や記録を基に、指導計画をよりよいものに改善することができる。 □ 園の教育課程等に基づき、具体的な指導計画の作成について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。	□ 園や地域の実態を把握し、職員との話し合いに積極的に参加しながら、指導計画の評価・改善に努めることができる。 □ 園の教育課程等に基づく指導計画の作成について、教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。	
		□ 幼稚園教育要領等に表示されている指導計画の意義を理解し、自分なりのアイデアをもっている。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、幼児の実態を踏まえながら、興味や関心に即した環境を構成することができる。	□ 他の教諭等と連携を図りながら、幼児の発想や素材の特性等を生かした環境を構成することができる。	□ 園全体を視野に入れながら、地域の資源を活用した環境を構成することができる。 □ 他学級や他学年の教育の展開を踏まえ、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。	□ 地域との信頼関係を築き、地域の資源を活用しながら、園全体の環境の維持・改善に努めることができる。 □ 環境の構成について教諭等へ適切な指導・助言を行い、職員の自分らしさを生かしながら、園全体の教育の質を向上させることができる。	
		□ 幼稚園教育要領等に表示されている幼児の興味・関心のある遊びを理解し、基本的な保育技術を身に付けている。	□ 幼児の興味・関心や集団の実態に沿った教育を展開するために、保育技術（ICTの活用を含む）の向上に努めている。	□ 幼児の興味・関心や集団の実態に沿った教育を展開するために、専門的な保育技術の向上に努めている。	□ 園全体の教育の質の向上を意識し、より高度で専門的な保育技術の向上に努めている。 □ 若手教員のモデルとなり、専門的な保育技術について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。	□ 保育技術について教諭等へ適切な指導・助言を行い、保育技術を向上させようとする意欲を高め、園全体の教育の質を向上させることができる。	
専門職としての教員に求められる力量	② 指導力	指導計画	□ 幼稚園教育要領等に表示されている指導の評価の意義を理解している。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、幼児一人一人の育ちに目を向け、記録を基に省察し、実践に生かすことができる。	□ 幼児一人一人や集団の育ちに目を向け、記録を基に多面的に省察し、実践に生かすことができる。	□ 園全体の取組について客観的に分析するとともに、課題を明確にし、改善することができる。 □ 指導の評価について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。	□ 指導の評価について教諭等へ適切な指導・助言を行い、職員のモチベーションを生かしながら、園全体の教育の質を向上させることができる。
		□ 幼稚園教育要領等に表示されている指導の評価の意義を理解している。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、幼児一人一人の発達の特性について理解し、幼児一人一人の発達の特性に応じた援助をすることができる。	□ 保護者の願いや思いを受け止め、他の教諭等と連携を図りながら、幼児一人一人の発達の特性に応じた援助をすることができる。	□ 園全体を視野に入れながら、幼児一人一人の発達の特性に応じた援助をすることができる。 □ 幼児一人一人の発達の特性に応じた援助について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。	□ 幼児一人一人の発達の特性に応じた援助について、教諭等へ適切な指導・助言を行い、園全体の教育の質を向上させることができる。	
		□ 特別な支援教育についての基本的な考え方を理解している。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、特別な配慮が必要な幼児の実態について把握し、幼児や保護者に対して適切に対応することができる。 □ 個別的教育支援計画、個別の指導計画を基に、個に応じた指導や必要な支援を行うことができる。	□ 特別な配慮が必要な幼児の実態について多面的に把握し、他の教諭等と連携を図り、小学校との接続を視野に入れながら、幼児や保護者に対して適切に対応することができる。	□ 特別な配慮が必要な幼児への理解や関わり方について専門性を高め、小学校、特別支援学校との接続や関係機関との連携を視野に入れながら、幼児や保護者に対して適切に対応することができる。 □ 特別な配慮が必要な幼児への対応について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。	□ 必要に応じて小学校や特別支援学校及び関係機関と連携しながら、保護者を支援する体制を構築することができる。 □ 特別な配慮が必要な幼児やその保護者への対応について、教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。	
		□ 教育相談についての基本的な考え方を理解している。	□ 幼児の思いや保護者の悩み、要望等を誠実に受け止め、管理職や他の教諭等の指導・助言の下、問題の解決に向けて教育相談を行うことができる。	□ 幼児の思いや保護者の悩み、要望等を誠実に受け止め、管理職や他の教諭等と連携を図りながら、問題の解決に向けて適切に教育相談を行うことができる。	□ 教育相談の在り方や技法について専門性を高め、関係機関との連携を視野に入れながら、幼児や保護者に対して適切に教育相談を行うことができる。 □ 教育相談について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。	□ 必要に応じて関係機関と連携しながら、保護者を支援する体制を構築することができる。 □ 教育相談について、教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。	

項目			採用時の姿	第1期（形成期）	第2期（成長期）	第3期（発展・充実期）	第4期（貢献・深化期）
				1～5年	6～11年	12～23年	24年～
				指導力・幼児理解の向上	教職・指導の専門性の向上	園務分掌等の企画調整及び 若手教員への支援	園運営及び 若手・中堅教員への支援
高度専門職としての 教員に求められる力量	④ 学級を経営する力	作成・実践	□ 学級経営の意義や基本的な進め方について理解し、学級経営案を作成することができる。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、目標を明確にした学級経営案を作成し、実践することができる。	□ 学級の実態を的確に捉え、目標を明確にした学級経営案を作成し、他の教諭等と連携を図りながら実践することができる。	□ 教育目標を具体化する視点から学級経営案を作成し、他の教諭等と連携を図りながら実践することができる。 □ 経営案の作成について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。	□ 教諭等が自信をもって学級経営に取り組むことができるよう、協力的な指導体制を整えることができる。 □ 学級経営の進捗状況を確認し、教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
		経営の評価	□ 学級経営の評価の意義を理解している。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、各園の評価項目に沿って学級経営を振り返ることができる。	□ 学級経営について多面的に省察し、他の教諭等と連携を図りながら実践に生かすことができる。	□ 園全体を視野に入れながら、学級経営について多面的に省察し、他の教諭等と連携を図りながら実践に生かすことができる。 □ 学級経営の評価について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。	□ 学級経営について、組織的・計画的な評価を行う体制づくりに努めることができる。 □ 学級経営の評価について、教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
		家庭との連携	□ 家庭との連携の重要性について理解している。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、適切に家庭との連携を図ることができる。	□ 適切に家庭との連携を図り、保護者よりよい関係を築くことができる。	□ 関係機関との連携を視野に入れながら、適切に家庭との連携を図り、保護者よりよい関係を築くことができる。 □ 家庭との連携について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。	□ 必要に応じて関係機関と連携しながら、組織として保護者を支援する体制を整えることができる。 □ 家庭との連携や保護者への支援について、教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
		事務処理	□ 学級事務を処理する基本的な技能を身に付けている。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、適正に学級事務を処理することができる。	□ 他の教諭等と連携を図りながら、適正かつ迅速に学級事務を処理することができる。	□ 園全体を視野に入れながら、他の教諭等と連携を図り、適正かつ迅速に学級事務を処理することができる。 □ 学級事務の処理について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。	□ 教諭等が、適正かつ迅速に学級事務を処理することができるよう、教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
	⑤ 園運営に関する力	園務分掌の遂行	□ 園務分掌の意義を理解し、組織の一員として園務を遂行しようとする心構えをもっている。	□ 園務の内容について理解し、管理職や他の教諭等の指導・助言の下、組織の一員として園務を遂行することができる。	□ 他の教諭等と連携を図りながら、組織の一員として園務を遂行するとともに、園運営に積極的に参画することができる。	□ 園全体を意識し、小学校や関係機関との連携を視野に入れながら園務を遂行するとともに、園務分掌の企画調整に当たることができる。 □ 園務分掌の遂行について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。	□ 園の課題を踏まえ、小学校や関係機関との連携を視野に入れながら、職員のみならずを生かして適切に役割分担を行うとともに、園務分掌の改善を図ることができる。 □ 園務分掌の遂行について、教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
		危機管理	□ 危機管理の意義を理解し、危機管理に必要な基礎的な知識を身に付けている。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、危機管理マニュアルに沿って、幼児が安心・安全に生活できる環境を整えることができる。 □ 事故発生時には、的確な判断及び迅速な対応ができる。	□ 幼児の生活経験や発達の過程などを考慮して、教育課程等の編成に参画し、教育課程等に基いた教育を展開することができる。	□ 創意工夫し、幼児の心身の発達と園及び地域の実態に応じた教育課程等を編成・実施・評価することができる。 □ 教育課程等の編成・実施・評価について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。	□ カリキュラム・マネジメントの視点から、教育課程等を編成・実施・評価し、改善を図ることができる。 □ カリキュラム・マネジメントの視点から、教育課程等の編成・実施・評価について、教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
		教育課程等の役割や編成の意義を理解している。	□ 教育課程等の役割や編成の基本的な考え方について理解し、教育課程等を基にした教育を展開することができる。	□ 幼児の生活経験や発達の過程などを考慮して、教育課程等の編成に参画し、教育課程等に基いた教育を展開することができる。	□ 教育課程等の編成・実施・評価について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。	□ カリキュラム・マネジメントの視点から、教育課程等を編成・実施・評価し、改善を図ることができる。	
		園内研修 園外研修	□ 研修の意義を理解し、自分の課題を把握している。	□ 研修に積極的に参加し、園や自分の課題解決に向けた取組を考えることができる。	□ 他の教諭等と協議し、園や自分の課題解決に向けた取組を見いだすことができる。	□ 中心的役割として研修を企画・運営し、研修体制を整えることができる。 □ 向上心をもって研修に参加し、専門性やリーダー性を高めるとともに、研修の成果を他の教諭等と共有し、園全体の教育の質を向上させることができる。	□ 研修体制を構築し、園全体で学び合う質の高い職員集団をつくることができる。 □ 職員の課題やニーズに応じた研修に進んで参加できるよう、職員の自己研鑽の場を確保することができる。

1 研修に関する事業

(1) 研修体系

- ・義務教育学校前期課程は「小学校」、義務教育学校後期課程は「中学校」にそれぞれ含まれる。
- ・中等教育学校前期課程は「中学校」、中等教育学校後期課程は「高等学校」にそれぞれ含まれる。

ア 教職員の資質・能力の向上を目指す研修体系

教職員としてのキャリアステージに即して、必要な研修の機会を確保するとともに、国の動向や本県教員の資質向上に関する育成指標を踏まえ、必要とされる研修を長期的展望に立つて体系化し、実施する。

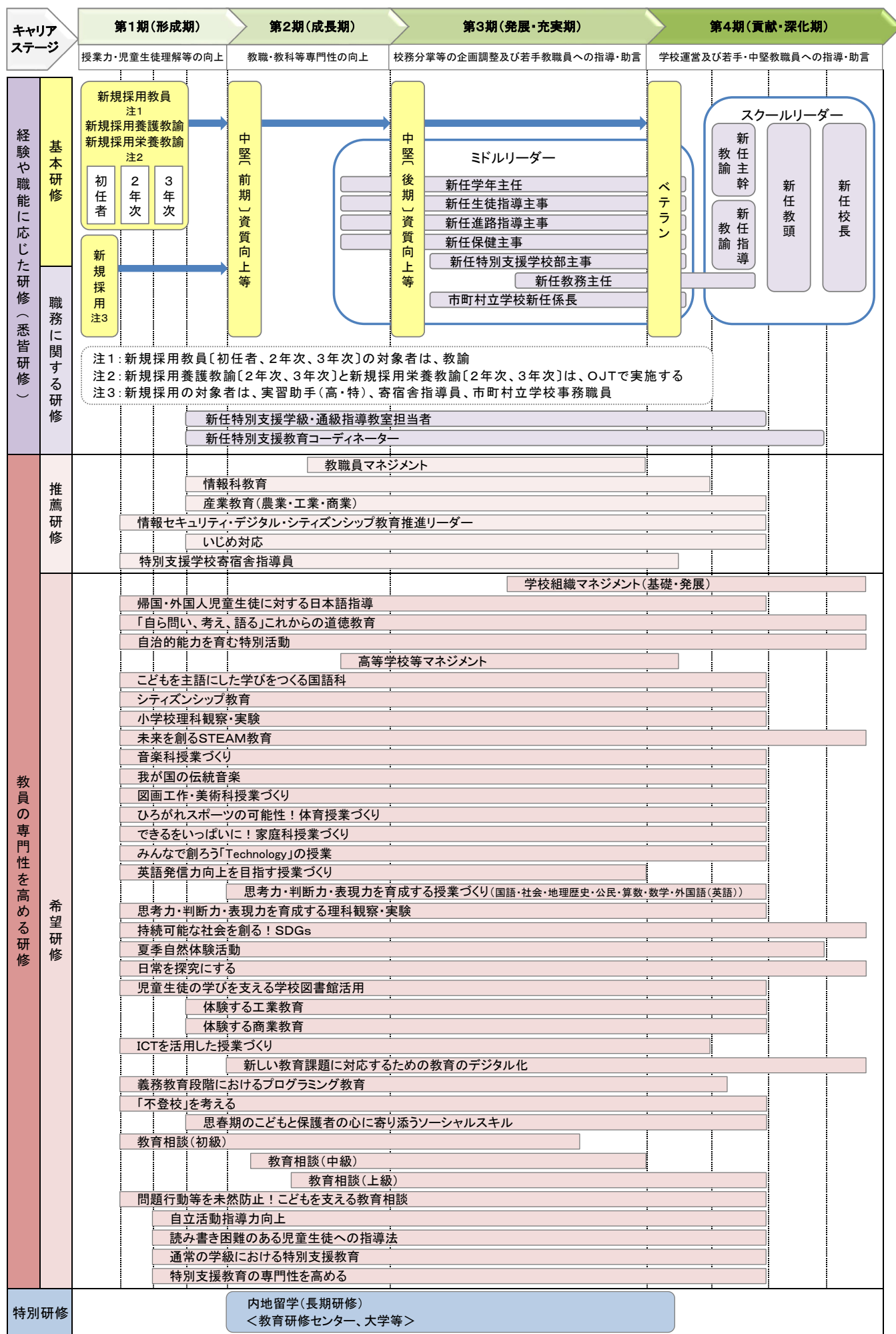
基本研修（44 講座）				
新規採用 〔初任者、2 年次、3 年次〕 (講座番号 1～14)	新規採用 (講座番号 15～18)	中堅〔前期〕 資質向上等 (講座番号 19～28)	中堅〔後期〕 資質向上等 (講座番号 29～37)	ベテラン (講座番号 38～44)
採用 1 年次から 3 年次の教員が、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。	新規採用教職員が、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。	全般的な教育活動の在り方について再認識するとともに、自己の課題を明確にし、授業力等を高める。	広い視野から教育実践上の様々な課題を究明し改善を図るとともに、組織力向上のための知識や技能の習得を図る。	校内や地域の学校等において、若手・中堅教職員への指導・助言ができるような資質・能力の向上を図る。
○初任者（小・中・高・特・養・栄） ○2 年次（小・中・高・特） ○3 年次（小・中・高・特）	○新規採用（実高・実特・寄宿・事務）	○中堅〔前期〕（小・中・高・特・養・栄・実高・実特・寄宿） ○基礎事務	○中堅〔後期〕（小・中・高・特・養・栄・実・寄宿） ○中堅事務	○ベテラン（小・中・高・特・養・栄・事務）

専門研修（73 講座）		
悉皆研修（講座番号 45～68）		
各職務に関する専門的資質・能力の向上を図る。		
○新任校長（小・中・高・特） ○新任教頭（小・中・高・特） ○新任主幹教諭 ○新任指導教諭	○新任教務主任（小・中・高・特） ○新任学年主任（小・中・高） ○新任生徒指導主事 ○新任進路指導主事（中・高・特） ○新任保健主事	○新任特別支援学校部主事 ○新任特別支援学級・通級指導教室担当者 ○新任特別支援教育コーディネーター ○市町村立学校新任係長 ○臨時的任用職員（高・特）
推薦研修（講座番号 69～76）		
教職の各領域に関する専門的資質・能力の向上を図る。		
○教職員マネジメント	○情報科教育 ○産業教育（農業・工業・商業） ○情報セキュリティ・デジタル・シティズンシップ教育推進リーダー	○いじめ対応 ○特別支援学校寄宿舎指導員
希望研修（講座番号 77～117）		
教職の各領域に関する自主的研修の充実を図る。		
○学校組織マネジメント（基礎・発展） ○帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導 ○「自ら問い、考え、語る」これからの道徳教育 ○自治的能力を育む特別活動 ○高等学校等マネジメント	○体験する工業教育 ○体験する商業教育 ○ICTを活用した授業づくり ○新しい教育課題に対応するための教育のデジタル化 ○義務教育段階におけるプログラミング教育	
○こどもを主語にした学びをつくる国語科 ○シティズンシップ教育 ○小学校理科観察・実験 ○未来を創るSTEAM教育 ○音楽科授業づくり ○我が国の伝統音楽 ○図画工作・美術科授業づくり ○ひろがれスポーツの可能性！体育授業づくり ○できるをいっぱい！家庭科授業づくり ○みんなで創ろう「Technology」の授業 ○英語発信力向上を目指す授業づくり ○思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（国語・社会・地理歴史・公民・算数・数学・外国語（英語）） ○思考力・判断力・表現力を育成する理科観察・実験 ○持続可能な社会を創る！SDGs ○夏季自然体験活動 ○日常を探究にする ○児童生徒の学びを支える学校図書館活用	○「不登校」を考える ○思春期のこどもと保護者の心に寄り添うソーシャルスキル ○教育相談（初級・中級・上級） ○問題行動等を未然防止！こどもを支える教育相談	
	○自立活動指導力向上 ○読み書き困難のある児童生徒への指導法 ○通常の学級における特別支援教育 ○特別支援教育の専門性を高めるための	

特別研修		
長期研修〔内地留学〕（3、6 か月）	スキルアップ研修（6 か月）	指導改善研修（1 か年）
長期間の研修を通して、より広い視野に立った教員としての資質・能力の向上を図る。	指導力に課題や不安のある教員に対して、受講者の課題に応じた月 1 回の専門的な研修を実施することにより、受講者の指導力の向上をねらいとする校内研修の充実に向けて支援する。	学習指導、生徒指導及び学級（ホームルーム）経営上の課題等について、児童生徒に対する指導力の向上を図る。

イ キャリアステージに応じた教員研修

茨城県教育研修センター



※ 各段階は、第1期(1～5年)、第2期(6～11年)、第3期(12～23年)、第4期(24年～)を想定している。

(2) 研修講座一覧（育成指標との対応）

ア 基本研修（基本的資質・能力の向上を図る研修）

講座番号	研修講座名	茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標（共通）																		キャリアステージ				対象校種	担当課
		Ⅰ 基本的資質		Ⅱ 専門職としての教員に求められる力量																					
		1 教職に必要な 素養		2 児童生徒の主体的・対話的で深い学びを支える授業力						3 児童生徒を理解し支援する力					4 特別な配慮を必要とする児童生徒を支援する力		5 学級・学年の経営と学校の運営に関する力								
		(1) 社会人として	(2) 教員として	(1) 学習指導要領の理解等	(2) 授業の展開	(3) 教育課程・主体的・対話的な学び	(4) 探究的な学び、ICTの活用	(5) 特別活動	(6) 道徳教育	(1) 子供の心身の発達への理解	(2) チーム支援	(3) 教育相談	(4) いじめ対応	(5) キャリア教育	(1) ・特別支援学校・特別支援学級・通級による指導	(2) (1)以外における特別支援教育	(1) 学級・学年の経営	(2) 学校組織マネジメント	(3) リスクマネジメント	第1期 形成期	第2期 成長期	第3期 発展・充実期	第4期 貢献・深化期		
1	新規採用教員〔初任者〕研修講座（小学校）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○					小	教職
2	新規採用教員〔初任者〕研修講座（中学校）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○					中	教職
3	新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○					高	教職
4	新規採用教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○					特	特支
5	新規採用教員〔2年次〕研修講座（小学校）	○	○	○	○	○	○		○							○			○					小	教職
6	新規採用教員〔2年次〕研修講座（中学校）	○	○	○	○	○	○		○							○			○					中	教職
7	新規採用教員〔2年次〕研修講座（高等学校）	○	○	○	○	○	○						○	○		○			○					高	教職
8	新規採用教員〔2年次〕研修講座（特別支援学校）	○	○	○	○				○	○				○					○					特	特支
9	新規採用教員〔3年次〕研修講座（小学校）	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○				○			○					小	教職
10	新規採用教員〔3年次〕研修講座（中学校）	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○			○			○					中	教職
11	新規採用教員〔3年次〕研修講座（高等学校）	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○				○		○					高	教職
12	新規採用教員〔3年次〕研修講座（特別支援学校）	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○		○			○					特	特支
13	新規採用養護教諭〔初任者〕研修講座	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○					小中高特	教科
14	新規採用栄養教諭〔初任者〕研修講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○		○	○					小中特	教科
15	新規採用実習助手研修講座（高等学校）	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○			○	○					高	教職
16	新規採用実習助手研修講座（特別支援学校）	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○			○	○					特	特支
17	新規採用寄宿舎指導員研修講座	○	○	○		○	○			○	○			○	○			○	○					特	特支
18	新規採用市町村立学校事務職員研修講座																							小中特	企画
19	中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（小学校）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○			○			小	教職
20	中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（中学校）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○			○			中	教職
21	中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○			○			高	教職
22	中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○			○			特	特支
23	中堅養護教諭〔前期〕資質向上研修講座	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○			○			小中高特	教科
24	中堅栄養教諭〔前期〕資質向上研修講座	○	○	○	○	○	○			○				○	○		○	○			○			小中特	教科
25	中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）	○	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○						○			高	教職
26	中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）	○	○	○	○		○			○				○	○		○		○		○			特	特支
27	中堅寄宿舎指導員〔前期〕資質向上研修講座	○	○	○			○				○			○	○		○	○			○			特	特支
28	市町村立学校事務職員基礎研修講座																							小中特	企画

講座番号	研修講座名	茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標（共通）																	キャリアステージ				対象校種	担当課	
		Ⅰ 基本的資質		Ⅱ 専門職としての教員に求められる力量																					
		1 教職に必要な 素養		2 児童生徒の主体的・対話的で深い学びを支 える授業力						3 児童生徒を理解し支援する力					4 特別な配慮を 必要とする児童 生徒を支援 する力		5 学級・学年の経営と 学校の運営に関する 力								
		(1) 社会人として	(2) 教員として	(1) 学習指導要領の理解等	(2) 授業の展開	(3) な教育課程、主体的・対話的	(4) 探究的な学び、ICTの活用	(5) 特別活動	(6) 道徳教育	(1) 子供の心身の発達への理解	(2) チーム支援	(3) 教育相談	(4) いじめ対応	(5) キャリア教育	(1) ・特別支援学校・特別支援学級・通級による指導	(2) (1)以外における特別支援教育	(1) 学級・学年の経営	(2) 学校組織マネジメント	(3) リスクマネジメント						
29	中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校）	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		小	教職	
30	中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（中学校）	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		中	教職	
31	中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（高等学校）	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		高	教職	
32	中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（特別支援学校）	○	○				○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		特	特支	
33	中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○			○		小中高特	教科
34	中堅栄養教諭〔後期〕資質向上研修講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			○		小中特	教科
35	中堅実習助手〔後期〕資質向上研修講座	○	○	○	○	○	○			○	○				○	○		○	○			○		高特	教職
36	中堅寄宿舎指導員〔後期〕資質向上研修講座	○	○							○	○	○	○			○		○	○			○	○	特	特支
37	市町村立学校中堅事務職員研修講座																							小中特	企画
38	ベテラン教員研修講座（小学校）	○	○	○		○				○	○	○					○	○	○				○	小	教職
39	ベテラン教員研修講座（中学校）	○	○	○		○				○	○	○					○	○	○				○	中	教職
40	ベテラン教員研修講座（高等学校）	○	○	○		○				○	○	○					○	○	○				○	高	教職
41	ベテラン教員研修講座（特別支援学校）	○	○								○				○	○	○	○	○				○	特	特支
42	ベテラン教員研修講座（養護教諭）	○	○	○	○			○		○	○	○	○		○	○		○	○				○	小中高特	教科
43	ベテラン教員研修講座（栄養教諭）	○	○	○	○			○							○			○	○				○	小中特	教科
44	ベテラン市町村立学校事務職員研修講座																							小中特	企画

Ⅱ 専門研修（専門的資質・能力の向上を図る研修）

(7) 悉皆研修

講座番号	研修講座名	茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標（共通）																	キャリアステージ				対象校種	担当課			
		Ⅰ 基本的資質		Ⅱ 専門職としての教員に求められる力量																							
		1 教職に必要な 素養		2 児童生徒の主体的・対話的で深い学びを支える授業力						3 児童生徒を理解し支援する力					4 特別な配慮を必要とする児童生徒を支援する力		5 学級・学年の経営と学校の運営に関する力										
		(1) 社会人として	(2) 教員として	(1) 学習指導要領の理解等	(2) 授業の展開	(3) な教育課程 主体的・対話的	(4) 探究的な学び、ICTの活用	(5) 特別活動	(6) 道徳教育	(1) 子供の心身の発達への理解	(2) チーム支援	(3) 教育相談	(4) いじめ対応	(5) キャリア教育	(1) ・特別支援学校・特別支援学級	(2) (1)以外における特別支援教育	(1) 学級・学年の経営	(2) 学校組織マネジメント	(3) リスクマネジメント								
45	新任校長研修講座（小学校）														○	○		○	○					○	小	教職	
46	新任校長研修講座（中学校）														○		○		○	○					○	中	教職
47	新任校長研修講座（高・特）														○		○		○	○					○	高特	教職
48	新任教頭研修講座（小学校）								○						○	○		○	○						○	小	教職
49	新任教頭研修講座（中学校）								○						○		○	○		○	○				○	中	教職
50	新任教頭研修講座（高・特）								○						○		○	○		○	○				○	高特	教職

講座 番号	研修講座名	茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標（共通）																		キャリアステージ				対象校 種	担当課	
		Ⅰ 基本的資質		Ⅱ 専門職としての教員に求められる力量																						
		1 教職に必要な 素養		2 児童生徒の主体的・対話的で深い学びを支 える授業力						3 児童生徒を理解し支援する力					4 特別な配慮を 必要とする児 童生徒を支 援する力		5 学級・学年の経営と 学校の運営に 関する力									
		(1) 社会人として	(2) 教員として	(1) 学習指導要領の理解等	(2) 授業の展開	(3) 教育課程、 主体的・対話的	(4) 探究的な学び、 ＩＣＴの活用	(5) 特別活動	(6) 道徳教育	(1) 子供の心身の発達への理解	(2) チーム支援	(3) 教育相談	(4) いじめ対応	(5) キャリア教育	(1) ・特別支援学校・特別支援学級 による指導	(2) (1)以外における特別支援教育	(1) 学級・学年の経営	(2) 学校組織マネジメント	(3) リスクマネジメント							
51	新任主幹教諭研修講座	○	○														○	○					○	小中高特	教職	
52	新任指導教諭研修講座	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○						○	小中高特	教職
53	新任教務主任研修講座（小学校）	○	○															○					○	○	小	教職
54	新任教務主任研修講座（中学校）	○	○															○					○	○	中	教職
55	新任教務主任研修講座（高・特）	○	○															○					○	○	高特	教職
56	新任学年主任研修講座（小学校）	○	○										○				○	○	○			○	○	○	小	教職
57	新任学年主任研修講座（中学校）	○	○										○				○	○	○			○	○	○	中	教職
58	新任学年主任研修講座（高等学校）	○	○										○				○	○				○	○	○	高	教職
59	新任生徒指導主事研修講座		○											○				○	○			○	○	○	小中高特	相談
60	新任進路指導主事研修講座（中学校）	○	○	○					○		○	○	○		○			○	○			○	○	○	中	教職
61	新任進路指導主事研修講座（高・特）	○	○	○					○		○	○	○		○			○	○			○	○	○	高特	教職
62	新任保健主事研修講座	○	○	○							○	○	○			○	○		○	○	○	○	○	○	小中高特	教科
63	新任特別支援学校部主事研修講座	○	○									○	○			○	○	○	○				○		特	特支
64	新任特別支援学級・通級指導教室担当者研修講座		○	○	○						○	○				○		○			○	○	○	○	小中高	特支
65	新任特別支援教育コーディネーター研修講座		○								○	○				○	○		○			○	○	○	小中高特	特支
66	市町村立学校新任係長研修講座																								小中特	企画
67	臨時的任用職員研修講座（高等学校）	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○		○	○			○	○				高	教職
68	臨時的任用職員研修講座（特別支援学校）	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○		○	○				○				特	教職

(イ) 推薦研修

講座番号	研修講座名	茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標（共通）																		キャリアステージ				対象校種	担当課	
		Ⅰ 基本的資質		Ⅱ 専門職としての教員に求められる力量																						
		1 教職に必要な 素養		2 児童生徒の主体的・対話的で深い学びを支える授業力						3 児童生徒を理解し支援する力					4 特別な配慮を必要とする児童生徒を支援する力		5 学級・学年の経営と学校の運営に関する力									
		(1) 社会人として	(2) 教員として	(1) 学習指導要領の理解等	(2) 授業の展開	(3) な教育課程、主体的・対話的	(4) 探究的な学び、ICTの活用	(5) 特別活動	(6) 道徳教育	(1) 子供の心身の発達への理解	(2) チーム支援	(3) 教育相談	(4) いじめ対応	(5) キャリア教育	(1) ・通級による指導	(2) (1)以外における特別支援教育	(1) 学級・学年の経営	(2) 学校組織マネジメント	(3) リスクマネジメント							
69	教職員マネジメント研修講座	○	○							○	○	○	○		○		○	○	○		○	○		小中	教職	
70	情報科教育研修講座			○	○	○	○							○							○	○	○	○	高	情報
71	産業教育（農業）研修講座			○	○	○	○							○							○	○	○	○	高	情報
72	産業教育（工業）研修講座			○	○	○	○							○							○	○	○	○	高	情報
73	産業教育（商業）研修講座			○	○	○	○							○							○	○	○	○	高	情報
74	情報セキュリティ・デジタル・シティズンシップ教育推進リーダー研修講座			○	○	○	○							○					○		○	○	○	○	高特	情報
75	いじめ対応研修講座		○									○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	小中高特	相談
76	特別支援学校寄宿舎指導員研修講座	○	○								○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○		特	特支

(ウ) 希望研修

講座番号	研修講座名	茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標（共通）																キャリアステージ				対象校種	担当課		
		Ⅰ 基本的資質		Ⅱ 専門職としての教員に求められる力量																					
		1 教職に必要な 素養		2 児童生徒の主体的・対話的で深い学びを支 える授業力						3 児童生徒を理解し支援する力					4 特別な配慮を 必要とする児 童生徒を支援 する力		5 学級・学年の経営と 学校の運営に関する 力								
		(1) 社会人として	(2) 教員として	(1) 学習指導要領の理解等	(2) 授業の展開	(3) な教育課程・主体的・対話的	(4) 探究的な学び、ICTの活用	(5) 特別活動	(6) 道徳教育	(1) 子供の心身の発達への理解	(2) チーム支援	(3) 教育相談	(4) いじめ対応	(5) キャリア教育	(1) ・特別支援学校・特別支援学級・通級による指導	(2) (1)以外における特別支援教育	(1) 学級・学年の経営	(2) 学校組織マネジメント	(3) リスクマネジメント	第1期 形成期	第2期 成長期	第3期 発展・充実期	第4期 貢献・深化期		
77	学校組織マネジメント（基礎）研修講座	○	○														○						小中高特	教職	
78	学校組織マネジメント（発展）研修講座	○	○														○						小中高特	教職	
79	帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導研修講座	○	○			○	○	○			○	○	○		○	○				○	○	○	○	小中高	教職
80	「自ら問い、考え、語る」これからの道徳教育研修講座		○						○											○	○	○	○	小中高特	教職
81	自治的能力を育む特別活動研修講座		○	○					○											○	○	○	○	小中高特	教職
82	高等学校等マネジメント研修講座		○	○		○	○										○	○	○		○	○		高	教職
83	こどもを主語にした学びをつくる国語科研修講座	○	○	○	○	○	○	○												○	○	○	○	小特	教科
84	シテラズンシップ教育研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	教科
85	小学校理科観察・実験研修講座	○	○	○	○	○	○	○												○	○	○	○	小特	教科
86	未来を創るSTEAM教育研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	教科
87	音楽科授業づくり研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	教科
88	我が国の伝統音楽研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	教科
89	図画工作・美術科授業づくり研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	教科
90	ひろがれスポーツの可能性！体育授業づくり研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	教科
91	できるをいっぱいに！家庭科授業づくり研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	教科

講座番号	研修講座名	茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標（共通）																			キャリアステージ				対象校種	担当課
		Ⅰ 基本的資質		Ⅱ 専門職としての教員に求められる力量																						
		1 教職に必要な 素養		2 児童生徒の主体的・対話的で深い学びを支 える授業力						3 児童生徒を理解し支援する力					4 特別な配慮を 必要とする児 童生徒を支援 する力		5 学級・学年の経営と 学校の運営に関 する力									
		(1) 社会人として	(2) 教員として	(1) 学習指導要領の理解等	(2) 授業の展開	(3) 教育課程、主体的・対話的	(4) 探究的な学び、ICTの活用	(5) 特別活動	(6) 道徳教育	(1) 子供の心身の発達への理解	(2) チーム支援	(3) 教育相談	(4) いじめ対応	(5) キャリア教育	(1) ・特別支援学校・特別支援学級 による指導	(2) (1)以外における特別支援教育	(1) 学級・学年の経営	(2) 学校組織マネジメント	(3) リスクマネジメント	第1期 形成期	第2期 成長期	第3期 発展・充実期	第4期 貢献・深化期			
92	みんなで創ろう「Technology」の授業研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	中	教科	
93	英語発信力向上を目指す授業づくり研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中特	教科	
94	思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり研修講座（国語）	○	○	○	○	○	○														○	○	○	中高特	教科	
95	思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり研修講座（社会・地理歴史・公民）	○	○	○	○	○	○														○	○	○	小中高特	教科	
96	思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり研修講座（算数・数学）	○	○	○	○	○	○															○	○	○	小中高特	教科
97	思考力・判断力・表現力を育成する理科観察・実験研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	中高特	教科	
98	思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり研修講座（外国語（英語））	○	○	○	○	○	○														○	○	○	中高特	教科	
99	持続可能な社会を創る！SDGs研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	教科	
100	夏季自然体験活動研修講座	○	○		○	○	○														○	○	○	○	小中高特	教科
101	日常を探究にする研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	教科	
102	児童生徒の学びを支える学校図書館活用研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	教科	
103	体験する工業教育研修講座			○	○	○	○							○						○	○	○	○	小中高特	情報	
104	体験する商業教育研修講座			○	○	○	○							○						○	○	○	○	小中高特	情報	
105	ICTを活用した授業づくり研修講座			○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	情報	
106	新しい教育課題に対応するための教育のデジタル化研修講座			○	○	○	○							○						○	○	○	○	小中高特	情報	
107	義務教育段階におけるプログラミング教育研修講座			○	○	○	○							○						○	○	○	○	小中高特	情報	
108	「不登校」を考える研修講座		○							○	○							○	○	○	○	○	○	○	小中高特	相談
109	思春期のこどもと保護者の心に寄り添うソーシャルスキル研修講座		○							○	○	○								○	○	○	○	小中高特	相談	
110	教育相談（初級）研修講座		○							○		○								○	○	○	○	小中高特	相談	
111	教育相談（中級）研修講座		○							○		○									○	○	○	○	小中高特	相談
112	教育相談（上級）研修講座		○							○		○									○	○	○	○	小中高特	相談
113	問題行動等を未然防止！こどもを支える教育相談研修講座		○							○		○					○			○	○	○	○	小中高特	相談	
114	自立活動指導力向上研修講座		○	○	○					○					○	○	○			○	○	○	○	小中高	特支	
115	読み書き困難のある児童生徒への指導法研修講座		○	○	○		○			○					○	○				○	○	○	○	小中特	特支	
116	通常の学級における特別支援教育研修講座		○	○	○					○	○					○	○				○	○	○	○	小中高	特支
117	特別支援教育の専門性を高めるための研修講座		○				○			○					○	○		○		○	○	○	○	小中高特	特支	

(3) 研修講座の受講申込み

ア 受講申込みに係る文書の送付

- 以下の各文書を、令和6年3月中に「茨城県教育情報ネットワーク」の各アカウント宛に送付します。

送付順	送付文書	送付機能	送付先アカウント
①	令和5年度教育研修センター研修履歴一覧	重要情報のお知らせ	市町村立：組織代表 県立：組織代表
②	令和6年度教育研修センター事業概要	公文書	市町村立：組織代表 県立：公文書
③	令和6年度教育研修センター研修講座の申込みについて	公文書	市町村立：組織代表 県立：公文書

イ 「基本研修・悉皆研修・推薦研修」の申込み

- 管理職による一括申込みです。

- ① 様式「受講申込表」の必要事項を全て入力する。
- ② 茨城県教育情報ネットワークの「組織代表アカウント」にログインする。
- ③ 申込用フォームにアクセスする。
- ④ 申込用フォームの必要事項を全て入力し、「受講申込表」をアップロード後、送信する。
- ⑤ 市町村立学校は、「受講申込表」を市町村教育委員会にも提出する（方法は各市町村による）。

ウ 「希望研修」の申込み

- 受講を希望する本人による申込みを推奨します。

- ① 受講を希望する本人が、管理職に受講希望の意思表示をする。
- ② 管理職が、受講を希望する本人に受講申込みの承諾をする。
- ③ 受講を希望する本人が、茨城県教育情報ネットワークの「受講を希望する本人のアカウント」にログインする。ただし、管理職が代行して申込み場合は、「組織代表アカウント」にログインする。
- ④ 受講を希望する講座の申込用フォームにアクセスする。
- ⑤ 申込用フォームの必要事項を全て入力し、送信する。
- ⑥ 申込み完了後、管理職に報告する。

(4) 研修講座の受講者決定

ア 基本研修・悉皆研修・推薦研修

- 受講申込表の提出後に本センターから連絡がない限り、申込みのあった者を受講者とします。
- 受講決定通知は送付しません。

イ 希望研修

- 本センターにおいて受講者を決定します。
- 受講者決定後、以下の文書を、令和6年6月中旬に「茨城県教育情報ネットワーク」の各アカウント宛に送付します。

送付文書	送付機能	送付先アカウント
令和6年度教育研修センター研修講座の受講者について	重要情報のお知らせ	市町村立：組織代表 県立：組織代表

(5) 各種届の提出

ア 各種届

- ・受講予定者に下記の事由が生じた場合は、校長が当該講座担当課と協議の上、届を提出してください。
- ・中堅教諭等〔前期・後期〕資質向上研修講座の受講猶予については、中堅教諭等資質向上研修実施細則を参照してください。

事由	提出する届
受講者を変更する	受講者変更届（様式1）
受講期日を変更する	受講期日変更届（様式2）
受講を辞退する	受講辞退届（様式3）
講座日程の一部を欠席する	欠席届（様式3）
受講当日、遅刻しなければならない事由が発生	遅刻届（様式3）
受講当日、早退しなければならない事由が発生	早退届（様式3）
宿泊を伴う講座で宿泊することができない事由がある	講座日帰届（様式3）
中堅実習助手〔前期・後期〕資質向上研修講座の受講猶予を願い出る ベテラン教員研修講座の受講猶予を願い出る	受講猶予届（様式4）

※ 届の様式は、「教育研修センターWebページ」－「研修」－「各種届等様式」からダウンロードしてください。

イ 提出先

- ・各種届は、次のとおり電子メールで送付してください。

送付先 : todoke@center.ibk.ed.jp

ファイル名 : 講座番号(半角)・提出する届名・学校名 (例: 1・欠席届・〇〇学校)

ファイル形式: PDF形式 (作成した各種届をPDF形式で保存)

届 提出先	受講者 変更	受講期日 変更	受講 辞退	欠席	遅刻	早退	講座 日帰	受講 猶予
教育研修センター所長	1部	1部	1部	1部	1部	1部	1部	1部
市町村教育委員会教育長 (市町村立学校のみ)	1部 (写し)		1部 (写し)	1部 (写し)				1部 (写し)
教育事務所長 (市町村立学校のみ)	1部 (写し)		1部 (写し)	1部 (写し)				1部 (写し)

(6) 研修講座資料等の提供方法

- ・研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載します。
- ・実施要項をはじめ、受講に際し必要な情報を掲載しますので、受講前に必ず確認してください。
- ・「研修講座資料室」に掲載した資料は、原則として紙媒体での提供はいたしません。

ア 「研修講座資料室」の利用手順

- ① 茨城県教育情報ネットワークの「利用者本人のアカウント」にログインする。
※ 「研修講座資料室」へのアクセス権が付与されているのは、茨城県教育情報ネットワークのアカウントのみです。
- ② ログイン中のブラウザで、教育研修センターWebページ (<https://www.center.ibk.ed.jp>) にアクセスし、「研修講座資料室」のバナーをクリックする。
- ③ 受講する研修講座名をクリックする。
- ④ 資料を端末にダウンロードする。
- ⑤ 受講当日にタブレット端末等を持参して資料を活用する。又は、印刷物を持参して活用する。

イ 留意事項

- ・年度当初に各講座の実施要項を掲載します。
- ・講座実施日の概ね3日前までに、研修講座資料を掲載します。
- ・内容や講師の意向により、講座当日に講座資料を提供する場合があります。
- ・講座担当者から個別にメール又はClassroomで連絡する場合があります。
- ・いずれの場合も「研修講座資料室」を情報の発信源としますので、必ず確認してください。
- ・受講後の資料の取り扱いについては、振り返り、所属校での実践及び校内研修等で活用することに差し支えはありませんが、適正な範囲を超えての複製、転載及び転用等の二次利用を行うことはできません。

(7) 経費

- ・経費負担を伴う講座については、該当講座ごとに別途お知らせします。
(実験実習を伴う講座においては、教材の一部。宿泊研修においては、宿泊費等)

(8) 緊急時の連絡方法

- ・暴風雨や降雪等の天候による事由、又はウイルス感染症のまん延等の事由により、正常な講座運営に影響が生じると判断した場合、研修講座の実施日や実施方法等について、次の方法で連絡します。

ア 茨城県教育情報ネットワーク

- ・市町村立学校及び市町村教育委員会は「組織代表アカウント」宛、県立学校は「公文書アカウント」宛に事務連絡を送付します。

イ 茨城県教育研修センターWebページ (<https://www.center.ibk.ed.jp/>)

- ・トップページの「お知らせ」及び「研修講座資料室」に、対応について掲載します。

(9) 研修講座等日程一覧

- ・丸数字は、研修の実施回（第1日は①、第2日は②等）を示しています。
- ・実施方法、会場、内容等の詳細は、研修講座実施要項で確認してください。

4月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	月			
2	火			
3	水			
4	木			
5	金			
6	土			
7	日			
8	月			
9	火			
10	水			
11	木	67 臨時的任用職員（高等学校）A班①	68 臨時的任用職員（特別支援学校）A班①	
12	金			
13	土			
14	日			
15	月			
16	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）①	13 新規採用養護教諭〔初任者〕①	
		14 新規採用栄養教諭〔初任者〕①		
17	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）①		
18	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）①	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）①	
		15 新規採用実習助手（高等学校）①	16 新規採用実習助手（特別支援学校）①	
19	金			
20	土			
21	日			
22	月			
23	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）②		
24	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）② I 期	67 臨時的任用職員（高等学校）A班②養護以外	
25	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）②	15 新規採用実習助手（高等学校）②	
		67 臨時的任用職員（高等学校）A班②養護	68 臨時的任用職員（特別支援学校）A班②	
26	金			
27	土			
28	日			
29	月			
30	火			

5月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	水			
2	木			
3	金			
4	土			
5	日			
6	月			
7	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）③Ⅰ期		
8	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）②Ⅱ期	13 新規採用養護教諭〔初任者〕②	
9	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）②	16 新規採用実習助手（特別支援学校）②	
		18 新規採用市町村立学校事務職員①		
10	金	53 新任教務主任（小学校）①	54 新任教務主任（中学校）①	
		64 新任特別支援学級・通級指導教室担当者①A班		
11	土			
12	日			
13	月			
14	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）③Ⅱ期	45 新任校長（小学校）①A班	
		46 新任校長（中学校）①A班		
15	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）③	45 新任校長（小学校）②A班	
		46 新任校長（中学校）②A班	50 新任教頭（高・特）①	
		74 情報セキュリティ・デジタル・シティズンシップ教育推進リーダー①		
16	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）③	50 新任教頭（高・特）②	
		60 新任進路指導主事（中学校）①		
17	金	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）①	63 新任特別支援学校部主事①	
18	土			
19	日			
20	月			
21	火	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）①	22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）①	教育の情報化に関する研究①
		25 中堅実習助手〔前期〕資質向上（高等学校）①	26 中堅実習助手〔前期〕資質向上（特別支援学校）①	
		57 新任学年主任（中学校）①		
22	水	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑤Ⅰ期	30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）①	
		69 教職員マネジメント①		
23	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）③	14 新規採用栄養教諭〔初任者〕②	
		19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）①	23 中堅養護教諭〔前期〕資質向上①	
		24 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上①	61 新任進路指導主事（高・特）①	
24	金	10 新規採用教員〔3年次〕（中学校）①	62 新任保健主事①	
		66 市町村立学校新任係長①		
25	土			
26	日			
27	月			
28	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）④	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑤Ⅱ期	
		31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）①	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）①	
29	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）④Ⅰ期	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）②Ⅰ期	
		45 新任校長（小学校）①B班	46 新任校長（中学校）①B班	
		64 新任特別支援学級・通級指導教室担当者①B班		
30	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）④	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）②Ⅱ期	
		45 新任校長（小学校）②B班	46 新任校長（中学校）②B班	
31	金	6 新規採用教員〔2年次〕（中学校）①		特別支援教育に関する研究①

6月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	土			
2	日			
3	月			教職に関する研究①
4	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑤	37 市町村立学校中堅事務職員①	
		48 新任教頭（小学校）①A班	49 新任教頭（中学校）①A班	
		64 新任特別支援学級・通級指導教室担当者①C班		
5	水	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）①	33 中堅養護教諭〔後期〕資質向上①	
		34 中堅栄養教諭〔後期〕資質向上①	47 新任校長（高・特）①	
		48 新任教頭（小学校）②A班	49 新任教頭（中学校）②A班	
6	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）④	16 新規採用実習助手（特別支援学校）③	
		20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）②Ⅲ期	47 新任校長（高・特）②	
		56 新任学年主任（小学校）①		
7	金	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）②Ⅳ期	38 ベテラン教員（小学校）①	
		58 新任学年主任（高等学校）①	59 新任生徒指導主事①B班	
8	土			
9	日			
10	月			
11	火	11 新規採用教員〔3年次〕（高等学校）①	13 新規採用養護教諭〔初任者〕③	
		14 新規採用栄養教諭〔初任者〕③	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）②Ⅰ期	
		24 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上②		
12	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）④Ⅱ期	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）②Ⅱ期	
		59 新任生徒指導主事①A班		
13	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑤Ⅲ期	55 新任教務主任（高・特）①	
14	金	5 新規採用教員〔2年次〕（小学校）①		
15	土			
16	日			
17	月			教科に関する研究①
18	火	23 中堅養護教諭〔前期〕資質向上②	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）②	
		32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）②	35 中堅実習助手〔後期〕資質向上①	
19	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑤Ⅰ期		
20	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑤	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）②Ⅰ期	
		24 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上③	40 ベテラン教員（高等学校）①	
21	金	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）②Ⅱ期	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）②	
		30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）②	33 中堅養護教諭〔後期〕資質向上②	
		34 中堅栄養教諭〔後期〕資質向上②	65 新任特別支援教育コーディネーター①	
22	土			
23	日			
24	月			
25	火	9 新規採用教員〔3年次〕（小学校）①Ⅰ期	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）③	
26	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑤Ⅱ期	48 新任教頭（小学校）①B班	
		49 新任教頭（中学校）①B班	82 高等学校等マネジメント①	
27	木	22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）②	39 ベテラン教員（中学校）①	
		42 ベテラン教員（養護教諭）①	43 ベテラン教員（栄養教諭）①	
		48 新任教頭（小学校）②B班	49 新任教頭（中学校）②B班	
		82 高等学校等マネジメント②		
28	金	9 新規採用教員〔3年次〕（小学校）①Ⅱ期	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）③	
		90 ひろがれスポーツの可能性！体育授業づくり①		
29	土			
30	日			

7月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	月			
2	火	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）②Ⅲ期	113 問題行動等を未然防止！こどもを支える教育相談①	
3	水	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）②Ⅳ期	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）③	
4	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑥	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）②Ⅴ期	
5	金	34 中堅栄養教諭〔後期〕資質向上③	41 ベテラン教員（特別支援学校）①	
		112 教育相談（上級）①		
6	土			
7	日			
8	月			教育の情報化に関する研究②
9	火	22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）③	51 新任主幹教諭①	
		52 新任指導教諭①	82 高等学校等マネジメント③	
10	水	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）③		
11	木	13 新規採用養護教諭〔初任者〕④	14 新規採用栄養教諭〔初任者〕④	
		30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）③	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）③	
		73 産業教育（商業）①		
12	金	7 新規採用教員〔2年次〕（高等学校）①	15 新規採用実習助手（高等学校）③	
		19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）③		
13	土			
14	日			
15	月			
16	火			
17	水			
18	木			
19	金			
20	土			
21	日			
22	月			
23	火	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑥A班	87 音楽科授業づくり①A班	
24	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑦A班	105 ICTを活用した授業づくり①A班	
25	木	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑥A班	105 ICTを活用した授業づくり①B班	
		110 教育相談（初級）①A班		
26	金	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑦A班	89 図画工作・美術科授業づくり①	
		105 ICTを活用した授業づくり①C班		
27	土			
28	日			
29	月	116 通常の学級における特別支援教育①		
30	火	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑥B班		
31	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑦B班	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑦	

8月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑥	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑤	
		99 持続可能な社会を創る！SDGs①A班	100 夏季自然体験活動①A班	
2	金	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑦	89 図画工作・美術科授業づくり②A班	
		99 持続可能な社会を創る！SDGs①B班		
3	土			
4	日			
5	月			研究発表会①教育相談に関する発表
6	火	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑥C班		研究発表会②情報教育に関する発表
7	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑦C班		
8	木	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑥B班	107 義務教育段階におけるプログラミング教育①	教科に関する研究②
		114 自立活動指導力向上①		
9	金	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑦B班	69 教職員マネジメント②	
		77 学校組織マネジメント（基礎）①	85 小学校理科観察・実験①	
		89 図画工作・美術科授業づくり②B班		
10	土			
11	日			
12	月			
13	火			
14	水			
15	木			
16	金			
17	土			
18	日			
19	月	79 帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導①	81 自治的能力を育む特別活動研修講座①	
		94 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（国語）①	106 新しい教育課題に対応するための教育のデジタル化①	
		110 教育相談（初級）①B班		
20	火	83 こどもを主語にした学びをつくる国語科①	84 シティズンシップ教育①	いばらき輝く教師塾Ⅰ期A班①
		88 我が国の伝統音楽①	97 思考力・判断力・表現力を育成する理科観察・実験①	
		117 特別支援教育の専門性を高めるための①		
21	水	76 特別支援学校寄宿舎指導員①	88 我が国の伝統音楽②	
		91 できるをいっぱい！家庭科授業づくり①		
22	木	92 みんなで創ろう「Technology」の授業①	100 夏季自然体験活動①B班	特別支援教育に関する研究②
		102 児童生徒の学びを支える学校図書館活用①		
23	金	72 産業教育（工業）①	86 未来を創るSTEAM教育①	いばらき輝く教師塾Ⅰ期A班②
		101 日常を探究にする①		
24	土			
25	日			
26	月			
27	火			
28	水			
29	木			
30	金			
31	土			

9月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	日			
2	月			
3	火			
4	水	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑨Ⅰ期 96 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（算数・数学）①A班	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）④Ⅰ期 108 「不登校」を考える①	
5	木	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）④	95 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（社会・地理歴史・公民）①A班	
6	金	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）④Ⅱ期 104 体験する商業教育①	24 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上④	いばらき輝く教師塾Ⅰ期B班①
7	土			
8	日			
9	月			教職に関する研究②
10	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑧ 69 教職員マネジメント③	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑨Ⅱ期	
11	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑧Ⅰ期 14 新規採用栄養教諭〔初任者〕⑤	13 新規採用養護教諭〔初任者〕⑤ 82 高等学校等マネジメント④	
12	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑧Ⅰ期 18 新規採用市町村立学校事務職員②	15 新規採用実習助手（高等学校）④	いばらき輝く教師塾Ⅰ期B班②
13	金	8 新規採用教員〔2年次〕（特別支援学校）① 21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）④Ⅲ期 96 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（算数・数学）①B班	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）④ 95 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（社会・地理歴史・公民）①B班	
14	土			
15	日			
16	月			
17	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑨Ⅰ期 96 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（算数・数学）①C班	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）④Ⅳ期	
18	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑧Ⅱ期 70 情報科教育①Ⅰ期	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）④Ⅴ期 95 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（社会・地理歴史・公民）①C班	
19	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑧Ⅱ期 98 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（外国語（英語））①	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑨ 111 教育相談（中級）①	
20	金	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）④Ⅵ期 30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）④	23 中堅養護教諭〔前期〕資質向上③	
21	土			
22	日			
23	月			
24	火			
25	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑨Ⅰ期	66 市町村立学校新任係長②	長期研修（共通）
26	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑨Ⅲ期	103 体験する工業教育①	
27	金	12 新規採用教員〔3年次〕（特別支援学校）① 44 ベテラン市町村立学校事務職員①	33 中堅養護教諭〔後期〕資質向上③ 70 情報科教育①Ⅱ期	
28	土			
29	日			いばらき輝く教師塾Ⅱ期①
30	月			長期研修（3か月）

10月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑨Ⅱ期	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）④	
		33 中堅養護教諭〔後期〕資質向上④	34 中堅栄養教諭〔後期〕資質向上④	
2	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑨Ⅱ期	93 英語発信力向上を目指す授業づくり①	
		112 教育相談（上級）②		
3	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑩	13 新規採用養護教諭〔初任者〕⑥	
		14 新規採用栄養教諭〔初任者〕⑥	16 新規採用実習助手（特別支援学校）④	
		38 ベテラン教員（小学校）②		
4	金	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）④	64 新任特別支援学級・通級指導教室担当者②A班	
		71 産業教育（農業）①		
5	土			
6	日			いばらき輝く教師塾Ⅱ期②
7	月			長期研修（共通）
8	火	40 ベテラン教員（高等学校）②		
9	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑩	37 市町村立学校中堅事務職員②	
		109 思春期のこどもと保護者の心に寄り添うソーシャルスキル①		
10	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑨Ⅳ期	5 新規採用教員〔2年次〕（小学校）②Ⅰ期	
		41 ベテラン教員（特別支援学校）②	82 高等学校等マネジメント⑤	
11	金	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑤Ⅰ期	22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）④	
		67 臨時的任用職員（高等学校）B班①	68 臨時的任用職員（特別支援学校）B班①	
12	土			
13	日			
14	月			
15	火			
16	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑨Ⅲ期	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）⑤Ⅰ期	
		21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑤Ⅱ期		
17	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑩	64 新任特別支援学級・通級指導教室担当者②B班	
18	金	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑤Ⅲ期	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）④	
		39 ベテラン教員（中学校）②	42 ベテラン教員（養護教諭）②	
		43 ベテラン教員（栄養教諭）②		
19	土			
20	日			
21	月			
22	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑨Ⅲ期	75 いじめ対応①A班	
23	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑨Ⅳ期	13 新規採用養護教諭〔初任者〕⑦	
		34 中堅栄養教諭〔後期〕資質向上⑤Ⅰ期		
24	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑪	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）⑤Ⅰ期	
25	金	5 新規採用教員〔2年次〕（小学校）②Ⅱ期		
26	土			
27	日			いばらき輝く教師塾Ⅱ期③
28	月			長期研修（6か月）
29	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑨Ⅳ期	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑤選択道徳教育	
		30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑤選択道徳教育	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑤選択道徳教育	
		32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑤選択道徳教育	80 「自ら問い、考え、語る」これからの道徳教育①選択道徳合同開催	
30	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑨Ⅴ期	64 新任特別支援学級・通級指導教室担当者②C班	
31	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑪	34 中堅栄養教諭〔後期〕資質向上⑤Ⅱ期	

11月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	金	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑤選択特別支援	30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑤選択特別支援	
		31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑤選択特別支援	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑤選択特別支援	
		75 いじめ対応①B班	115 読み書き困難のある児童生徒への指導法①	
2	土			
3	日			
4	月			
5	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑩特別支援学校体験	22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）⑤	
		67 臨時的任用職員（高等学校）B班②養護以外		
6	水	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑤選択マネジメント	30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑤選択マネジメント	教育の情報化に関する研究③
		31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑤選択マネジメント	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑤選択マネジメント	
7	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑫A班	14 新規採用栄養教諭〔初任者〕⑦	
		29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑤選択キャリア教育	30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑤選択キャリア教育	
		31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑤選択キャリア教育	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑤選択キャリア教育	
		82 高等学校等マネジメント⑥		
8	金	7 新規採用教員〔2年次〕（高等学校）②Ⅰ期	67 臨時的任用職員（高等学校）B班②養護	
		68 臨時的任用職員（特別支援学校）B班②		
9	土			
10	日			
11	月			
12	火	6 新規採用教員〔2年次〕（中学校）②	7 新規採用教員〔2年次〕（高等学校）②Ⅱ期	
13	水			
14	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑫特別支援学校体験	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑫B班	
		15 新規採用実習助手（高等学校）⑤	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑤選択教育相談	
		30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑤選択教育相談	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑤選択教育相談	
		32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑤選択教育相談		
15	金	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）⑤Ⅱ期	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑤Ⅳ期	
16	土			
17	日			いばらき輝く教師塾Ⅱ期④
18	月			教職に関する研究③
19	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑪Ⅰ期	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑤Ⅴ期	
		29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑤選択情報教育Ⅰ期	30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑤選択情報教育Ⅰ期	
		31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑤選択情報教育Ⅰ期	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑤選択情報教育Ⅰ期	
20	水	117 特別支援教育の専門性を高めるための②		
21	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑫C班	23 中堅養護教諭〔前期〕資質向上④	
		33 中堅養護教諭〔後期〕資質向上⑤		
22	金	11 新規採用教員〔3年次〕（高等学校）②（農・工・商・水）	110 教育相談（初級）②A班	
23	土			
24	日			
25	月			長期研修（3か月）
26	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑪Ⅱ期	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑤選択情報教育Ⅱ期	特別支援教育に関する研究③
		30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑤選択情報教育Ⅱ期	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑤選択情報教育Ⅱ期	
		32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑤選択情報教育Ⅱ期		
27	水	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）⑤Ⅱ期		
28	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑫D班	86 未来を創るSTEAM教育②	
29	金	110 教育相談（初級）②B班		教科に関する研究③
30	土			

12月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	日			
2	月			
3	火	9 新規採用教員〔3年次〕（小学校）②Ⅰ期		
4	水	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）⑥	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑥	
		69 教職員マネジメント④		
5	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑬	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑫E班	
6	金	9 新規採用教員〔3年次〕（小学校）②Ⅱ期		
7	土			
8	日			
9	月			長期研修（3か月）
10	火	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑥	25 中堅実習助手〔前期〕資質向上（高等学校）②	
11	水	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）⑥	82 高等学校等マネジメント⑦	
12	木	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑥	114 自立活動指導力向上②	
13	金	22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）⑥	26 中堅実習助手〔前期〕資質向上（特別支援学校）②	
14	土			
15	日			
16	月			長期研修（6か月）
17	火	30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑥		
18	水			
19	木			
20	金			
21	土			
22	日			
23	月			
24	火			長期研修（3か月）
25	水			
26	木			
27	金			
28	土			
29	日			
30	月			
31	火			

1月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	水			
2	木			
3	金			
4	土			
5	日			
6	月			
7	火			
8	水			
9	木			
10	金			
11	土			
12	日			
13	月			
14	火			
15	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑪Ⅰ期		
16	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑬	16 新規採用実習助手（特別支援学校）⑤	
		94 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（国語）②	111 教育相談（中級）②	
17	金	8 新規採用教員〔2年次〕（特別支援学校）②		
18	土			
19	日			
20	月			
21	火	98 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（外国語（英語））②	112 教育相談（上級）③	
22	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑪Ⅱ期		
23	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑭		
24	金	12 新規採用教員〔3年次〕（特別支援学校）②	87 音楽科授業づくり①B班	
25	土			
26	日			
27	月			
28	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑫		
29	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑫Ⅰ期		
30	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑭	99 持続可能な社会を創る！SDGs②	
31	金	15 新規採用実習助手（高等学校）⑥	16 新規採用実習助手（特別支援学校）⑥	
		35 中堅実習助手〔後期〕資質向上②		

2月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	土			
2	日			
3	月			教職に関する研究③
4	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑭Ⅰ期	23 中堅養護教諭〔前期〕資質向上⑤	
		33 中堅養護教諭〔後期〕資質向上⑥	95 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（社会・地理歴史・公民）②	
5	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑫Ⅱ期	34 中堅栄養教諭〔後期〕資質向上⑥	
6	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑮	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑮	
		20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）⑦Ⅰ期	96 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（算数・数学）②B班	
7	金	13 新規採用養護教諭〔初任者〕⑧	14 新規採用栄養教諭〔初任者〕⑧	
		24 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上⑤		
8	土			
9	日			
10	月			
11	火			
12	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑭Ⅰ期		教科に関する研究④
13	木	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）⑦Ⅱ期	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑦	特別支援教育に関する研究④
		96 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（算数・数学）②C班		
14	金	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑥	83 こどもを主語にした学びをつくる国語科②Ⅰ期	教育の情報化に関する研究④
15	土			
16	日			
17	月			
18	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑭Ⅱ期	83 こどもを主語にした学びをつくる国語科②Ⅱ期	
19	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑭Ⅱ期		採用前研修（高）②
20	木	22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）⑦	96 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（算数・数学）②A班	
21	金	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）⑦		
22	土			
23	日			
24	月			
25	火			長期研修（6か月）
26	水			採用前研修（中）②
				採用前研修（特）②
27	木			
28	金			採用前研修（小）②A班

3月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	土			
2	日			
3	月			
4	火			採用前研修（小）②B班
				採用前研修（養・栄）②
5	水			
6	木			
7	金			
8	土			
9	日			
10	月			長期研修（6か月）
11	火			
12	水			
13	木			
14	金			
15	土			
16	日			
17	月			
18	火			
19	水			
20	木			
21	金			
22	土			
23	日			
24	月			長期研修（6か月）
25	火			
26	水			
27	木			
28	金			
29	土			
30	日			
31	月			

(10) 研修講座実施要項

ア 基本研修

基本研修	1
------	---

担当：教職教育課

直通：0296-78-3212

令和6年度 新規採用教員〔初任者〕研修講座（小学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。初任者は、主に基礎的・基本的な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

公立小学校採用1年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される初任者）

3 年間計画

I期（第9日を除く）：県北・県南教育事務所管内の受講者

II期（第9日を除く）：水戸・鹿行・県西教育事務所管内の受講者

※ 第6日と第7日の班分け及び第9日の期分けについては、第1日に連絡する。

※ 第4日と第5日の班分けについては、第3日に連絡する。

区分	期日	研修内容
第1日	4月17日（水）	開講式 所長講話「教員人生のスタートに寄せて」 信頼される教育公務員とは～教職員の服務と基本的心構え～ 安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～ 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ オリエンテーション (事後視聴) 一次救命処置
第2日	I期：4月24日（水） II期：5月8日（水）	育ちを支える教員の関わり 保護者との信頼関係のつくり方～子育てを応援する立場から～
第3日	5月15日（水）	主体的・対話的で深い学びを促す授業づくり 単元を見通した国語科の授業づくりと評価 安全に配慮した授業づくりの工夫
第4日	I期：5月29日（水） II期：6月12日（水）	1班：算数科の授業づくりと評価、社会科の授業づくりと評価 2班：社会科の授業づくりと評価、算数科の授業づくりと評価 3班：基礎的な理科の観察・実験の方法、体育科の授業づくりと評価 4班：体育科の授業づくりと評価、基礎的な理科の観察・実験の方法
第5日	I期：6月19日（水） II期：6月26日（水）	1班：基礎的な理科の観察・実験の方法、体育科の授業づくりと評価 2班：体育科の授業づくりと評価、基礎的な理科の観察・実験の方法 3班：算数科の授業づくりと評価、社会科の授業づくりと評価 4班：社会科の授業づくりと評価、算数科の授業づくりと評価
第6日 第7日 (注)	A班：7月23日（火） 7月24日（水） B班：7月30日（火） 7月31日（水） C班：8月6日（火） 8月7日（水）	【集中研修（宿泊可能）】 第6日： 教職員のメンタルヘルス 発達障害等のある児童の理解と支援 道徳科の授業づくりと評価 学級担任として求められるマネジメントの在り方 なすことによって学ぶ特別活動～人間関係形成、社会参画、自己実現の視点から～ よりよい人間関係づくりの手法 第7日： 音楽科の授業づくりと評価 図画工作科の授業づくりと評価 家庭科の授業づくりと評価 外国語活動・外国語（英語）科の授業づくりと評価 ※ 音楽科と図画工作科から1教科、家庭科と外国語活動・外国語（英語）科から1教科、計2教科を選択する。

区分	期日	研修内容
第8日 (注)	I期：9月11日（水） II期：9月18日（水）	こどもとの信頼関係のつくり方1～教員のためのソーシャルスキルを生かして～ 問題提起行動の理解とチーム支援～隠れたサインへの気づき方～
第9日	I期：9月25日（水） II期：10月2日（水） III期：10月16日（水） IV期：10月23日（水） V期：10月30日（水）	学校における情報教育の促進 教育情報ネットワークの活用～校務デジタル化の推進～ 授業におけるICT活用～学習支援ツールの効果的な活用に向けて～ 小学校段階におけるプログラミング教育の進め方
第10日	10月9日（水）	【所外研修】 特別支援学校における体験研修（県立特別支援学校の協力校）
第11日	I期：1月15日（水） II期：1月22日（水）	【オンライン研修】 生活科・総合的な学習の時間の授業の実際 授業におけるICT活用 授業実践の成果と課題 今後の授業づくりに向けて
第12日	I期：1月29日（水） II期：2月5日（水）	こどもとの信頼関係のつくり方2～育ちを促すアプローチ～ 育ちを支える私の実践
第13日	*月*日（*）	【市町村研修】
第14日	I期：2月12日（水） II期：2月19日（水）	児童がつくる学級活動の指導のポイント 児童がつくる学級会を目指して～模擬学級会～ 小学校における発達段階に応じたキャリア教育 1年間の研修の成果と次年度への課題 2年次研修に向けて

(注) A区分・B区分採用の者は、第6日、第7日、第8日を受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新規採用教員〔初任者〕研修講座（中学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。初任者は、主に基礎的・基本的な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

公立中学校採用1年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される初任者）

3 年間計画

I期（第9日を除く）：県北・県南教育事務所管内の受講者

II期（第9日を除く）：水戸・鹿行・県西教育事務所管内の受講者

※ 第6日と第7日の班分け及び第9日の期分けについては、第1日に連絡する。

区分	期日	研修内容
第1日	4月16日（火）	開講式 所長講話「教員人生のスタートに寄せて」 信頼される教育公務員とは～教職員の服務と基本的心構え～ 安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～ 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ オリエンテーション （事後視聴）一次救命処置
第2日	4月23日（火）	（事前視聴）中学校学習指導要領（各教科）の改訂のポイント 教科別研修
第3日	I期：5月7日（火） II期：5月14日（火）	育ちを支える教員の関わり 保護者との信頼関係のつくり方～子育てを応援する立場から～
第4日	5月28日（火）	教科別研修
第5日 （注）	6月4日（火）	【所外研修】 授業参観 授業づくりの実際
第6日 第7日 （注）	A班：7月25日（木） 7月26日（金） B班：8月8日（木） 8月9日（金）	【集中研修（宿泊可能）】 第6日： 道徳科の授業づくりと評価 発達障害等のある生徒の理解と支援 学級担任として求められるマネジメントの在り方 なすことによって学ぶ特別活動～人間関係形成、社会参画、自己実現の視点から～ よりよい人間関係づくりの手法 第7日： 教職員のメンタルヘルス こどもとの信頼関係のつくり方1～教員のためのソーシャルスキルを生かして～ 問題提起行動の理解とチーム支援～隠れたサインへの気づき方～
第8日	9月10日（火）	教科別研修（保健体育は所外）
第9日	I期：9月17日（火） II期：10月1日（火） III期：10月22日（火） IV期：10月29日（火）	学校における情報教育の促進 教育情報ネットワークの活用～校務デジタル化の推進～ 授業におけるICT活用～学習支援ツールの効果的な活用に向けて～
第10日	11月5日（火）	【所外研修】 特別支援学校における体験研修（県立特別支援学校の協力校）
第11日	I期：11月19日（火） II期：11月26日（火）	こどもとの信頼関係のつくり方2～育ちを促すアプローチ～ 育ちを支える私の実践

区分	期日	研修内容
第12日	1月28日（火）	【オンライン研修】 総合的な学習の時間の授業の実際 授業実践の成果と課題 今後の授業づくりに向けて
第13日	*月*日（*）	【市町村研修】
第14日	I期：2月4日（火）	生徒がつくる学級活動の指導のポイント 生徒がつくる学級会を目指して～模擬学級会～ 生徒の思いを実現するキャリア教育
	II期：2月18日（火）	1年間の研修の成果と次年度への課題 2年次研修に向けて

（注） A区分・B区分採用の者は、第5日、第6日、第7日を受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。初任者は、主に基礎的・基本的な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

県立高等学校採用1年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される初任者）

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	4月18日（木）	開講式 所長講話「教員人生のスタートに寄せて」 信頼される教育公務員とは～教職員のサービスと基本的心構え～ 教育活動と校務～充実した教員生活を送るために～ 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ オリエンテーション （事後視聴）一次救命処置
第2日	4月25日（木）	育ちを支える教員の関わり 保護者との信頼関係のつくり方～子育てを応援する立場から～
第3日	5月16日（木）	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり 教科別研修
第4日	5月30日（木）	安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～ なすことによって学ぶ特別活動～道徳教育の視点から～ なすことによって学ぶ特別活動～人間関係形成、社会参画、自己実現の視点から～
第5日	I期：5月22日（水）	【看護・福祉（オンライン研修）】 教科別研修（埼玉県立総合教育センターとの合同開催）
	II期：5月28日（火）	【音楽】 教科別研修
	III期：6月13日（木）	【国語、地理歴史・公民、数学、理科、保健体育、美術・書道、外国語（英語）、家庭、情報、農業、工業、商業、水産】 教科別研修
第6日 第7日 （注）	8月1日（木） 8月2日（金）	【集中研修（宿泊可能）】 第6日： 生徒がつくるホームルーム活動の指導のポイント よりよい人間関係づくりの手法と実践 第7日： 教職員のメンタルヘルス こどもとの信頼関係のつくり方1～教員のためのソーシャルスキルを生かして～ 問題提起行動の理解とチーム支援～隠れたサインへの気づき方～
第8日	I期：9月12日（木）	学校における情報教育の促進 教育情報ネットワークの活用～校務デジタル化の推進～
	II期：9月19日（木）	授業におけるICT活用～学習支援ツールの効果的な活用に向けて～ ※ 第8日の期分けについては、第4日に連絡する。
第9日	I期：9月4日（水）	【看護・福祉（オンライン研修）】 教科別研修（埼玉県立総合教育センターとの合同開催）
	II期：9月10日（火）	【保健体育、音楽】 教科別研修（保健体育は所外）
	III期：9月26日（木）	【国語、地理歴史・公民、数学、理科、美術・書道、外国語（英語）、家庭、情報、農業、工業、商業】 教科別研修（農業、工業、商業は所外）
	IV期：10月10日（木）	【水産（所外研修）】 教科別研修

区分	期日	研修内容
第10日 (注)	10月17日 (木)	【所外研修】 授業参観 教科別研修
第11日	10月31日 (木)	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育 ワーク・ライフ・バランスの理解 発達障害等のある生徒の理解と支援
第12日	11月14日 (木)	【所外研修】 特別支援学校における体験研修 (県立特別支援学校の協力校)
第13日	12月 5日 (木)	こどもとの信頼関係のつくり方2～育ちを促すアプローチ～ 育ちを支える私の実践
第14日	1月23日 (木)	【オンライン研修】 総合的な探究の時間の授業の実際 授業実践の成果と課題 今後の授業づくりに向けて
第15日	2月 6日 (木)	ホームルーム担任として求められるマネジメントの在り方 生徒の主体性が育つホームルーム運営の実際 1年間の研修の成果と次年度への課題 これからの教員に期待されること 2年次研修に向けて

(注) A区分・B区分採用の者は、第6日、第7日、第10日を受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新規採用教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。初任者は、主に基礎的・基本的な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

公立特別支援学校採用1年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される初任者）

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	4月18日（木）	開講式 所長講話「教員人生のスタートに寄せて」 特別支援教育の現状～国及び本県のデータ等の推移から～ 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ 教職員の服務と教育関連法規 校外研修の内容及び研修に参加するにあたって （事後視聴）一次救命処置
第2日	5月9日（木）	特別支援学校における教育課程の編成～学習指導要領の位置づけを中心に～ 児童生徒の実態把握～多面的・多角的に困難さの背景を探る～ 個別的教育支援計画と個別の指導計画～資質・能力の三つの柱を踏まえた作成と活用～ 単元を通した授業づくり～児童生徒の実態に応じた工夫を通して～
第3日	5月23日（木）	国語科の授業づくり 算数・数学科の授業づくり 単元を通した学習指導案～子どもたちの確かな学びをデザインする～ 【スペシャリストを対象とした特別選考での採用者】 特別支援学校における専門職の役割 自立活動の学習指導案の作成
第4日	6月6日（木）	知的障害児の理解と支援 特別支援学校における道徳科の在り方～自分ごととして考える授業づくり～ 教職員のメンタルヘルス
第5日	6月20日（木）	保護者との連携の在り方 自立活動の授業づくり～課題の明確化を中心に～ 自立活動の授業づくりの実際 自立活動における指導計画の作成
第6日	7月4日（木）	学習指導案の検討
第7日 第8日 （注）	7月31日（水） 8月1日（木）	【集中研修（宿泊可能）】 第7日： 教員と児童生徒との信頼関係づくり 視覚障害児の理解と支援 聴覚障害児の理解と支援 力を合わせるグループ活動の実際 第8日： 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善 発達障害児の理解と支援 肢体不自由児の理解と支援 病弱児の理解と支援 特別支援学校教員としての今後の取組に向けて①

区分	期日	研修内容
第9日	9月19日（木）	（公開講義 No.32）障害の重い児童生徒の理解と支援 技能教科の授業づくり（選択研修：音楽科の授業づくり、図画工作・美術科の授業づくり、家庭科の授業づくり） 特別支援学級及び通級指導教室の実際
第10日 （注）	10月3日（木）	各教科等を合わせた授業づくり 特別支援学校におけるティーム・ティーチングの実際～より効果的な協働を目指して～ 特別支援学校におけるキャリア教育 児童生徒の望ましい人間関係づくり
第11日	10月24日（木）	【オンライン研修】 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり
第12日	A班：11月7日（木） B班：11月14日（木） C班：11月21日（木） D班：11月28日（木） E班：12月5日（木）	【所外研修】 小学校の通常の学級及び特別支援学級の授業参観
第13日	1月16日（木）	授業におけるICT活用 障害者スポーツの実際
第14日	1月30日（木）	主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり
第15日	2月6日（木）	教育相談と児童生徒支援の在り方 特別支援学校におけるセンター的機能 特別支援学校教員として今後の取組に向けて② 2年次研修に向けて

（注） A区分・B区分採用の者は、第7日、第8日、第10日を受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新規採用教員〔2年次〕研修講座（小学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。2年次の教員は、主に授業力の育成を図る。

2 対象（条件等）

公立小学校採用2年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される2年次教員）

3 年間計画

第2日の前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて：校内研修シリーズ No. 25 https://youtu.be/63KUompcHU0

区分	期日	研修内容
第1日	6月14日（金）	学級のマネジメント上の課題と改善 学級のマネジメント上の課題解決の実際 共に学び深める「問い」を構想する道徳科の授業 共に学び深める「問い」を構想する道徳科の授業づくり
第2日	I期：10月10日（木） II期：10月25日（金）	算数科における主体的・対話的で深い学びを促す授業づくり 3年次研修に向けて

※ I期は、県北・県南教育事務所管内の受講者、II期は、水戸・鹿行・県西教育事務所管内の受講者とする。

※ B区分採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新規採用教員〔2年次〕研修講座（中学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。2年次の教員は、主に授業力の育成を図る。

2 対象（条件等）

公立中学校採用2年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される2年次教員）

3 年間計画

第2日の前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて：校内研修シリーズ No. 25 https://youtu.be/63KUompcHU0

区分	期日	研修内容
第1日	5月31日（金）	学級のマネジメント上の課題と改善 学級のマネジメント上の課題解決の実際 共に学び深める「問い」を構想する道徳科の授業 共に学び深める「問い」を構想する道徳科の授業づくり
第2日	11月12日（火）	主体的・対話的で深い学びを促す授業づくり 3年次研修に向けて

※ B区分採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新規採用教員〔2年次〕研修講座（高等学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。2年次の教員は、主に授業力の育成を図る。

2 対象（条件等）

県立高等学校採用2年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される2年次教員）

3 年間計画

第2日の前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて：校内研修シリーズ No. 25 https://youtu.be/63KUompcHU0

区分	期日	研修内容
第1日	7月12日（金）	学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育の充実 自発的、自治的な活動を支援するホームルーム経営 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応
第2日	I期：11月8日（金）	【国語、地理歴史・公民、数学、理科、保健体育、家庭・看護・福祉、外国語（英語）、情報、農業、工業、商業、水産】 主体的・対話的で深い学びを促す授業づくり 3年次研修に向けて
	II期：11月12日（火）	【音楽、美術・書道】 主体的・対話的で深い学びを促す授業づくり 3年次研修に向けて

※ B区分採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新規採用教員〔2年次〕研修講座（特別支援学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。2年次の教員は、主に授業力の育成を図る。

2 対象（条件等）

公立特別支援学校採用2年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される2年次教員）

3 年間計画

第1日の前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「実態把握を生かした自立活動」

区分	期日	研修内容
第1日	9月13日（金）	実態把握を生かした自立活動の実践 自立活動の指導における実践研究の内容検討
第2日	1月17日（金）	自立活動の指導における実践研究 3年次研修に向けて

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

担当：教職教育課
直通：0296-78-3212

令和6年度 新規採用教員〔3年次〕研修講座（小学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。3年次の教員は、主に課題対応力の育成を図る。

2 対象（条件等）

公立小学校採用3年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される3年次教員）

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	I期：6月25日（火）	教育目標の実現のためのカリキュラム・マネジメント
	II期：6月28日（金）	学級活動の授業づくりにおける課題と改善のポイント 保護者との信頼関係の作り方2～多様な背景のある保護者の理解～
第2日	I期：12月3日（火）	授業づくりの課題と対応
	II期：12月6日（金）	修了式

※ I期は、県北・県南教育事務所管内の受講者、II期は、水戸・鹿行・県西教育事務所管内の受講者とする。

※ B区分採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新規採用教員〔3年次〕研修講座（中学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。3年次の教員は、主に課題対応力の育成を図る。

2 対象（条件等）

公立中学校採用3年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される3年次教員）

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月24日（金）	教育目標の実現のためのカリキュラム・マネジメント 学級活動の授業づくりにおける課題と改善のポイント 保護者との信頼関係のつくり方2～多様な背景のある保護者の理解～
第2日	*期：*月*日（*）	【所外研修】 企業理念と概要 企業の実際 教科の学びと社会とのつながり 修了式
	*期：*月*日（*）	

※ 第2日の期分けについては、4月中に、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。

※ B区分採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新規採用教員〔3年次〕研修講座（高等学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。3年次の教員は、主に課題対応力の育成を図る。

2 対象（条件等）

県立高等学校採用3年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される3年次教員）

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月11日（火）	学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育の充実 学校の未来を語る 保護者との信頼関係の作り方2～多様な背景のある保護者の理解～
第2日	*期：11月22日（金）	【工業、商業】 各教科における探究的で教科等横断的な授業への改善～カリキュラム・マネジメントを中心に～ 修了式
	*期：*月*日（*）	【所外研修：国語、地理歴史・公民、数学、理科、保健体育、音楽、美術・書道、外国語（英語）、家庭、看護・福祉、情報】 企業理念と概要 企業の実際 教科の学びと社会とのつながり 修了式

※ 第2日の期分けについては、4月中に、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。

※ B区分採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新規採用教員〔3年次〕研修講座（特別支援学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。3年次の教員は、主に課題対応力の育成を図る。

2 対象（条件等）

公立特別支援学校採用3年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される3年次教員）

3 年間計画

第1日の前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「学習上の課題と対応ー評価の工夫を通してー」

区分	期日	研修内容
第1日	9月27日（金）	特別支援学校のカリキュラム・マネジメントの推進 評価に基づく授業改善 評価に基づく授業改善の計画検討
第2日	1月24日（金）	指導と評価の一体化を目指した授業改善 修了式

※ B区分採用の者及びスペシャリスト採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新規採用養護教諭〔初任者〕研修講座

1 目的

学校保健・学校安全における基本的な事項について理解し、実践的指導力と使命感を養う。

2 対象（条件等）

公立小・中学校、高等学校及び特別支援学校の新規採用の養護教諭

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	4月16日（火）	開講式 所長講話「教員人生のスタートに寄せて」 信頼される教育公務員とは～教職員の服務と基本的心構え～ 安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～ 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ オリエンテーション
第2日	5月8日（水）	情報モラル・情報セキュリティ 児童生徒の災害共済給付制度 学校保健の現状と求められる養護教諭の資質・能力 求められる養護教諭の役割と保健室経営
第3日	6月11日（火）	心身の発達と性に関する指導の実際 感染症の予防と管理 感染症の予防と管理～感染症対策の実際～ 自校の課題を踏まえた実践の進め方
第4日	7月11日（木）	教職員のメンタルヘルス 保健室経営の実際 保健室の課題 児童生徒のスポーツ傷害
第5日	9月11日（水）	不登校児童生徒との関わり アレルギーへの対応 救急法
第6日	10月3日（木）	【オンライン研修】 特別な教育的ニーズのある児童生徒の理解と支援 児童生徒のメンタルヘルス 薬物乱用防止教育・がん教育 保健室での心理的援助の実際
第7日	10月23日（水）	【所外研修】 特別支援学校における体験研修
第8日	2月7日（金）	自校の課題を踏まえた実践の共有 1年間の研修を振り返って 修了式

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新規採用栄養教諭〔初任者〕研修講座

1 目的

学校給食の管理や食に関する指導における基本的な事項について理解し、実践的指導力と使命感を養う。

2 対象（条件等）

公立小・中学校及び特別支援学校の新規採用の栄養教諭

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	4月16日（火）	開講式 所長講話「教員人生のスタートに寄せて」 信頼される教育公務員とは～教職員の服務と基本的心構え～ 安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～ 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ 栄養教諭に望むこと 研修に参加するにあたって
第2日	5月23日（木）	学校給食衛生管理の基準 学校給食関連事故発生時の対応 食に関する指導上の課題 食に関する指導の全体計画
第3日	6月11日（火）	【所外研修】 授業参観（食に関する指導の実際） 給食参観（給食指導の実際） 食に関する指導の進め方
第4日	7月11日（木）	教職員のメンタルヘルス 学習指導要領と教科等との関わり 食に関する指導の実際 実践研究（食に関する指導）の進め方 食に関する指導における学習指導案の作成
第5日	9月11日（水）	食に関する学習指導案の検討 アレルギーへの対応 救急法
第6日	10月3日（木）	個別指導に取り組むために 給食の時間における指導の工夫 発達障害等のある児童生徒の理解と支援 児童生徒の理解と保護者との連携 情報モラル・情報セキュリティ
第7日	11月7日（木）	【オンライン研修】 食品の安全性 学校給食管理の実際 病状に適した栄養指導 給食献立作成上の工夫
第8日	2月7日（金）	実践研究の共有 1年間の研修を振り返って 修了式

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新規採用実習助手研修講座（高等学校）

- 1 目的
実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。
- 2 対象（条件等）
県立高等学校新規採用実習助手。ただし、臨時的任用職員を除く。
- 3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	4月18日（木）	開講式 所長講話「教員人生のスタートに寄せて」 信頼される教育公務員とは～教職員の服務と基本的心構え～ 教育活動と校務～充実した教員生活を送るために～ 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ オリエンテーション （事後視聴）一次救命処置
第2日	4月25日（木）	育ちを支える教員の関わり 保護者との信頼関係のつくり方～子育てを応援する立場から～
第3日	7月12日（金）	安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～ 実習助手の職務 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応
第4日	9月12日（木）	学校における情報教育の促進 教育情報ネットワークの活用～校務デジタル化の推進～ 授業におけるICT活用～学習支援ツールの効果的な活用に向けて～
第5日	11月14日（木）	【所外研修】 特別支援学校における体験研修（県立特別支援学校の協力校）
第6日	1月31日（金）	授業への取組の改善 実習助手としての授業への関わり方 実習助手としての課題とその改善 修了式

- 4 研修講座資料等
研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新規採用実習助手研修講座（特別支援学校）

- 1 目的
実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。
- 2 対象（条件等）
県立特別支援学校新規採用実習助手。ただし、臨時的任用職員を除く。
- 3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	4月18日（木）	開講式 所長講話「教員人生のスタートに寄せて」 特別支援教育の現状～国及び本県のデータ等の推移から～ 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ 教職員の服務と教育関連法規 校外研修の内容及び研修に参加するにあたって （事後視聴）一次救命処置
第2日	5月9日（木）	特別支援学校における教育課程の編成～学習指導要領の位置づけを中心に～ 児童生徒の実態把握～多面的・多角的に困難さの背景を探る～ 実習助手の役割～専門性を生かして～ 実習助手としての実践と取組 実習助手としての課題の整理
第3日	6月6日（木）	知的障害児の理解と支援 キャリアカウンセリングを重視した職業教育 教職員のメンタルヘルス
第4日	10月3日（木）	学校事故の防止と対応 特別支援学校におけるティーム・ティーチングの実際～より効果的な協働を目指して～ 実習助手としての課題と今後の取組 児童生徒の望ましい人間関係づくり
第5日	1月16日（木）	授業におけるICT活用 障害者スポーツの実際
第6日	1月31日（金）	授業への取組の改善～次年度に向けた実践を考える～ 実習助手としての専門性とキャリアを考える 実習助手としての課題とその改善 修了式

- 4 研修講座資料等
研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新規採用寄宿舍指導員研修講座

※ 令和6年度は新規採用者がいないため、本講座は実施しない。

- 1 目的
実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。

- 2 対象（条件等）
県立特別支援学校新規採用寄宿舍指導員

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	*月*日（*）	開講式 所長講話「教員人生のスタートに寄せて」 教職員の服務と教育関連法規 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ 特別支援教育の現状～国及び本県のデータ等の推移から～ 校外研修の内容及び研修に参加するにあたって （事後視聴）一次救命処置
第2日	*月*日（*）	特別支援学校における教育課程の編成～学習指導要領の位置づけを中心に～ 児童生徒の実態把握～多面的・多角的に困難さの背景を探る～ 寄宿舍指導員の役割 寄宿舍指導員の支援の実際
第3日	*月*日（*）	知的障害児の理解と支援 特別支援学校における進路指導と職業教育 教職員のメンタルヘルス
第4日	*月*日（*）	学校事故の防止と対応 特別支援学校におけるティーム・ティーチングの実際～より効果的な協働を目指して～ 寄宿舍指導員としてのこれから 児童生徒の望ましい人間関係づくり
第5日	*月*日（*）	授業におけるICT活用 障害者スポーツの実際
第6日	*月*日（*）	寄宿舍における危機管理 寄宿舍における余暇活動 寄宿舍指導員としての今後の課題

- 6 研修講座資料等
研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新規採用市町村立学校事務職員研修講座

1 目的

公務員としての心構えと職務上必要な基礎的知識及び技能を習得し、事務職員としての自覚を高め、資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

令和6年4月1日付け採用の県費負担市町村立学校事務職員

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月9日（木）	開講式 所長講話 事務職員の服務及び接遇～基礎基本を身に付ける～ 給与事務の基礎Ⅰ 給与事務・学校事務の年間計画等の実践 財務事務を考える～学校徴収金の取扱いを中心に～ 事務職員としての服務、人間関係の構築を求めて
第2日	9月12日（木）	人権教育の現状と課題－基礎編－ 生徒支援の現状－基礎編－ 本県教育の現状を知る 給与事務の基礎Ⅱ 学校事務の共同実施の実践 事務職員としての知識及び技能の向上を求めて

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（小学校）

1 目的

中堅教諭として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校
職	教諭
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月23日（木）	（事前視聴）特別活動の指導の改善 開講式 自治的能力の育成を目指す学級のマネジメントの工夫改善 自治的能力を育むための特別活動の工夫改善 いじめへの対応 「不登校」の背景と対応 アセスメントを生かした集団づくり
第2日	I期：6月20日（木） II期：6月21日（金） III期：7月2日（火） IV期：7月3日（水） V期：7月4日（木）	授業におけるICT活用～探究的な学習に向けて～ 探究的な学習におけるICT活用
第3日	7月12日（金）	教科別研修 （公開講義 No.08）主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業改善
第4日	9月5日（木）	教科別研修
第5日	I期：10月24日（木） II期：11月27日（水）	【国語、社会、理科、生活、音楽、図画工作、体育】 教科別研修 【算数、家庭、外国語活動・外国語、自立活動】 教科別研修
第6日	12月11日（水）	私の働き方改革～ワーク・ライフ・バランスに向けて～ 問題解決的な道徳科の授業 特別な教育的支援を必要とする児童生徒への対応 特別な教育的支援を必要とする児童生徒のケース会議の進め方
第7日	2月21日（金）	教科別研修 （公開講義 No.23）豊かな情操を培う造形遊び

- ※ 第2日の期分けについては、4月上旬に、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。
- ※ 第3日からの教科別研修の選択教科については、第1日に希望教科を調査し、決定後、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。
- ※ 教科別研修の詳細は、次ページに示すとおり。

教科別研修表

教科	第3日	第4日	第5日	第7日
国語	7月12日（金） オンライン研修	9月5日（木） 教育研修センター	10月24日（木） 教育研修センター	2月21日（金） オンライン研修
社会	7月12日（金） オンライン研修	9月5日（木） 水戸生涯学習センター	10月24日（木） 教育研修センター	2月21日（金） オンライン研修
算数	7月12日（金） オンライン研修	9月5日（木） 教育研修センター	11月27日（水） 教育研修センター	2月21日（金） 教育研修センター
理科	7月12日（金） オンライン研修	9月5日（木） オンライン研修	10月24日（木） 教育研修センター	2月21日（金） オンライン研修
生活	7月12日（金） 教育研修センター	9月5日（木） 教育研修センター	10月24日（木） 教育研修センター	2月21日（金） オンライン研修
音楽	7月12日（金） 教育研修センター	9月5日（木） 教育研修センター	10月24日（木） 教育研修センター	2月21日（金） オンライン研修
図画工作	7月12日（金） 教育研修センター	9月5日（木） 教育研修センター	10月24日（木） 教育研修センター	2月21日（金） オンライン研修
家庭	7月12日（金） 教育研修センター	9月5日（木） 教育研修センター	11月27日（水） 教育研修センター	2月21日（金） オンライン研修
体育	7月12日（金） 教育研修センター	9月5日（木） 教育研修センター	10月24日（木） 教育研修センター	2月21日（金） オンライン研修
外国語活動 外国語	7月12日（金） 教育研修センター	9月5日（木） 教育研修センター	11月27日（水） 教育研修センター	2月21日（金） オンライン研修
自立活動	7月12日（金） 教育研修センター	9月5日（木） 教育研修センター	11月27日（水） 教育研修センター	2月21日（金） オンライン研修

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（中学校）

1 目的

中堅教諭として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校
職	教諭
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月17日（金）	（事前視聴）特別活動の指導の改善 開講式 自治的能力の育成を目指す学級のマネジメントの工夫改善 自治的能力を育むための特別活動の工夫改善 いじめへの対応 「不登校」の背景と対応 アセスメントを生かした集団づくり
第2日	I期：5月29日（水） II期：5月30日（木） III期：6月6日（木） IV期：6月7日（金）	授業におけるICT活用～探究的な学習に向けて～ 探究的な学習におけるICT活用
第3日	7月10日（水）	教科別研修 （公開講義 No.07）主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業改善
第4日	9月13日（金）	教科別研修 （公開講義 No.16）国語科の授業づくりと評価の改善
第5日	I期：10月16日（水） II期：11月15日（金）	【国語、社会、理科、美術A】 教科別研修 【数学、音楽、美術B、保健体育、技術・家庭〔技術〕、技術・家庭〔家庭〕、外国語（英語）】 教科別研修
第6日	12月4日（水）	私の働き方改革～ワーク・ライフ・バランスに向けて～ 問題解決的な道徳科の授業 特別な教育的支援を必要とする児童生徒への対応 特別な教育的支援を必要とする児童生徒のケース会議の進め方
第7日	I期：2月6日（木） II期：2月13日（木）	【国語、社会、数学、理科、保健体育、技術・家庭〔技術〕、技術・家庭〔家庭〕、外国語（英語）】 教科別研修 （公開講義 No.19）創造的な学びに着目した理科教育 【音楽、美術】 教科別研修 （公開講義 No.20）美術科の授業改善の共有 （公開講義 No.21）創造的思考力を育むアート

※ 第2日の期分けについては、4月上旬に、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。

※ 第5日の美術の班分けについては、第1日に連絡する。

※ 教科別研修の詳細は、次ページに示すとおり。

教科別研修表

教科	第3日	第4日	第5日	第7日
国語	7月10日(水) オンライン研修	9月13日(金) 教育研修センター	10月16日(水) 教育研修センター	2月6日(木) オンライン研修
社会	7月10日(水) オンライン研修	9月13日(金) 水戸生涯学習センター	10月16日(水) 教育研修センター	2月6日(木) オンライン研修
数学	7月10日(水) オンライン研修	9月13日(金) 教育研修センター	11月15日(金) 教育研修センター	2月6日(木) 教育研修センター
理科	7月10日(水) オンライン研修	9月13日(金) オンライン研修	10月16日(水) 教育研修センター	2月6日(木) オンライン研修
音楽	7月10日(水) 教育研修センター	9月13日(金) 教育研修センター	11月15日(金) 教育研修センター	2月13日(木) オンライン研修
美術	7月10日(水) 教育研修センター	9月13日(金) 教育研修センター	A班: 10月16日(水) B班: 11月15日(金) 教育研修センター	2月13日(木) オンライン研修
保健体育	7月10日(水) 教育研修センター	9月13日(金) 教育研修センター	11月15日(金) 笠松運動公園	2月6日(木) オンライン研修
技術・家庭 [技術]	7月10日(水) 教育研修センター	9月13日(金) 教育研修センター	11月15日(金) 教育研修センター	2月6日(木) 教育研修センター
技術・家庭 [家庭]	7月10日(水) 教育研修センター	9月13日(金) 教育研修センター	11月15日(金) 教育研修センター	2月6日(木) オンライン研修
外国語 (英語)	7月10日(水) 教育研修センター	9月13日(金) オンライン研修	11月15日(金) 教育研修センター	2月6日(木) オンライン研修

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）

1 目的

中堅教諭として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	教諭
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月21日（火）	開講式 生徒がつくる特別活動の工夫改善～自治的能力の育成の視点から～ 生徒がつくる特別活動の工夫改善～道德教育の視点から～ 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応
第2日	I期：6月11日（火） II期：6月12日（水）	授業におけるICT活用～探究的な学習に向けて～ 探究的な学習におけるICT活用
第3日	6月25日（火）	教科別研修 （公開講義 No.05）主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業改善
第4日	I期：9月4日（水）	【看護・福祉】 教科別研修（埼玉県立総合教育センターとの合同開催）
	II期：9月6日（金）	【商業】 教科別研修
	III期：9月13日（金）	【保健体育、音楽、美術・書道、水産】 教科別研修
	IV期：9月17日（火）	【国語、数学、理科、外国語（英語）、家庭】 教科別研修
	V期：9月18日（水）	【地理歴史・公民、情報】 教科別研修
	VI期：9月20日（金）	【農業、工業】 教科別研修
第5日	I期：10月11日（金）	【国語、地理歴史・公民、理科、情報、農業、工業、商業】 教科別研修
	II期：10月16日（水）	【美術・書道A】 教科別研修
	III期：10月18日（金）	【水産】 教科別研修（福島県教育センターとの合同開催）
	IV期：11月15日（金）	【保健体育、音楽、美術・書道B】 教科別研修
	V期：11月19日（火）	【数学、外国語（英語）、家庭、看護・福祉】 教科別研修

区分	期日	研修内容
第6日	12月10日（火）	いじめへの対応 「不登校」の背景と対応 アセスメントを生かした集団づくり 自己実現を支援するキャリア教育の推進 私の働き方改革～ワーク・ライフ・バランスに向けて～
第7日	2月13日（木）	教科別研修 （公開講義 No22）創造的な学びに着目した理科教育 （公開講義 No20）美術科の授業改善の共有 （公開講義 No21）創造的思考力を育むアート

※ 第2日の期分けについては、5月上旬に、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。

※ 第5日の美術・書道の班分けについては、第1日に連絡する。

※ 教科別研修の詳細は、教科別研修表に示すとおり。

教科別研修表

教科	第3日	第4日	第5日	第7日
国語	6月25日（火） オンライン研修	9月17日（火） 教育研修センター	10月11日（金） 教育研修センター	2月13日（木） オンライン研修
地歴公	6月25日（火） オンライン研修	9月18日（水） 水戸生涯学習センター	10月11日（金） 教育研修センター	2月13日（木） オンライン研修
数学	6月25日（火） オンライン研修	9月17日（火） 教育研修センター	11月19日（火） 教育研修センター	2月13日（木） 教育研修センター
理科	6月25日（火） オンライン研修	9月17日（火） 教育研修センター	10月11日（金） オンライン研修	2月13日（木） オンライン研修
保健体育	6月25日（火） 教育研修センター	9月13日（金） 教育研修センター	11月15日（金） 笠松運動公園	2月13日（木） オンライン研修
音楽	6月25日（火） 教育研修センター	9月13日（金） 教育研修センター	11月15日（金） 教育研修センター	2月13日（木） オンライン研修
美術・書道	6月25日（火） 教育研修センター	9月13日（金） 教育研修センター	A班：10月16日（水） B班：11月15日（金） 教育研修センター	2月13日（木） オンライン研修
外国語 （英語）	6月25日（火） オンライン研修	9月17日（火） オンライン研修	11月19日（火） オンライン研修	2月13日（木） 教育研修センター
家庭	6月25日（火） 教育研修センター	9月17日（火） 教育研修センター	11月19日（火） 教育研修センター	2月13日（木） オンライン研修
看護・福祉	6月25日（火） 教育研修センター	9月4日（水） オンライン研修	11月19日（火） 教育研修センター	2月13日（木） オンライン研修
情報	6月25日（火） 教育研修センター	9月18日（水） 教育研修センター	10月11日（金） 教育研修センター	2月13日（木） 教育研修センター
農業	6月25日（火） 教育研修センター	9月20日（金） 県内関連施設	10月11日（金） 教育研修センター	2月13日（木） 教育研修センター
工業	6月25日（火） 教育研修センター	9月20日（金） 県内関連施設	10月11日（金） 教育研修センター	2月13日（木） 教育研修センター
商業	6月25日（火） 教育研修センター	9月6日（金） 県内関連施設	10月11日（金） 教育研修センター	2月13日（木） 教育研修センター
水産	6月25日（火） 教育研修センター	9月13日（金） 県内関連施設	10月18日（金） 教育研修センター	2月13日（木） 教育研修センター

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）

1 目的

中堅教諭として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立特別支援学校
職	教諭
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月21日（火）	開講式 私の働き方改革～ワーク・ライフ・バランスに向けて～ 児童生徒の課題の解決を目指した事例研究の進め方 特別支援学校のセンター的機能とその役割～専門性を生かした積極的な地域支援～ 高等学校における特別な教育的支援を必要とする生徒への対応
第2日	6月27日（木）	学習指導要領と特別支援学校の授業づくり～主体的・対話的で深い学びのための指導のポイント～ 主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業改善 主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業づくり
第3日	7月9日（火）	【オンライン研修】 学年・学級経営における児童生徒支援～チームによる体制づくりを通して～ 児童生徒の課題の解決を目指した事例研究の計画検討
第4日	10月11日（金）	（公開講義 No.33）自立活動の指導における工夫・改善 自立活動の目標設定と指導～課題と場面の明確化を中心に～
第5日	11月5日（火）	特別の教科 道徳の実践の在り方 児童生徒の課題解決を目指した事例研究の中間検討
第6日	12月13日（金）	キャリア形成支援の充実 福祉事業所との連携の実践 I C Tを活用した授業の工夫 特別支援学校におけるI C Tを活用した授業実践
第7日	2月20日（木）	児童生徒の課題の解決を目指した事例研究

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 中堅養護教諭〔前期〕資質向上研修講座

1 目的

中堅養護教諭として、学校保健や学校安全に関する基本的事項について捉え直すとともに、自己の課題を明確にし、その解決に資する。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	養護教諭
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月23日（木）	開講式 中堅養護教諭〔前期〕に望むこと 保健室経営を振り返って 学校保健・学校安全の動向 自校の課題を踏まえた実践の進め方 私の働き方改革～ワーク・ライフ・バランスに向けて～
第2日	6月18日（火）	【所外研修】 授業参観（健康教育におけるティーム・ティーチングの実際） 健康教育の進め方
第3日	9月20日（金）	精神保健 健康相談 学校保健組織活動
第4日	11月21日（木）	心肺蘇生法 救急処置
第5日	2月4日（火）	自校の課題を踏まえた実践の共有 中堅後期に向けて

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上研修講座

1 目的

中堅栄養教諭として、学校給食の管理や食に関する指導における基本的な事項について捉え直すとともに、自己の課題を明確にし、その解決に資する。

2 対象（条件等）

校種	公立小・中学校、公立特別支援学校
職	栄養教諭
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月23日（木）	開講式 学校給食衛生管理の基準 学校給食関連事故発生時の対応 食に関する指導上の課題 私の働き方改革～ワーク・ライフ・バランスに向けて～
第2日	6月11日（火）	【所外研修】 授業参観（食に関する指導の実際） 給食参観（給食指導の実際） 食に関する指導の進め方
第3日	6月20日（木）	栄養教諭を中核とした学校の食育の在り方 個別的な相談指導 衛生管理・栄養管理の現状と課題 実践研究の進め方
第4日	9月6日（金）	【オンライン研修】 実践研究の中間検討 地場産物を活用した献立作成上の工夫 給食を生きた教材として活用した食に関する指導の工夫 食に関する指導に係る全体計画の作成
第5日	2月7日（金）	実践研究の共有 1年間の研修を振り返って 中堅後期に向けて

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）

1 目的

中堅実習助手として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	実習助手、実習講師
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月21日（火）	生徒がつくる特別活動の工夫改善～自治的能力の育成の視点から～ いじめへの対応 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応
第2日	12月10日（火）	学習指導要領と授業への関わり方 実習助手としての課題とその改善 自己実現を支援するキャリア教育の推進 私の働き方改革～ワーク・ライフ・バランスに向けて～

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）

1 目的

中堅実習助手として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立特別支援学校
職	実習助手、実習講師
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月21日（火）	開講式 私の働き方改革～ワーク・ライフ・バランスに向けて～ 特別支援学校における実習助手としての役割～チームでの支援を中心に～ 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応 高等学校における特別な教育的支援を必要とする生徒への対応
第2日	12月13日（金）	キャリア形成支援の充実 福祉事業所との連携の実際 I C Tを活用した授業の工夫 特別支援学校におけるI C Tを活用した授業実践 実習助手としての課題とその改善

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 中堅寄宿舍指導員〔前期〕資質向上研修講座

※ 令和6年度は受講対象者がいないため、本講座は実施しない。

1 目的

中堅寄宿舍指導員として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立特別支援学校
職	寄宿舍指導員
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	*月*日（*）	開講式 私の働き方改革～ワーク・ライフ・バランスに向けて～ 寄宿舍における教育相談 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応 高等学校における特別な教育的支援を必要とする生徒への対応
第2日	*月*日（*）	キャリア形成支援の充実 福祉事業所との連携の実際 I C Tを活用した授業の工夫 特別支援学校におけるI C Tを活用した授業実践 寄宿舍における課題解決に向けての取組

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 市町村立学校事務職員基礎研修講座

※ 令和6年度は、本講座は実施しない。令和7年度から隔年で実施する。

1 目的

若手事務職員としての職務上の基本的問題を取り上げ、業務に直接関わる実践的な研修を行うことにより、職場への一層の適応力を養う。

2 対象（条件等）

校種	市町村立学校
職	県費負担事務職員
条件	・勤務経験4年又は5年を有する者 ・勤務経験4年又は5年を有する者で受講を猶予されていた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	*月*日（*）	給与事務の実践 生徒支援の現状と課題－実践編－ 人権教育の現状と課題－実践編－ 学校教育におけるカリキュラム・マネジメントの実践 若手事務職員としての学校組織マネジメントを考える 若手事務職員としてのリスク・マネジメントを考える 若手事務職員としての財務マネジメントを考える 事務職員としてのマネジメント業務の実践

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校）

1 目的

中堅教諭として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校
職	教諭
条件	・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・平成28年度までの10年経験者研修講座において受講認定を受けた者 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月5日（水）	ミドルリーダーに必要なコーチング力 ミドルリーダーとしてのマネジメント力を高める これからの特別支援教育
第2日	6月21日（金）	【オンライン研修】 教職員の服務 人権教育の組織的な推進 原子力災害対応 校務のデジタル化における情報セキュリティ
第3日	7月3日（水）	【オンライン研修】 教科等横断的な視点を踏まえた授業の実際 教科等横断的な視点を踏まえた授業づくり
第4日	10月1日（火）	こどもを支援する法規の理解 ミドルリーダーのためのカウンセリング チーム支援の実際～保護者との協働を通して～
第5日	選択分野による	【選択研修】 ※ 選択研修の希望については、第1日に連絡する。 ※ 選択研修の詳細は、次ページに示すとおり。
第6日	12月12日（木）	【オンライン研修】 （事前視聴）学校組織力の向上「みんなの学校」をつくるために 学校全体における教科学習の現状と課題 授業改善を目指した学校組織マネジメント～プロジェクトプロポーザルを通して～ 修了式

【選択研修】

区分	期日	分野	研修内容
第5日	11月14日（木）	教育相談	関係機関との連携の実際 こどもたちが支え合うグループアプローチの活用～問題行動等の未然防止に向けて～
	11月7日（木）	キャリア教育	今、求められるキャリア教育とは 実践的・体験的な活動を通じたキャリア教育の実践 各学校の特色を生かしたキャリア教育のデザイン
	10月29日（火）	道徳教育	（事前視聴）児童生徒の発達段階に応じた道徳教育の進め方 道徳教育と主体的・対話的で深い学びに向けた道徳科の授業 「自ら問い、考え、語る」道徳教育の実際 「自ら問い、考え、語る」道徳教育を目指して
	11月6日（水）	マネジメント	中堅教員に求められるマネジメント力 教員の自己理解に基づいたキャリア開発 実践発表校の教育課題解決への取組から 自校の教育課題解決に向けた構想
	I期：11月19日（火）	情報教育	学校のデジタル化推進～ミドルリーダーの視点と役割～ 授業におけるICT活用の実際～教室のリアルから学ぶ～ 未来の学びのためのICT活用～先端技術体験から展望する～ 未来の学びのためのICT活用～校内研修をマネジメントする～
	II期：11月26日（火）		
	11月1日（金）	特別支援教育	【オンライン研修】 読み書き困難のある児童生徒への指導 読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫 読み書き困難のある児童生徒への指導の実際

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（中学校）

1 目的

中堅教諭として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校
職	教諭
条件	・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・平成28年度までの10年経験者研修講座において受講認定を受けた者 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月22日（水）	ミドルリーダーに必要とされるコーチング力 ミドルリーダーに必要とされるマネジメント力 これからの特別支援教育
第2日	6月21日（金）	【オンライン研修】 教職員の服務 人権教育の組織的な推進 原子力災害対応 校務のデジタル化における情報セキュリティ
第3日	7月11日（木）	【オンライン研修】 教科等横断的な視点を踏まえた授業の実際 教科等横断的な視点を踏まえた授業づくり
第4日	9月20日（金）	こどもを支援する法規の理解 ミドルリーダーのためのカウンセリング チーム支援の実際～保護者との協働を通して～
第5日	選択分野による	【選択研修】 ※ 選択研修の希望については、第1日に連絡する。 ※ 選択研修の詳細は、次ページに示すとおり。
第6日	12月17日（火）	【オンライン研修】 （事前視聴）学校組織力の向上「みんなの学校」をつくるために 学校全体における教科学習の現状と課題 授業改善を目指した学校組織マネジメント～プロジェクトプロポーザルを通して～ 修了式

【選択研修】

区分	期日	分野	研修内容
第5日	11月14日（木）	教育相談	関係機関との連携の実際 こどもたちが支え合うグループアプローチの活用～問題行動等の未然防止に向けて～
	11月7日（木）	キャリア教育	今、求められるキャリア教育とは 実践的・体験的な活動を通したキャリア教育の実践 各学校の特色を生かしたキャリア教育のデザイン
	10月29日（火）	道徳教育	（事前視聴）児童生徒の発達段階に応じた道徳教育の進め方 道徳教育と主体的・対話的で深い学びに向けた道徳科の授業 「自ら問い、考え、語る」道徳教育の実際 「自ら問い、考え、語る」道徳教育を目指して
	11月6日（水）	マネジメント	中堅教員に求められるマネジメント力 教員の自己理解に基づいたキャリア開発 実践発表校の教育課題解決への取組から 自校の教育課題解決に向けた構想
	I期：11月19日（火）	情報教育	学校のデジタル化推進～ミドルリーダーの視点と役割～ 授業におけるICT活用の実際～教室のリアルから学ぶ～ 未来の学びのためのICT活用～先端技術体験から展望する～ 未来の学びのためのICT活用～校内研修をマネジメントする～
	II期：11月26日（火）		
	11月1日（金）	特別支援教育	【オンライン研修】 読み書き困難のある児童生徒への指導 読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫 読み書き困難のある児童生徒への指導の実際

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（高等学校）

1 目的

中堅教諭として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	教諭
条件	・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・平成28年度までの10年経験者研修講座において受講認定を受けた者 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月28日（火）	【オンライン研修】 服務規律の徹底におけるミドルリーダーの役割 校務のデジタル化における情報セキュリティ 人権教育の組織的な推進 原子力災害対応
第2日	6月18日（火）	ミドルリーダーとしてのマネジメント力を高める ミドルリーダーに必要なコーチング力 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応 特別な教育的支援を必要とする生徒のケース会議の進め方
第3日	6月28日（金）	【オンライン研修】 教科等横断的な視点を踏まえた授業の実際 教科等横断的な視点を踏まえた授業づくり
第4日	10月4日（金）	こどもを支援する法規の理解 ミドルリーダーのためのカウンセリング チーム支援の実際～保護者との協働を通して～
第5日	選択分野による	【選択研修】 <u>※ 選択研修の希望については、第1日に連絡する。</u> <u>※ 選択研修の詳細は、次ページに示すとおり。</u>
第6日	12月4日（水）	【オンライン研修】 （事前視聴）学校組織力の向上「みんなの学校」をつくるために 学校全体における教科学習の現状と課題 授業改善を目指した学校組織マネジメント～プロジェクトプロポーザルを通して～ 修了式

【選択研修】

区分	期日	分野	研修内容
第5日	11月14日（木）	教育相談	関係機関との連携の実際 こどもたちが支え合うグループアプローチの活用～問題行動等の未然防止に向けて～
	11月7日（木）	キャリア教育	今、求められるキャリア教育とは 実践的・体験的な活動を通したキャリア教育の実践 各学校の特色を生かしたキャリア教育のデザイン
	10月29日（火）	道徳教育	（事前視聴）児童生徒の発達段階に応じた道徳教育の進め方 道徳教育と主体的・対話的で深い学びに向けた道徳科の授業 「自ら問い、考え、語る」道徳教育の実際 「自ら問い、考え、語る」道徳教育を目指して
	11月6日（水）	マネジメント	中堅教員に求められるマネジメント力 教員の自己理解に基づいたキャリア開発 実践発表校の教育課題解決への取組から 自校の教育課題解決に向けた構想
	I期：11月19日（火）	情報教育	学校のデジタル化推進～ミドルリーダーの視点と役割～ 授業におけるICT活用の実際～教室のリアルから学ぶ～ 未来の学びのためのICT活用～先端技術体験から展望する～ 未来の学びのためのICT活用～校内研修をマネジメントする～
	II期：11月26日（火）		
	11月1日（金）	特別支援教育	【オンライン研修】 読み書き困難のある児童生徒への指導 読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫 読み書き困難のある児童生徒への指導の実際

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（特別支援学校）

1 目的

中堅教諭として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立特別支援学校
職	教諭
条件	・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・平成28年度までの10年経験者研修講座において受講認定を受けた者 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月28日（火）	【オンライン研修】 教職員のサービスとミドルリーダーとしての役割 ミドルリーダーとしての課題研究の進め方～解決事例から考える～ 校務のデジタル化における情報セキュリティ 人権教育の組織的な推進 原子力災害対応
第2日	6月18日（火）	学校の課題の把握と分析～ミドルリーダーの視点を踏まえて～ 特別支援学校におけるセンター的機能とファシリテーターの役割 特別な教育的支援を必要とする生徒のケース会議の進め方
第3日	7月11日（木）	ミドルリーダーのためのコーチング 企業におけるミドルリーダーの役割から考える ミドルリーダーの視点を踏まえた課題研究の計画検討
第4日	10月18日（金）	保護者の心に寄り添う教育相談 ミドルリーダーの視点を踏まえた課題研究の中間検討
第5日	選択分野による	【選択研修】 ※ 選択研修の希望については、第1日に連絡する。 ※ 選択研修の詳細は、次ページに示すとおり。
第6日	2月14日（金）	ミドルリーダーの視点を踏まえた課題研究発表 修了式

【選択研修】

区分	期日	分野	研修内容
第5日	11月14日（木）	教育相談	関係機関との連携の実際 こどもたちが支え合うグループアプローチの活用～問題行動等の未然防止に向けて～
	11月7日（木）	キャリア教育	今、求められるキャリア教育とは 実践的・体験的な活動を通したキャリア教育の実践 各学校の特色を生かしたキャリア教育のデザイン
	10月29日（火）	道徳教育	（事前視聴）児童生徒の発達段階に応じた道徳教育の進め方 道徳教育と主体的・対話的で深い学びに向けた道徳科の授業 「自ら問い、考え、語る」道徳教育の実際 「自ら問い、考え、語る」道徳教育を目指して
	11月6日（水）	マネジメント	中堅教員に求められるマネジメント力 教員の自己理解に基づいたキャリア開発 実践発表校の教育課題解決への取組から 自校の教育課題解決に向けた構想
	I期：11月19日（火）	情報教育	学校のデジタル化推進～ミドルリーダーの視点と役割～ 授業におけるICT活用の実際～教室のリアルから学ぶ～ 未来の学びのためのICT活用～先端技術体験から展望する～ 未来の学びのためのICT活用～校内研修をマネジメントする～
	II期：11月26日（火）		
	11月1日（金）	特別支援教育	【オンライン研修】 読み書き困難のある児童生徒への指導 読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫 読み書き困難のある児童生徒への指導の実際

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座

1 目的

中堅養護教諭として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	養護教諭
条件	・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・平成28年度までの10年経験者研修講座において受講認定を受けた者 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月5日（水）	ミドルリーダーに必要なコーチング力 ミドルリーダーとしてのマネジメント力を高める これからの特別支援教育
第2日	6月21日（金）	【オンライン研修】 教職員の服務 人権教育の組織的な推進 原子力災害対応 校務のデジタル化における情報セキュリティ
第3日	9月27日（金）	学校と児童相談所との連携 児童生徒への福祉的支援の実践、児童虐待
第4日	10月1日（火）	こどもを支援する法規の理解 ミドルリーダーのためのカウンセリング チーム支援の実践～保護者との協働を通して～
第5日	11月21日（木）	心肺蘇生法 健康相談の見直しと連携の進め方
第6日	2月4日（火）	自校の課題を踏まえた実践の共有 修了式

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 中堅栄養教諭〔後期〕資質向上研修講座

1 目的

中堅栄養教諭として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小・中学校、公立特別支援学校
職	栄養教諭（任用替え栄養教諭含む）
条件	栄養教諭 ・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者 任用替え栄養教諭 ・令和6年4月1日現在で45歳未満の者 ・実質勤務年数11年以上を有する者 ・実質勤務年数11年以上を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・平成28年度までの10年経験者研修講座において受講認定を受けた者 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月5日（水）	ミドルリーダーに必要なコーチング力 ミドルリーダーとしてのマネジメント力を高める これからの特別支援教育
第2日	6月21日（金）	【オンライン研修】 教職員の服務 人権教育の組織的な推進 原子力災害対応 校務のデジタル化における情報セキュリティ
第3日	7月5日（金）	実践研究の進め方 学校における食育の推進と評価 事故発生時の危機管理対応計画の作成 地域と連携した食育の取組
第4日	10月1日（火）	こどもを支援する法規の理解 ミドルリーダーのためのカウンセリング チーム支援の実際～保護者との協働を通して～
第5日	I期：10月23日（水） II期：10月31日（木）	異校種における食に関する指導と給食指導の実際 異校種における食に関する指導の進め方
第6日	2月5日（水）	実践研究の共有 1年間の研修を振り返って 修了式

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 中堅実習助手〔後期〕資質向上研修講座

1 目的

中堅実習助手として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校、公立特別支援学校
職	実習助手、実習講師、実習教諭
条件	・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の10年次研修講座（実）において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月18日（火）	中堅実習助手〔後期〕に望むこと ミドルリーダーに必要なコーチング力 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応 特別な教育的支援を必要とする生徒のケース会議の進め方
第2日	1月31日（金）	授業への取組の改善 実習助手としての授業への関わり方 実習助手としての課題とその改善 修了式

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和5年度 中堅寄宿舍指導員〔後期〕資質向上研修講座

※ 令和6年度は受講対象者がいないため、本講座は実施しない。

1 目的

中堅寄宿舍指導員として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立特別支援学校
職	寄宿舍指導員
条件	・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の10年次研修講座（寄）において受講認定を受けた者 ・本県の中堅教諭等資質向上研修講座（寄）において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	*月*日（*）	教職員のサービスとミドルリーダーの役割 人権教育の組織的な推進 校務のデジタル化における情報セキュリティ 寄宿舍運営に関わる危機管理 原子力災害対応
第2日	*月*日（*）	寄宿舍指導員に求められる専門性 生活指導と保護者連携 組織力を高める寄宿舍指導の在り方 修了式

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 市町村立学校中堅事務職員研修講座

1 目的

中堅事務職員として、必要な知識・技能の習得を図る研修を行い、職務能率の一層の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	市町村立学校
職	県費負担事務職員
条件	・勤務経験10年又は11年を有する者 ・勤務経験10年又は11年を有する者で受講を猶予されていた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月4日（火）	給与事務－応用編－ 特別支援教育の現状と課題－実践編－ 生徒支援の現状－実践編－ 中堅事務職員としてのリスク・マネジメント（コンプライアンス確保の実践含む） 学校事務の共同実施～中堅事務職員として～ 中堅事務職員としてのマネジメント業務・共同実施を考える
第2日	10月9日（水）	中堅事務職員としての財務マネジメント（学校徴収金含む） 中堅事務職員としての学校組織マネジメント 中堅事務職員としての財務マネジメント・学校組織マネジメントを考える 法規に基づく業務の在り方 本県教育行政の現状と課題 中堅事務職員としての役割とは

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 ベテラン教員研修講座（小学校）

1 目的

ベテラン教員として、校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小学校
職	教諭
条件	① 以下のアとイをともに満たす者 ア 令和6年4月1日現在で45歳の者 イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者 ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和5年度までの中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座 ② ①を満たす者のうち受講を猶予されていた者で、令和6年4月1日現在で47歳以下の者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月7日（金）	【オンライン研修】 （公開講義 No.03）これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～こどもたちのウェルビーイングを高めるために～ これからの学校におけるベテラン教員の役割 カリキュラム・マネジメントにおけるベテラン教員の役割 学校の教育目標を具現化するためのベテラン教員の役割
第2日	10月3日（木）	学校、教職員のリスクマネジメント・クライシスマネジメント リスクマネジメント・クライシスマネジメントにおけるベテラン教員の役割 これからの特別支援教育におけるベテラン教員の役割 学校の教育目標を具現化するための取組についての実践発表

※ 受講者は、各所属校において、第1日以降に校内研修等を行う。

※ 校内研修等の内容や進め方については、年度初めに教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載するとともに、第1日に連絡する。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 ベテラン教員研修講座（中学校）

1 目的

ベテラン教員として、校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立中学校
職	教諭
条件	① 以下のアとイをともに満たす者 ア 令和6年4月1日現在で45歳の者 イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者 ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和5年度までの中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座 ② ①を満たす者のうち受講を猶予されていた者で、令和6年4月1日現在で47歳以下の者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月27日（木）	【オンライン研修】 これからの学校におけるベテラン教員の役割 （公開講義 No.06）これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～ こどもたちのウェルビーイングを高めるために～ カリキュラム・マネジメントにおけるベテラン教員の役割 学校の教育目標を具現化するためのベテラン教員の役割
第2日	10月18日（金）	学校、教職員のリスクマネジメント・クライシスマネジメント リスクマネジメント・クライシスマネジメントにおけるベテラン教員の役割 これからの特別支援教育におけるベテラン教員の役割 学校の教育目標を具現化するための取組についての実践発表

※ 受講者は、各所属校において、第1日以降に校内研修等を行う。

※ 校内研修等の内容や進め方については、年度初めに教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載するとともに、第1日に連絡する。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 ベテラン教員研修講座（高等学校）

1 目的

ベテラン教員として、校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	教諭
条件	① 以下のアとイをともに満たす者 ア 令和6年4月1日現在で45歳の者 イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者 ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和5年度までの中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座 ② ①を満たす者のうち受講を猶予されていた者で、令和6年4月1日現在で47歳以下の者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月20日（木）	【オンライン研修】 これからの学校におけるベテラン教員の役割 （公開講義 No.04）これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～こどもたちのウェルビーイングを高めるために～ カリキュラム・マネジメントにおけるベテラン教員の役割 校内研修の実践に向けて
第2日	10月8日（火）	学校、教職員のリスクマネジメント・クライシスマネジメント リスクマネジメント・クライシスマネジメントにおけるベテラン教員の役割 これからの特別支援教育におけるベテラン教員の役割 校内研修の取組についての実践発表

※ 受講者は、各所属校において、第1日以降に校内研修等を行う。

※ 校内研修等の内容や進め方については、年度初めに教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載するとともに、第1日に連絡する。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 ベテラン教員研修講座（特別支援学校）

1 目的

ベテラン教員として、校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立特別支援学校
職	教諭
条件	① 以下のアとイをともに満たす者 ア 令和6年4月1日現在で45歳の者 イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者 ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和5年度までの中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座 ② ①を満たす者のうち受講を猶予されていた者で、令和6年4月1日現在で47歳以下の者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	7月5日（金）	これからの時代に求められる特別支援学校とは これからの特別支援学校に求められるベテラン教員の役割 これからのベテラン教員としての教育実践
第2日	10月10日（木）	組織力の向上～若手・中堅教員との関りを通して～ 校内研修の充実に向けて

※ 受講者は、各所属校において、第1日以降に校内研修等を行う。

※ 校内研修等の内容や進め方については、年度初めに教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載するとともに、第1日に連絡する。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 ベテラン教員研修講座（養護教諭）

1 目的

ベテラン教員として、校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小・中学校、県立高等学校、公立特別支援学校
職	養護教諭
条件	① 以下のアとイをともに満たす者 ア 令和6年4月1日現在で45歳の者 イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者 ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和5年度までの中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座 ② ①を満たす者のうち受講を猶予されていた者で、令和6年4月1日現在で47歳以下の者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月27日（木）	これからの学校におけるベテラン教員の役割 地域連携を生かした学校保健の推進～コーディネーターとしての養護教諭の役割～ 専門性を生かしたチーム学校の一員としての役割とリーダーシップ
第2日	10月18日（金）	学校、教職員のリスクマネジメント・クライシスマネジメント リスクマネジメント・クライシスマネジメントにおけるベテラン教員の役割 これからの特別支援教育におけるベテラン教員の役割 学校の教育目標を具現化するための取組についての実践発表

※ 受講者は、各所属校において、第1日以降に校内研修等を行う。

※ 校内研修等の内容や進め方については、年度初めに教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載するとともに、第1日に連絡する。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 ベテラン教員研修講座（栄養教諭）

1 目的

ベテラン教員として、校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小・中学校、公立特別支援学校
職	栄養教諭
条件	① 以下のアとイをともに満たす者 ア 令和6年4月1日現在で45歳の者 イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者 ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和5年度までの中堅栄養教諭〔後期〕資質向上研修講座 ② ①を満たす者のうち受講を猶予されていた者で、令和6年4月1日現在で47歳以下の者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月27日（木）	これからの学校におけるベテラン教員の役割 地域連携を生かした食育の推進～コーディネーターとしての栄養教諭の役割～ 専門性を生かしたチーム学校の一員としての役割とリーダーシップ
第2日	10月18日（金）	学校、教職員のリスクマネジメント・クライシスマネジメント リスクマネジメント・クライシスマネジメントにおけるベテラン教員の役割 これからの特別支援教育におけるベテラン教員の役割 学校の教育目標を具現化するための取組についての実践発表

※ 受講者は、各所属校において、第1日以降に校内研修等を行う。

※ 校内研修等の内容や進め方については、年度初めに教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載するとともに、第1日に連絡する。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 ベテラン市町村立学校事務職員研修講座

1 目的

各地域において中核となる事務職員としての自覚と心構えを養い、事務職員全体の資質向上に資する。

2 対象（条件等）

校種	市町村立学校
職	県費負担事務職員
条件	・令和6年4月1日現在で48歳・49歳の者 ・令和4年までの中堅事務職員研修講座において受講を猶予されていた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	9月27日（金）	ベテラン事務職員としての学校組織・共同実施のマネジメント ベテラン事務職員としての職務 学校・地域のリーダーとはⅠ これからの学校に求められる経験ある事務職員の役割 本県の教育行政を考える 学校・地域のリーダーとはⅡ

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

イ 専門研修
(7) 悉皆研修

担当：教職教育課
直通：0296-78-3212

悉皆研修	45
------	----

令和6年度 新任校長研修講座（小学校）

1 目的

学校経営上の諸問題についての必要な研修を通し、校長としての識見を高め、経営力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	市町村立小学校
職	新任校長（令和5年度途中昇任者を含む）
対象外	校種を問わず校長経験者

3 期日及び会場

A班（水戸・鹿行・県西）：【宿泊研修（1泊2日）】5月14日（火）、5月15日（水）

B班（県北・県南）：【宿泊研修（1泊2日）】5月29日（水）、5月30日（木）

教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：【A班】5月14日（火）【B班】5月29日（水） 9時30分～17時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義「校長の役割とリーダーシップ」 義務教育課長
	10:50	講義「人権教育の視点に立った学校づくり」 総務課人権教育室長
	11:45	所長講話「管理からマネジメントへ（仮）」 教育研修センター所長
	12:15	昼食
	13:15	演習「特別支援教育の推進に向けた学校の取組」 センター職員
	14:25	演習「学校におけるコンプライアンスの確立と危機管理」 センター職員
	16:50	諸連絡

期日及び時間：【A班】5月15日（水）【B班】5月30日（木） 8時45分～16時（受付開始8時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	8:45	講義「コミュニティ・スクール制度を活用した学校づくり」 生涯学習課長
	9:35	実践発表・演習「コミュニティ・スクール制度を活用した学校づくりの実践」 【A班】小学校校長、【B班】中学校校長、センター職員
	10:45	講義「業務の精選と移行におけるリーダーの役割」 民間企業経営者 演習「こどもに伴走できる職場を目指して」 センター職員
	12:20	昼食
	13:20	実践発表・演習「学校組織活性化のためのマネジメント」 校長、センター職員
	14:30	演習「学校組織活性化のためのマネジメント」 センター職員
	15:50	リフレクション

※ A班は、新任校長研修講座（中学校）A班と合同開催とし、B班は、新任校長研修講座（中学校）B班と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 人権教育指導資料第46集 令和6年3月 茨城県教育委員会
- (2) 信頼される学校であるために 平成28年3月 茨城県教育委員会
- (3) 所属校の危機管理マニュアル
- (4) 就寝用着替え、洗面用具等
- (5) 宿泊に伴う経費（別途連絡する）

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 人権教育指導資料第46集 令和6年3月 茨城県教育委員会
- (2) 信頼される学校であるために 平成28年3月 茨城県教育委員会
- (3) 所属校の危機管理マニュアル
- (4) 就寝用着替え、洗面用具等
- (5) 宿泊に伴う経費（別途連絡する）

令和6年度 新任校長研修講座（高・特）

1 目的

学校経営上の諸問題についての必要な研修を通し、校長としての識見を高め、経営力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校、県立中等教育学校、公立特別支援学校
職	新任校長（令和5年度途中昇任者を含む）
対象外	校種を問わず校長経験者

3 期日及び会場

【宿泊研修（1泊2日）】6月5日（水）、6月6日（木）

教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：6月5日（水） 9時30分～17時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	所長講話「これからの時代の管理職へ（仮）」 教育研修センター所長
	10:20	講義「人権教育の視点に立った学校づくり」 総務課人権教育室長
	11:20	【高等学校】 講義・演習「高等学校における特別支援教育推進と校長の役割」 センター職員
		【特別支援学校】 講義・演習「特別支援学校のセンター的機能と校長の役割」 センター職員
	12:10	昼食
	13:10	講義・演習「校長の役割とリーダーシップ」 センター職員
	14:40	演習・研究協議「学校における危機管理」 センター職員
	16:00	講義「新任校長に期待すること」 高校教育課長、特別支援教育課長
	16:50	諸連絡

期日及び時間：6月6日（木） 8時45分～16時（受付開始8時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	8:45	実践発表「地域とともにある学校づくりを目指して」 コミュニティスクール実践校校長（高等学校、特別支援学校）
	10:00	講義・演習「学校におけるコンプライアンスの確立」 高校教育課人事担当課長補佐、特別支援教育課人事・計画担当課長補佐
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習「校長としての学校マネジメント（校内組織・人事・教員評価等）」 高等学校校長、特別支援学校校長
	15:30	リフレクション
	15:50	諸連絡

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 人権教育指導資料第46集 令和6年3月 茨城県教育委員会
- (2) 就寝用着替え、洗面用具等
- (3) 宿泊に伴う経費（別途連絡する）

令和6年度 新任教頭研修講座（小学校）

1 目的

学校経営上の諸問題についての必要な研修を通し、教頭としての識見を高め、資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	市町村立小学校、市町村立義務教育学校前期課程
職	新任教頭（令和5年度途中昇任者を含む）
対象外	校種を問わず教頭経験者

3 期日及び会場

A班（水戸・鹿行・県西）：【宿泊研修（1泊2日）】6月4日（火）、6月5日（水）

B班（県北・県南）：【宿泊研修（1泊2日）】6月26日（水）、6月27日（木）

教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日：第1日の前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「給与事務と教頭の役割」 総務課給与担当課長補佐

期日及び時間：【A班】6月4日（火）【B班】6月26日（水） 9時30分～17時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義「教頭の役割と学校運営」 義務教育課長
	10:50	講義「人権教育の推進と教頭の役割」 総務課人権教育室指導主事
	11:45	所長講話「これからの時代の管理職へ（仮）」 教育研修センター所長
	12:15	昼食
	13:15	講義・実践発表「教員評価における教頭の役割」 教育改革課人事制度改革担当課長補佐、教頭
	14:30	講義・演習「学校におけるコンプライアンスの確立と危機管理」 義務教育課人事担当管理主事
	16:50	諸連絡

期日及び時間：【A班】6月5日（水）【B班】6月27日（木） 8時45分～16時（受付開始8時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	8:45	演習「教職員のメンタルヘルスケアと管理職の役割」 センター職員
	9:30	演習「特別支援教育における管理職の役割」 センター職員
	10:25	講義・実践発表「地域とともにある学校づくりを目指して」 生涯学習課課長補佐、教頭
	11:35	演習「教育のデジタル化の現状と学校の情報セキュリティにおける管理職の役割」 センター職員
	12:20	昼食
	13:20	演習「学校組織活性化のためのマネジメント」 センター職員
	15:50	リフレクション

※ A班は、新任教頭研修講座（中学校）A班と合同開催とし、B班は、新任教頭研修講座（中学校）B班と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- | | | |
|-----------------------|---------|----------|
| (1) 人権教育指導資料第46集 | 令和6年3月 | 茨城県教育委員会 |
| (2) 信頼される学校であるために | 平成28年3月 | 茨城県教育委員会 |
| (3) 所属校の危機管理マニュアル | | |
| (4) 学校における原子力災害対応の手引き | 平成31年1月 | 茨城県教育委員会 |
| (5) 就寝用着替え、洗面用具等 | | |
| (6) 宿泊に伴う経費（別途連絡する） | | |

令和6年度 新任教頭研修講座（中学校）

1 目的

学校経営上の諸問題についての必要な研修を通し、教頭としての識見を高め、資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立中学校、市町村立義務教育学校後期課程、県立中等教育学校前期課程
職	新任教頭（令和5年度途中昇任者を含む）
対象外	校種を問わず教頭経験者

3 期日及び会場

A班（水戸・鹿行・県西）：【宿泊研修（1泊2日）】6月4日（火）、6月5日（水）

B班（県北・県南）：【宿泊研修（1泊2日）】6月26日（水）、6月27日（木）

教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日：第1日の前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「給与事務と教頭の役割」 総務課給与担当課長補佐

期日及び時間：【A班】6月4日（火）【B班】6月26日（水） 9時30分～17時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義「教頭の役割と学校運営」 義務教育課長
	10:50	講義「人権教育の推進と教頭の役割」 総務課人権教育室指導主事
	11:45	所長講話「これからの時代の管理職へ（仮）」 教育研修センター所長
	12:15	昼食
	13:15	講義・実践発表「教員評価における教頭の役割」 教育改革課人事制度改革担当課長補佐、教頭
	14:30	講義・演習「学校におけるコンプライアンスの確立と危機管理」 義務教育課人事担当管理主事
	16:50	諸連絡

期日及び時間：【A班】6月5日（水）【B班】6月27日（木） 8時45分～16時（受付開始8時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	8:45	演習「教職員のメンタルヘルスケアと管理職の役割」 センター職員
	9:30	演習「特別支援教育における管理職の役割」 センター職員
	10:25	講義・実践発表「地域とともにある学校づくりを目指して」 生涯学習課課長補佐、教頭
	11:35	演習「教育のデジタル化の現状と学校の情報セキュリティにおける管理職の役割」 センター職員
	12:20	昼食
	13:20	演習「学校組織活性化のためのマネジメント」 センター職員
	15:50	リフレクション

※ A班は、新任教頭研修講座（小学校）A班と合同開催とし、B班は、新任教頭研修講座（小学校）B班と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- | | | |
|-----------------------|---------|----------|
| (1) 人権教育指導資料第46集 | 令和6年3月 | 茨城県教育委員会 |
| (2) 信頼される学校であるために | 平成28年3月 | 茨城県教育委員会 |
| (3) 所属校の危機管理マニュアル | | |
| (4) 学校における原子力災害対応の手引き | 平成31年1月 | 茨城県教育委員会 |
| (5) 就寝用着替え、洗面用具等 | | |
| (6) 宿泊に伴う経費（別途連絡する） | | |

令和6年度 新任教頭研修講座（高・特）

1 目的

学校経営上の諸問題についての必要な研修を通し、教頭としての識見を高め、資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校、県立中等教育学校後期課程、国公立特別支援学校
職	・新任教頭（令和5年度途中昇任者を含む） ・新任副校長（県立併設型中高一貫校、県立中等教育学校、県立高等学校で公募により選考された者） ・新任副校長（国立特別支援学校）
対象外	校種を問わず教頭経験者

3 期日及び会場

【宿泊研修（1泊2日）】5月15日（水）、5月16日（木）

教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日：第1日の前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「特別支援教育における管理職の役割」 センター職員
	講義「地域とともにある学校づくりを目指して」 生涯学習課課長補佐

期日及び時間：5月15日（水） 9時30分～17時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	演習「教頭の役割」 センター職員
	10:40	講義・演習「教職員の服務管理と教頭の実務」 高校教育課人事担当課長補佐
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習「いじめ重大事態への対応と管理職の役割」 高校教育課生徒支援・いじめ対策推進担当課長補佐
	14:00	講義・演習「教職員の働き方改革とメンタルヘルスケア」 教育改革課管理主事
	15:00	演習「教員評価」 センター職員
	16:30	講義「新任教頭に期待すること」 高校教育課長、特別支援教育課長
	16:50	諸連絡

期日及び時間：5月16日（木） 8時45分～16時（受付開始8時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	8:45	イントロダクション
	9:00	所長講話「管理からマネジメントへ（仮）」 教育研修センター所長
	9:40	講義「人権教育の推進と教頭の役割」 総務課人権教育室指導主事
	10:40	講義・演習「教育のデジタル化の現状と学校の情報セキュリティにおける管理職の役割」 情報教育課長
	11:40	実践発表・研究協議「地域とともにある学校づくりを目指して」 教頭
	12:20	昼食
	13:20	講義・演習「学校の危機管理」 センター職員
	14:20	研究協議「学校の危機管理」 センター職員
	15:50	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 信頼される学校であるために 平成28年3月 茨城県教育委員会
- (2) 人材育成・学校活性化支援システムの構築に向けて～教員評価の手引き（改訂版）～
令和3年5月 茨城県教育委員会

※ 教育情報ネットワークの「文書共有 → 08_高校教育課 → 人事担当 → 教員評価」よりダウンロードする。

- (3) 人権教育指導資料第46集 令和6年3月 茨城県教育委員会
- (4) 所属校の危機管理マニュアル
- (5) 学校における原子力災害対応の手引き 平成31年1月 茨城県教育委員会
- (6) 就寝用着替え、洗面用具等
- (7) 宿泊に伴う経費（別途連絡する）

令和6年度 新任主幹教諭研修講座

1 目的

主幹教諭の職務に必要な研修を通して、主幹教諭としての資質・能力の向上を図る。

2 対象 (条件等)

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	新任主幹教諭
対象外	校種を問わず主幹教諭経験者
備考	新任教務主任研修講座を未受講の者は、該当校種の新任教務主任研修講座も受講対象となる。

3 期日及び会場

7月9日（火） 教育研修センター 〒309-1722 等間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：7月9日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「主幹教諭に求められる役割」 センター職員
	10:50	講義・演習「主幹教諭としてのコーチング」 センター職員
	12:20	昼食
	13:20	実践発表・研究協議「主幹教諭としてのマネジメントの実践」 主幹教諭、センター職員
	14:10	研究協議「主幹教諭に求められる役割と学校におけるマネジメント」 センター職員
	15:45	リフレクション

※ 講義・演習「主幹教諭としてのコーチング」は、新任指導教諭研修講座と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 各校のグランドデザイン 1部
(2) 年間行事計画 1部

令和6年度 新任指導教諭研修講座

1 目的

各学校の教育指導の改善及び充実のための実践的指導力についての必要な研修を通し、指導教諭としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	新任指導教諭
対象外	校種を問わず指導教諭経験者

3 期日及び会場

7月9日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：7月9日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「指導教諭に求められる役割」 センター職員
	10:50	講義・演習「指導教諭としてのコーチング」 センター職員
	12:20	昼食
	13:20	実践発表・研究協議「指導教諭としての実践」 指導教諭、センター職員
	14:00	研究協議「地域教員の指導力向上を図る研修の工夫改善」 センター職員
	15:45	リフレクション

※ 講義・演習「指導教諭としてのコーチング」は、新任主幹教諭研修講座と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 各校のグランドデザイン 1部
- (2) 各校の校内研修計画 1部
- (3) 他校の研修等における指導助言、参加協力、指導普及等に係る資料があれば持参

令和6年度 新任教務主任研修講座（高・特）

1 目的

教務主任の職務に必要な研修を行い、教務主任としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校、県立中等教育学校後期課程、国公立特別支援学校
職	新任教務主任、新任主幹教諭（本講座を未受講の者）
対象外	校種を問わず教務主任経験者

3 期日及び会場

6月13日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	「教務主任のための『事務作業と事務遂行のためのポイント』」 教育改革課

期日及び時間：6月13日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:50	講義・演習「人権教育の充実を目指した教育計画のポイント」 総務課人権教育室指導主事
	11:00	講義・演習「教務主任に求められる役割」 センター職員
	12:00	昼食
	13:00	実践発表・研究協議「円滑な学校運営に向けた教務主任としての取組」 教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 人権教育指導資料第46集 令和6年3月 茨城県教育委員会
- (2) 自校の人権教育全体計画及び推進計画

令和6年度 新任学年主任研修講座（小学校）

1 目的

学年主任の職務に必要な研修を行い、学年主任としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校
職	2学級以上で編成された学年の新任学年主任
条件	・校種を問わず本講座を未受講の者 ・2年目の学年主任で1年目に本講座を未受講の者
備考	対象者が3人以上で校務に支障がある場合は、担当課と相談する。

3 期日及び会場

6月6日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「学年主任の役割」

期日及び時間：6月6日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「学年主任として求められるマネジメントの在り方」 センター職員
	11:20	実践発表「学年のマネジメントの実際」 教諭、センター職員
	12:20	昼食
	13:20	研究協議「学年のマネジメント上の課題解決を目指して」 センター職員
	15:45	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 学校のグランドデザイン 1部
- (2) 学年経営案 1部
- (3) 年間行事予定表 1部

令和6年度 新任学年主任研修講座（中学校）

1 目的

学年主任の職務に必要な研修を行い、学年主任としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校
職	2学級以上で編成された学年の新任学年主任
条件	・校種を問わず本講座を未受講の者 ・2年目の学年主任で1年目に本講座を未受講の者

3 期日及び会場

5月21日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「学年主任の役割」

期日及び時間：5月21日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「学年主任として求められるマネジメントの在り方」 センター職員
	11:20	実践発表「学年のマネジメントの実践」 教諭、センター職員
	12:20	昼食
	13:20	研究協議「学年のマネジメント上の課題解決を目指して」 センター職員
	15:45	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 学校のグランドデザイン 1部
- (2) 学年経営案 1部
- (3) 年間行事予定表 1部

令和6年度 新任学年主任研修講座（高等学校）

1 目的

学年主任の職務に必要な研修を行い、学年主任としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	新任学年主任
条件	・校種を問わず本講座を未受講の者 ・2年目の学年主任で1年目に本講座を未受講の者

3 期日及び会場

6月7日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「学年主任の役割」

期日及び時間：6月7日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義「学年主任として求められるマネジメントの在り方」 センター職員
	10:50	講義・演習「学年のマネジメントにおける生徒支援」 高校教育課生徒支援・いじめ対策推進課長補佐
	12:00	昼食
	13:00	実践発表「学年のマネジメントの実際」 教諭、センター職員
	14:10	研究協議「学年のマネジメント上の課題解決を目指して」 教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新任生徒指導主事研修講座

1 目的

生徒指導主事の職務に必要な研修を行い、生徒指導主事としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立高等学校
職	新任生徒指導主事
条件	校種を問わず本講座を未受講の者（私立は希望者のみ）

3 期日及び会場

A班（小）：6月12日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）
B班（中・高・特）：6月7日（金） 同上

4 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	「生徒指導主事の役割」

期日及び時間：【A班】6月12日（水）【B班】6月7日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	演習・実践発表「生徒指導主事の役割」 教諭、センター職員
	11:45	協議「生徒指導主事の役割」
	12:15	昼食
	13:15	講義・演習「本県児童生徒の問題行動・不登校等の現状と課題」 【A班、B班】義務教育課生徒支援・いじめ対策推進室長補佐 【B班】 高校教育課生徒支援・いじめ対策推進担当課長補佐
	14:15	演習「問題行動等への組織的な支援」 センター職員
	15:45	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新任進路指導主事研修講座（中学校）

1 目的

キャリア教育を踏まえた進路指導の在り方について研修を行い、進路指導主事としての職務に必要な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校
職	新任進路指導主事
対象外	校種を問わず進路指導主事経験者

3 期日及び会場

5月16日（木） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

4 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「進路指導主事の役割」

期日及び時間：5月16日（木） 9時30分～12時30分（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	実践発表・研究協議「キャリア教育としての進路指導の在り方」 教諭、センター職員
	11:20	演習「キャリア教育の現状と課題～キャリア・カウンセリングの今日的意義～」 センター職員
	12:15	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新任進路指導主事研修講座（高・特）

1 目的

キャリア教育を踏まえた進路指導の在り方について研修を行い、進路指導主事としての職務に必要な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校、国公立特別支援学校、私立高等学校
職	新任進路指導主事（私立は希望者のみ）
対象外	校種を問わず進路指導主事経験者

3 期日及び会場

5月23日（木） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

4 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「進路指導主事の役割」

期日及び時間：5月23日（木） 13時～16時（受付開始12時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	13:00	イントロダクション
	13:10	【高等学校】 演習「キャリア教育の現状と課題～キャリア・カウンセリングの今日的意義～」 センター職員
		【特別支援学校】 演習「キャリア教育の現状と課題～系統性のある全体計画の意義を中心に～」 センター職員
	14:20	演習「福祉制度と進路指導のかかわり」 センター職員
	14:50	【高等学校】 実践発表・研究協議「キャリア教育としての進路指導の在り方」 県立高等学校教諭、センター職員
		【特別支援学校】 実践発表・研究協議「キャリア教育としての進路指導の在り方」 県立特別支援学校教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新任保健主事研修講座

1 目的

学校保健活動や学校安全の管理について理解を深め、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	新任保健主事
対象外	校種を問わず保健主事経験者

3 期日及び会場

5月24日（金） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

4 日程

期日及び時間：5月24日（金） 13時～16時（受付開始12時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	13:00	イントロダクション
	13:10	講義・研究協議「学校保健・学校安全に関する県の方針と保健主事の役割」 保健体育課健康教育推進室学校保健・安全担当指導主事
	13:50	実践発表「保健主事としての取組」 教諭、センター職員
	15:20	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

研究協議のための資料

令和6年度 新任特別支援学校部主事研修講座

1 目的

特別支援学校の部主事としての役割や任務、学部の運営に関する研修を行い、新任部主事の資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立特別支援学校
職	新任部主事

3 期日及び会場

5月17日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：5月17日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・演習「本県の特別支援教育の現状と部主事に望むこと」 特別支援教育課人事・計画担当課長補佐
	10:45	講義・演習「部経営と教育法規」 特別支援教育課管理主事
	11:45	昼食
	12:45	研究協議「部運営の実際」 センター職員
	15:45	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 教育小六法（最新版）
- (2) 茨城県教育例規集（最新版）

令和6年度 新任特別支援学級・通級指導教室担当者研修講座

1 目的

特別支援学級及び通級指導教室等の指導に必要な基礎的・基本的指導事項及び指導方法について実践的研修を行い、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校
職	教諭、講師（非常勤除く）
条件	特別支援学級、通級指導教室を新たに担当する者
対象外	・令和5年度までに本講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる講座において受講認定を受けた者

3 期日及び会場

班	担当	校種・地区	第1日	第2日
A班	通級指導教室担当者	小・中・高（全地区）	5月10日（金） オンライン研修	10月4日（金） 教育研修センター
	言語障害特別支援学級担当者	小・中（全地区）		
	特別支援学級担当者	小（水戸・県北・鹿行）		
B班	特別支援学級担当者	小（県南・県西）	5月29日（水） オンライン研修	10月17日（木） 教育研修センター
C班	特別支援学級担当者	中（全地区）	6月4日（火） オンライン研修	10月30日（水） 教育研修センター

※ オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日：6月28日（金）までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 又は 事後 視聴	講義「特別支援学級・通級指導教室の教育課程」 講義「個別の指導計画・個別の教育支援計画」 講義・演習「個別の指導計画の作成」

※ 動画を視聴する際には、「特別支援学級スタート応援ブック 学級経営編・授業づくり編」を研修センターWebページからダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

※ 動画はそれぞれ約20分間であるが、演習はさらに時間を要するため、必ずしも同一日に視聴しなくてもよい。

期日及び時間：【A班】5月10日（金）【B班】5月29日（水）【C班】6月4日（火）

9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習「障害のある児童生徒の理解と支援」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	実践発表・演習「特別支援学級・通級指導教室の自立活動の指導の基本～プロセスシートの作成を通して～」（分散会） 教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

※ 第1日は、オンライン研修とする。

期日及び時間：【A班】10月4日（金）【B班】10月17日（木）【C班】10月30日（水）
9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習「特別支援学級・通級指導教室におけるアセスメントと保護者との連携」 大学教授（オンライン）
	12:00	昼食
	13:00	実践発表「特別支援学級・通級指導教室の学級経営と授業の実際」（分散会） 教諭、センター職員
	13:30	研究協議「教育的効果のある教材の紹介」（分散会） センター職員
	【A班（言語障害特別支援学級担当者）】	
	14:00	講義・実習「構音指導の実際～構音のしくみの理解を通して～」 言語聴覚士、教諭、センター職員
	15:50	リフレクション
	【A・B・C班（特別支援学級担当者）】【A班（通級指導教室担当者）】	
	14:20	研究協議「特別支援学級・通級指導教室の学級経営と授業の実際」 教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 新任特別支援教育コーディネーター研修講座

1 目的

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校における特別支援教育コーディネーターとしての基礎的な知識を身に付け、実践力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	教頭、教諭、養護教諭、講師（非常勤除く）
条件	・今年度新たに特別支援教育コーディネーターに指名された者 ・校種を問わず本講座を未受講の者

3 期日及び会場

6月21日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：6月21日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習「特別支援教育コーディネーターの役割～チーム支援の確立を目指して～」 大学教授（オンライン）
	12:00	昼食
	13:00	実践発表「特別支援教育コーディネーターの役割の実際」 教諭、センター職員
	14:10	研究協議「特別支援教育コーディネーターの役割の実際」（分散会） 教諭、センター職員 ※ 小・中・高・特から2校種を申込時に選択する。
	15:50	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 市町村立学校新任係長研修講座

1 目的

係長として、学校の組織マネジメントに積極的に関わるために必要な知識・技能を習得するとともに、職務能率の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	市町村立学校
職	令和6年4月1日付けで係長に昇任した県費負担事務職員。

3 期日及び会場

第1日：5月24日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

第2日：9月25日（水） ハイブリッド型研修（教育研修センター又は所属校等、研修に専念できる場所）

4 日程

期日及び時間：5月24日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「県の教育行政」 総務課総務担当
	10:20	講義・演習「給与事務―応用編―」 総務課給与担当
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習「事務職員のコーチングとは」 義務教育課管理主事、センター職員
	14:20	研究協議「学校経営・学校運営に積極的に関わる係長としての勤務とは」 義務教育課管理主事、センター職員
	15:50	リフレクション

期日及び時間：9月25日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義「学校組織マネジメントを考える」 大学教授
	10:30	実践発表「学校組織マネジメントを考える」 市町村立学校事務職員
	11:00	研究協議「学校組織マネジメントを考える」 大学教授、市町村立学校事務職員
	11:20	実践発表「財務マネジメントの実践Ⅰ」 市町村立学校事務職員
	12:00	昼食
	13:00	研究協議「財務マネジメントの実践Ⅱ」 市町村立学校事務職員
	13:30	実践発表・研究協議「学校事務の共同実施～ミドルリーダーとしての実践～」 市町村立学校事務職員
	15:30	研究協議「ミドルリーダーとは」 センター職員
	15:50	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 給与事務の手引（令和5年7月）
- (2) 茨城県教育例規集（最新版が望ましい）
- (3) 教育小六法（最新版が望ましい）
- (4) 電卓

令和6年度 臨時的任用職員研修講座（高等学校）

- 1 目的
 服務及び校務運営等について必要な研修を行い、臨時的任用職員としての識見を高め、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	以下の臨時的任用職員及び任期付職員 ・講師、養護助教諭、実習助手、寄宿舎指導員
対象外	・教諭経験者、養護教諭経験者、非常勤講師 ・過去に本講座を受講した者

3 期日及び会場

班	第1日	第2日	
A班 (4月当初の採用者)	4月11日(木)～ 4月19日(金) オンデマンド配信型研修	講師・実習助手・ 寄宿舎指導員	4月24日(水) 教育研修センター
		養護助教諭	4月25日(木) 教育研修センター
B班 (5月以降の採用者) (A班で未受講の者)	10月11日(金)～ 10月25日(金) オンデマンド配信型研修	講師・実習助手・ 寄宿舎指導員	11月5日(火) 教育研修センター
		養護助教諭	11月8日(金) 教育研修センター

※ オンデマンド配信型研修（所属校等、研修に専念できる場所）

※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

※ A班・B班ともに、養護助教諭は、講座番号68の臨時的任用職員研修講座（特別支援学校）と合同開催とする。

4 日程

【オンデマンド配信型研修】

期日：【A班】4月11日(木)～4月19日(金) 【B班】10月11日(金)～10月25日(金)

期間内に動画を視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
第1日	講義「教職員としての心構えと服務」 高校教育課管理主事
	講義「特別支援教育の現状」 センター職員

【講師・実習助手・寄宿舎指導員】

期日及び時間：【A班】4月24日(水) 【B班】11月5日(火) 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:45	【講師】 講義・研究協議「学習指導要領をふまえた授業づくり」 センター職員
		【実習助手・寄宿舎指導員】 講義・研究協議「実習助手・寄宿舎指導員の職務」 センター職員
	10:45	演習・研究協議「授業づくりの工夫改善」 教諭、センター職員
	12:30	昼食
	13:30	講義・演習「育ちを支える教員の関わり」 センター職員
	14:50	講義・演習「学校事故の防止と対応」 センター職員
	15:50	リフレクション

【養護助教諭】

期日及び時間：【A班】4月25日（木）【B班】11月8日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「障害のある子どもの理解と対応」 センター職員
	10:55	講義・演習「生徒支援と教育相談的対応」 センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・研究協議「養護教諭の任務と役割」 センター職員
	14:20	実践発表・研究協議「健康教育の実際」 養護教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

※ 臨時的任用職員研修講座（特別支援学校）と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWeb ページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 臨時的任用職員研修講座（特別支援学校）

1 目的

服務及び校務運営等について必要な研修を行い、臨時的任用職員としての識見を高め、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立特別支援学校
職	以下の臨時的任用職員及び任期付職員 ・講師、養護助教諭、栄養講師、実習助手、寄宿舎指導員
対象外	・教諭経験者、養護教諭経験者、栄養教諭経験者、非常勤講師 ・過去に本講座を受講した者

3 期日及び会場

班	第1日	第2日
A班 (4月当初の採用者)	4月11日（木）～ 4月19日（金） オンデマンド配信型研修	4月25日（木） 教育研修センター
B班 (5月以降の採用者) (A班で未受講の者)	10月11日（金）～ 10月25日（金） オンデマンド配信型研修	11月8日（金） 教育研修センター

※ オンデマンド配信型研修（所属校等、研修に専念できる場所）

※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

【オンデマンド配信型研修】

期日：【A班】4月11日（木）～4月19日（金）【B班】10月11日（金）～10月25日（金）

期間内に動画を視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
第1日	講義「教職員としての心構えと服務」 教育庁特別支援教育課管理主事
	講義「特別支援教育の現状」 センター職員

【講師・実習助手・寄宿舎指導員・養護助教諭・栄養講師】

期日及び時間：【A班】4月25日（木）【B班】11月8日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日 午前	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「障害のある子どもの理解と対応」 センター職員
	10:55	講義・演習「生徒支援と教育相談的対応」 センター職員
	12:00	昼食

※ 第2日午後は、3分散会で実施する。詳細は、次ページに示すとおり。

区分	時間	研修内容・講師等
第2日 午後		【講師・実習助手・寄宿舍指導員】
	13:00	講義・演習「特別支援学校における授業づくり」 センター職員
	14:40	講義・演習「各教科等を合わせた指導と自立活動」 センター職員
	15:40	リフレクション
		【養護助教諭】
	13:00	講義・研究協議「養護教諭の任務と役割」 センター職員
	14:20	実践発表・研究協議「健康教育の実際」 養護教諭、センター職員
	15:50	リフレクション
		【栄養講師】
	13:00	講義・研究協議「栄養教諭の任務と役割」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事、センター職員
	14:20	実践発表・研究協議「食に関する指導の実際」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事、栄養教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

※ 養護助教諭は、臨時的任用職員研修講座（高等学校）養護助教諭と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

(イ) 推薦研修

a 概要

教職教育課の推薦研修講座

講座番号	研修講座名	実施日	内容・講師等
69	教職員マネジメント研修講座	第1日 5月22日（水） 第2日 8月9日（金） 第3日 9月10日（火） 第4日 12月4日（水）	学校教育における組織マネジメント及び人材育成に関する研修を通して、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上を図ることを目的とします。1年目は主に「学校組織マネジメント」や「カリキュラム・マネジメント」等について学び、2年目は、コーチング等、主に人材育成について学びます。演習の形態を多く取り入れて「自ら問いを創造する」研修を進め、2年目の第9日には、各自研究発表を行います。 講義・演習「学校組織マネジメント(1)(2)(3)」 兵庫教育大学 特任教授 浅野 良一

情報教育課の推薦研修講座

講座番号	研修講座名	実施日	内容・講師等
70	情報科教育研修講座	I期：9月18日（水） II期：9月27日（金）	情報活用能力育成のため、高等学校において「情報Ⅰ」が必修科目となり、大学共通テストにも導入される中で、その指導力向上の必要性が増しています。本講座は、「情報Ⅰ」担当教員を対象として、「情報Ⅰ」の学習指導に関する理論と実感を学び、情報科目指導の重点化を図ります。受講時に「情報Ⅰ」またはその代替科目担当の教員をご推薦ください。 講義・演習「情報Ⅰとその指導の在り方」 特定非営利法人みんなのコード 未来の学び探究部 講師・研究開発担当 永野 直 ※ 事前視聴課題として、以下の動画を視聴いただくことが必須となります。 独立行政法人教職員支援機構 新学習指導要領の改訂のポイントと学習評価（高等学校 専門教科「情報」） ：新学習指導要領編 No73
71	産業教育（農業）研修講座	10月4日（金）	農業高校では、実践的・体験的な学習活動を通して、農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目標に日々の教育活動が行われています。本講座では、園芸研究所の概要及び各研究室における取組の講義と、環境にやさしい持続的な農業をテーマとした果樹・野菜・花卉における効率的な施肥技術等について学びます。これからの農業教育を牽引していただける教員をご推薦ください。 講義・実習「園芸実習の構築について～持続可能な農業を目指して～」 （所外研修） 農業総合センター園芸研究所 担当職員
72	産業教育（工業）研修講座	8月23日（金）	工業科専門高校で、ものづくりに関する専門性を高め、指導に関する知識・技能を習得することを目的に、ものづくりマイスター等による実践的研修を行います。今年度は電気・情報技術分野における高度な資格・検定の指導に対応するためのポイントを専門人材から学びます。各学校で、電気・情報技術分野の指導経験のある教員をご推薦ください。 講義・実習「電子機器組立て技術の指導法」（技能検定2級対応） 学識経験者
73	産業教育（商業）研修講座	7月11日（木）	本講座は、県立高等学校商業に関する学科及び総合学科において、商業に関する科目を担当する教員に対し、授業力向上を目指して実施します。学識経験者による講義、教員の実践発表による授業実践事例の提供、演習・研究協議により、実践的な授業力の向上を図ります。本年度は、簿記会計分野に関する内容を取り扱いますので、簿記会計分野の授業を担当している方、又は簿記会計分野の専門的な指導法の向上に興味のある方の推薦をお願いします。 講義・演習「経営分析メソッドの実際～論理的思考がもたらす学習活動でのブレークスルー～」 茨城大学人文社会科学部 教授 今村 一真

講座 番号	研修講座名	実施日	内容・講師等
74	情報セキュリティ・デジタル・シティズンシップ教育 推進リーダー研修講座	5月15日（水） ～ 11月29日（金）	本講座では、デジタル化された情報を安心安全に利用するための『情報セキュリティ』と、デジタル社会において、人権と民主主義のための善き社会を創る市民となることを目指す『デジタル・シティズンシップ教育』を取り上げます。また受講者は、研修の内容を基に校内研修を計画・実施し、所属校全職員の情報セキュリティ・デジタル・シティズンシップ教育の指導力向上を図ります。今年度は、すべての県立高等学校、中等教育学校後期課程及び公立特別支援学校が対象です。校内研修を企画したり、研修した内容を実践し、校内で広めたりしていただくことのできる先生（主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭）をご推薦ください。 ※ 受講条件がありますので、留意ください。 令和3年度情報モラル・情報セキュリティ研修講座、令和4・5年度校内研修を通じたデジタル・シティズンシップ教育・情報セキュリティ研修講座を受講した者を除きます。

教育相談課の推薦研修講座

講座 番号	研修講座名	実施日	内容・講師等
75	いじめ対応研修講座	A班（水戸） 10月22日（火） B班（県北・鹿行（県東）） 11月1日（金）	本講座は、茨城県いじめ防止基本方針に則り、県内の全教職員がいじめ問題について理解を深め、資質能力を向上させることを目的としています。令和5年度は、A班（水戸）、B班（県北・鹿行（県東））のすべての公立小・中学校、高等学校および特別支援学校が対象です。校内研修を企画したり、研修した内容を実践し、校内で広めたりしていただくことのできる先生（令和4・5年度に本講座を受講した方を除く）をご推薦ください。

特別支援教育課の推薦研修講座

講座 番号	研修講座名	実施日	内容・講師等
76	特別支援学校寄宿舎指導員 研修講座	8月21日（水）	特別支援学校寄宿舎における幼児児童生徒の理解と生活指導に関する研修を行い、寄宿舎指導員としての資質能力の向上を図ります。講義において、特別支援教育と寄宿舎教育の最新の動向を知り、研究協議を通して、寄宿舎指導の課題について考えていきます。 講義・演習「寄宿舎生活における児童生徒の理解」 広島大学 准教授 船橋 篤彦

b 実施要項

推薦研修	69
------	----

担当：教職教育課
直通：0296-78-3212

令和6年度 教職員マネジメント研修講座

1 目的

学校教育における組織マネジメント及び人材育成に関する研修をとおり、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小・中・義務教育学校
職	教諭（主幹教諭と指導教諭は除く）、養護教諭、栄養教諭
条件	以下の条件を全て満たす者 ・教育事務所長が推薦する者 ・校務分掌等における役職経験の有無にかかわらず、今後の学校運営において指導的な役割を担う意欲のある者 ・概ね教職経験5年以上の者（他県や私立等での経験を含む） ・30歳以上40歳以下の者（令和6年3月31日現在） ・2年間にわたり全日程の受講が可能な者

3 年間計画

【1年目（令和6年度）】

区分	期日	研修内容
第1日	5月22日（水）	開講式 義務教育課長講話 教育の未来と新しい学校の在り方
第2日	8月9日（金）	学校組織マネジメント(1)ー組織マネジメントとはー 学校組織マネジメント(2)ー組織経営面のマネジメントー 学校組織マネジメント(3)ー業務遂行面のマネジメントー ※ 学校組織マネジメント（基礎）研修講座と合同開催とする。
第3日	9月10日（火）	特別支援教育の推進 いじめ、「不登校」等生徒支援上の諸問題
第4日	12月4日（水）	学校と地域社会の連携 カリキュラム・マネジメント

【2年目（令和7年度）】

※ 2年目の詳細は、令和7年度事業概要に掲載する。

区分	期日	研修内容
第5日	*月*日（*）	教職員のメンタルヘルスと働き方改革の推進 学校におけるコンプライアンスの確立と危機管理
第6日	*月*日（*）	【教育事務所研修】 教育事務所管内の学校教育の現状と課題 長期研修（内地留学）、中央研修、教職大学院等における学び 主幹教諭・指導教諭の業務 これからの学校教育に求められる管理職像
第7日	*月*日（*）	人権教育の推進 学校教育に生かすコーチング
第8日	*月*日（*）	学校事故の現状と未然防止 リーダーに求められる資質・能力
第9日	*月*日（*）	研究発表「『未来を生きるこどものための学校教育』の在り方」 修了式（教育研修センター所長講話）

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 情報科教育研修講座

1 目的

情報科教育について専門的かつ実践的な知識・技能を身に付けることにより、指導力向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校、県立中等教育学校（後期課程）
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く）
条件	情報科を担当する者（代替している場合はその担当）で校長が推薦する者
対象外	本年度、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、情報）を受講する者

3 期日及び会場

I期：9月18日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

II期：9月27日（金） 同上

4 日程

期日：講座前日までに視聴

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材 新学習指導要領の改訂のポイントと学習評価（高等学校 専門教科「情報」）：新学習指導要領編 No. 73 https://youtu.be/MMf16iD4F9M

期日及び時間：【I期】9月18日（水）【II期】9月27日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・演習「情報Ⅰとその指導の在り方」 学識経験者
	12:15	昼食
	13:15	実践発表・研究協議「情報Ⅰの指導の工夫に向けて」 教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

※ I期は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、情報）第4日と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

教育情報ネットワークのメールアドレスとパスワード

令和6年度 産業教育（農業）研修講座

1 目的

産業教育（農業）に関する専門的研修を通して、専門教育の今後の在り方と指導法への理解を深めるとともに、実践的な指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く）
条件	農業に関する科目を担当する者で校長が推薦する者

3 期日及び会場

10月4日（金） 茨城県農業総合センター園芸研究所 〒319-0136 笠間市手堤27（電話：0299-45-8340）

4 日程

期日及び時間：10月4日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・実習「園芸実習の構築について～持続可能な農業を目指して～」 関連施設担当職員、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・実習（午前と同じ）
	15:45	リフレクション

※ 現地集合、現地解散。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

「研修講座資料室」に掲載する。

令和6年度 産業教育（工業）研修講座

1 目的

産業教育（工業）に関する専門的研修を通して、専門教育の今後の在り方と指導法への理解を深めるとともに、実践的な指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く）
条件	工業に関する科目（電気系学科・情報技術系学科）を担当する者で校長が推薦する者

3 期日及び会場

8月23日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：8月23日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・実習「電子機器組立て技術の指導法」（技能検定2級対応） 学識経験者、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・実習（午前に同じ）
	15:45	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

「研修講座資料室」に掲載する。

令和6年度 産業教育（商業）研修講座

1 目的

産業教育（商業）に関する基礎科目の専門的研修を通して、専門教育の指導法への理解を深めるとともに、実践的な指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く）
条件	商業に関する学科及び総合学科において、商業に関する科目を担当する者で校長が推薦する者

3 期日及び会場

7月11日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：7月11日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・演習「経営分析メソッドの実際～論理的思考がもたらす学習活動でのブレークスルー～」 学識経験者
	11:15	演習・実践発表「商業における学習指導の実際～教室のリアルから学ぶ～」 教諭、センター職員
	12:15	昼食
	13:15	演習・研究協議「商業における学習指導の展望～簿記会計分野での経営分析メソッドを用いた新たな学習を中心に～」 教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

「研修講座資料室」に掲載する。

令和6年度 情報セキュリティ・デジタル・シティズンシップ教育推進リーダー研修講座

1 目的

情報セキュリティ・デジタル・シティズンシップ教育に関する理解を深め、受講者が校内研修を企画・実施することで、所属校全職員の指導力向上に資する。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校、県立中等教育学校（後期課程）、公立特別支援学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭
条件	校長が推薦する者
対象外	・令和3年度情報モラル・情報セキュリティ研修講座を受講した者 ・令和4年度、令和5年度校内研修を通じたデジタル・シティズンシップ教育・情報セキュリティ研修講座を受講した者

3 期日及び会場

5月15日（水）～11月29日（金） オンデマンド配信型研修（所属校等、研修に専念できる場所）

4 日程

【オンデマンド配信型研修】

期日：5月15日（水）～11月29日（金）

期間に動画を視聴し、校内研修を実施する。（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
第1日	イントロダクション「本研修講座の進め方」（約40分間） センター職員
	講義・演習「児童生徒一人1台端末時代の情報セキュリティ」（約40分間） センター職員
	講義「デジタル・シティズンシップ教育の最先端」 学識経験者
	講義・演習「デジタル・シティズンシップ教育」（約40分間） センター職員
事後研修	実習・研究協議「受講者による校内研修の企画及び実施」

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 その他

- ・5月15日（水）～11月29日（金）の期間は、動画（YouTubeでの配信）を繰り返し視聴できる。
- ・Googleフォームから、12月20日（金）までに受講報告及び校内研修実施報告を行う。

令和6年度 いじめ対応研修講座

1 目的

いじめの現状や、早期発見、迅速な認知・報告、未然防止に向けた組織的な対応について理解を深め、解決のための資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小・中・義務教育学校、県立高等学校、県立中等教育学校、公立特別支援学校
地区	水戸、県北、鹿行（県東）
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭
条件	校長が推薦する者
対象外	令和4年度又は令和5年度に本講座を受講した者

3 期日及び会場

A班（水戸）：10月22日（火）

B班（県北・鹿行（県東））：11月1日（金）

教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：【A班】10月22日（火）【B班】11月1日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	演習「いじめへの迅速な対応」 教育事務所指導主事、センター職員
	10:30	講義・演習「いじめの現状と課題」 大学教授
	12:30	昼食
	13:30	協議・演習「こどもの悩みへの共感力の向上」 教育事務所指導主事、センター職員
	15:45	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

学校いじめ防止基本方針 5部

令和6年度 特別支援学校寄宿舎指導員研修講座

1 目的

特別支援学校寄宿舎における幼児児童生徒の理解と生活指導に関する研修をとおり、寄宿舎指導員としての資質能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立特別支援学校
職	寄宿舎指導員、講師（非常勤除く）
条件	校長が推薦する者（今年度新規に任用された者は、必ず推薦する）

3 期日及び会場

8月21日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：8月21日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習「寄宿舎生活における児童生徒の理解」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	実践発表「寄宿舎指導員としての実践」 寄宿舎指導員、センター職員
	14:00	研究協議・演習「寄宿舎における課題解決に向けた今後の実践」 寄宿舎指導員、センター職員
	15:45	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

(ウ) 希望研修

a 概要

教職教育課の希望研修講座

講座 番号	研修講座名	対象・定員・実施日	内容・講師等
77	学校組織マネジメント（基礎）研修講座	小中高特 120人 8月9日（金）	組織マネジメントの考え方と進め方について着眼点を示しながら、学校マネジメントのビジョンや運営の仕組み、管理職のリーダー行動、学校と外との関係等を解説します。また、演習では、SWOT分析をしながら学校の内外環境の分析と特色づくりについて協議します。 講義・演習「学校組織マネジメント(1) (2) (3)」 兵庫教育大学 特任教授 浅野 良一
78	学校組織マネジメント（発展）研修講座	※ 令和6年度は実施しない。学校組織マネジメント（基礎）研修講座との隔年実施とする。	
79	帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導研修講座	小中高 100人 8月19日（月）	日本語指導の在り方や今日的課題について、専門家による講義・演習を通して理解を深めます。また、実践発表・演習を通して、日本語指導の授業改善や教材作成に役立つ視点を養い、指導力の向上を図ります。 講義・演習「帰国・外国人児童生徒への日本語指導—ことばの力を知り、育てる教育へ—」 筑波大学 准教授 澤田 浩子
80	「自ら問い、考え、語る」これからの道徳教育研修講座	小中高特 40人 10月29日（火）	教育活動全体を通じて行う道徳教育と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた道徳科の授業改善について理解を深め、演習・研究協議を通して授業力の向上につなげます。 講義・演習「道徳教育と主体的・対話的で深い学びに向けた道徳科の授業」 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 堀田 竜次
81	自治的能力を育む特別活動研修講座	小中高特 80人 8月19日（月）	今この時期だからこそ特別活動の意義が見直され、活動内容が注目されています。文部科学省の視学官から特別活動の最新の動向を伺うとともに、県内各地で積極的に特別活動に取り組んでいる先生の実践を共有し、演習を行うことで、特別活動の大切さやこれから大切になっていくことについて理解を深めます。 講義・演習「一人一人が育ち、集団をよりよくするための特別活動」 文部科学省初等中等教育局視学官 安部 恭子
82	高等学校等マネジメント研修講座	高 20人 第1日 6月26日（水） ※ 計7日実施	学校教育に関する法規、組織マネジメント及び人材育成に関する研修を通して、学校における諸問題への対応に資するとともに、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上に資することを目的とします。6回にわたる本研修と学校での実践経験を通して、教育活動を多角的に問題意識を持って考察して「学校の教育活動をマネジメントする『私』」という軸を構築し、第7日に『私』を主語として考えた学校の未来についてのビジョンを発表していただきます。 講義・演習「『学校は未来』の実現へ向けて」 広尾学園中学校・高等学校 副校長 金子 暁 講義・演習「学校ビジョンの構築」 群馬大学大学院 准教授 高橋 望 講義・演習「新しい学びの推進」 学校法人桐蔭学園 理事長 溝上 慎一

教科教育課の希望研修講座

講座 番号	研修講座名	対象・定員・実施日	内容・講師等
83	こどもを主語にした学びをつくる国語科研修講座	小特 80人 第1日 共通：8月20日（火） 第2日 Ⅰ期：2月14日（金） Ⅱ期：2月18日（火）	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点から、国語科学習指導における授業力の向上を目指します。実践事例の提示や演習等を通して、単元のまとまりを意識した授業デザインや指導と評価の一体化の具体について学び、確かな授業力の向上を図ります。 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの実現を促す国語科の授業づくり」 大妻女子大学 教授 樺山 敏郎
84	シティズンシップ教育研修講座	小中高特 45人 8月20日（火）	成年年齢が18歳に引き下げられ、児童生徒の平和で民主的な国家及び社会の形成者としての自覚を涵養することが求められています。社会、地理歴史、公民科における市民性を育む授業力向上を図ります。 講義・研究協議「シビックプライドを涵養する社会、地理歴史、公民科教育の在り方」 筑波大学 教授 唐木 清志
85	小学校理科観察・実験研修講座	小特 48人 8月9日（金）	小学校理科の基本的な観察・実験を通して、授業力の向上を図ります。観察・実験・研究協議、を行い、理科の楽しさを実感しませんか。 観察・実験・研究協議「基礎から学ぶ理科の観察・実験」（4領域）
86	未来を創るSTEAM教育研修講座	小中高特 80人 第1日 8月23日（金） 第2日 11月28日（木）	多様な課題が生じ変化の大きい現代社会で必要とされる資質・能力を育む教育として、「STEAM教育」が注目されています。文系・理系の枠を超えたカリキュラムマネジメントにアートを位置付け、新たな価値を創造する力を育む授業づくりを目指します。全国に先駆け、茨城県内で実践に取り組んでいる学校の具体的な事例を多数紹介します。共に新しい学びを創り出しましょう。 講義・研究協議「新しい学びを創造するSTEAM教育」 白鷗大学 准教授 小川 博士 講義・演習・研究協議「STEAM教育におけるアート」 武蔵野美術大学 教授 長谷川 敦士
87	音楽科授業づくり研修講座	小中高特 各班25人 A班：7月23日（火） B班：1月24日（金）	午前中は、音楽科におけるICTの活用について実践発表や受講者同士の対話を通して考えていきます。午後は、表現領域と鑑賞領域の学習を関連付けた授業づくりについて、A班（小学校）は高倉弘光先生、B班（中学校・高等学校）は内田有一先生による講義や模擬授業を通して学びます。 A班：講義・実技「表現と鑑賞を関連させた授業づくりの工夫」 筑波大学 非常勤講師 高倉 弘光 B班：講義・実技「表現と鑑賞を関連させた授業づくりの工夫」 上野学園大学短期大学部 教授 内田 有一
88	我が国の伝統音楽研修講座	小中高特 25人 第1日 8月20日（火） 第2日 8月21日（水）	児童・生徒が我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、よさを味わうことができる授業づくりについて考えていきます。実技研修では箏コース、三味線コースに分かれて基礎・基本を学びます。全コース共通の内容として、伝統的な歌唱についてや、我が国や郷土の伝統音楽の授業づくりに関する実践発表も予定しています。（実技については、初心者を対象とした内容です） 講義・実技「我が国の伝統的な歌唱」 茨城県民謡協会 講師 8名 実技「箏の奏法」「三味線の奏法」 鑑賞「和楽器を用いた表現」 東京藝術大学音楽学部同声会茨城支部 講師 3名
89	図画工作・美術科授業づくり研修講座	小中高特 各班25人 第1日 共通：7月26日（金） 第2日 A班：8月2日（金） B班：8月9日（金）	第1日は、茨城県近代美術館で所外研修です。対話型鑑賞の講義や演習を中心に、美術館を活用した授業づくりについて学びます。第2日は、研修センターで作品づくりをしながら、表現と鑑賞を関連させた授業づくりについて考えていきます。 講義・研究協議「対話型鑑賞の可能性」 武蔵野美術大学 教授 三澤 一実

講座 番号	研修講座名	対象・定員・実施日	内容・講師等
90	ひろがれスポーツの可能性！体育授業づくり研修講座	小中高特 40人 6月28日（金）	体育や保健体育のエキスパートである細越淳二先生の講義をヒントに、学習指導要領の主旨をふまえ、受講者同士のアイデアを結集した授業づくりを通して、明日からの体育・保健体育の授業を変えていきましょう。 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの実現を促す体育授業」 国土館大学 教授 細越 淳二
91	できるをいっぱい！家庭科授業づくり研修講座	小中特（小中学部） 30人 高特（高等部） 15人 8月21日（水）	子供たちの「できるがいっぱい！」を実現する、家庭科授業づくりについて一緒に考えてみませんか。午後は校種別の部会に分かれて、実践発表や演習などを通して授業力の向上を図ります。 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの実現を促す家庭科の授業づくり」 茨城大学 教授 佐藤 裕紀子
92	みんなで創ろう「Technology」の授業研修講座	中 25人 8月22日（木）	技術・家庭科（技術分野）の現状と課題について、講義・演習などを通して学び、これからの未来を創る「Technology」の授業について考えてみませんか。 講義・研究協議「技術・家庭科〔技術〕教育の現状と課題」 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 渡邊 茂一
93	英語発信力向上を目指す授業づくり研修講座	小特（小学部） 40人 中特（中等部） 40人 10月2日（水）	小・中学校の外国語活動・外国語（英語）科において、言語活動を通して児童生徒の英語発信力の向上を目指す、実践的指導力の向上を図ります。 講義・演習「英語発信力向上を目指す授業づくり」 文部科学省初等中等教育局調査官 入之内 昌徳
94	思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり研修講座（国語）	中高特 20人 第1日 8月19日（月） 第2日 1月16日（木）	指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に関する講義・演習・研究協議を通して、実践的な指導力の向上を図ります。 講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと評価」 講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する学習指導と評価」 専修大学 教授 山下 直
95	思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり研修講座（社会・地理歴史・公民）	小中高特 各班12人 第1日 A班：9月5日（木） B班：9月13日（金） C班：9月18日（水） 第2日 全班：2月4日（火）	指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に関する講義・演習・研究協議を通して、思考力・判断力・表現力を育成する実践的な指導力の向上を図ります。 A班：講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと学習評価」 大妻女子大学 教授 澤井 陽介 B班：講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと学習評価」 玉川大学 教授 樋口 雅夫 C班：講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと学習評価」 産業能率大学 准教授 皆川 雅樹 全班：講義・研究協議「社会の成り立ちから学び、よりよい社会を創造する力を育成する社会・地理歴史・公民科教育の在り方」 筑波大学 教授 唐木 清志

講座 番号	研修講座名	対象・定員・実施日	内容・講師等
96	思考力・判断力・表現力を 育成する授業づくり研修講 座（算数・数学）	小中高特 各班16人 第1日 A班：9月4日（水） B班：9月13日（金） C班：9月17日（火） 第2日 A班：2月20日（木） B班：2月6日（木） C班：2月13日（木）	指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に 関する講義・演習・研究協議を通して、思考力・判断力・表現力を育成する実 践的な指導力の向上を図ります。 A班：講義・研究協議「算数科における資質・能力を育む教材理解の在り方」 島根県立大学 教授 齊藤 一弥 講義・研究協議「実生活の問題を解決する算数の学び」 明星大学 客員教授 細水 保宏 B・C班：講義・研究協議「数学科における資質・能力を育む教材の理解の在り方」 岩手大学 准教授 佐藤 寿仁 国立教育政策研究所 教育課程調査官 小林 廉 B班：講義・研究協議「社会で生きる数学の学び～教科等横断的な学びの視点 から～」 横浜国立大学 教授 池田 敏和 C班：講義・研究協議「社会で生きる数学の学び～探究的な学びの視点から～」 東京学芸大学 教授 西村 圭一
97	思考力・判断力・表現力を 育成する理科観察・実験研 修講座	中高特 48人 8月20日（火）	理科4領域の観察・実験を通して、生徒の思考力・判断力・表現力を育成す る実践的な指導力の向上を図るとともに、理科観察・実験の評価方法を検討す る。 観察・実験・研究協議「エネルギー領域・粒子領域・生命領域・地球領域にお ける思考力・判断力・表現力を育成する観察・実験の工夫」
98	思考力・判断力・表現力を 育成する授業づくり研修講 座（外国語（英語））	中特（中等部） 10人 高特（高等部） 10人 第1日 9月19日（木） 第2日 1月21日（火）	指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に ついて、一緒に考えてみませんか。思考力・判断力・表現力を育成する指導力 の向上を図りましょう。 講義・演習「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり」 敬愛大学 教授 向後 秀明 講義・演習「授業とつながるパフォーマンステスト」 敬愛大学 教授 向後 秀明
99	持続可能な社会を創る！SD G s 研修講座	小中高特 各班40人 第1日 A班：8月1日（木） B班：8月2日（金） 第2日 共通：1月30日（木）	持続可能な開発目標（SDG s）を達成するために、持続可能な社会の創り 手を育む教育（ESD）が注目されています。JICA筑波での研修や海外と のオンライン交流を通して、「think globally, act locally」の視点を生かし た学びについて考え、それぞれの学校でESDの実践をして共有します。 講義・実践発表・研究協議「SDG s達成に向けたグローバルな視点からの取 組の実際」 JICA筑波職員 講義・研究協議「学校と地域が連携したSDG s達成に向けた教育の在り方」 東京都市大学大学院 教授 佐藤 真久 演習「教室から世界を考える オンラインスタディ・ツアー体験」 認定NPO法人CF Fジャパンスタッフ
100	夏季自然体験活動研修講座	小中高特 30人 A班：8月1日（木） 小中高特 24人 B班：8月22日（木）	自然博物館の野外における動物・植物観察、地学分野の体験、博物館の活用 事例の紹介、授業における博物館の利用など自然体験活動の充実について研修 します。 実習・講義「博物館を利用した理科教育」 ミュージアムパーク茨城県自然博物館職員 河川の上・中・下流域の様相の違いや生息する生物等の観察を通して、体験 的に環境教育について考えます。フィールドワークをしながら環境教育につ いて研修してみませんか。 実習「河川観察等を通じた体験型環境教育」 茨城県霞ヶ浦環境科学センター職員

講座 番号	研修講座名	対象・定員・実施日	内容・講師等
101	日常を探究にする研修講座	小中高特 100人 8月23日（金）	児童生徒が日常の中に探究テーマとの出会いやヒントとなるきっかけを見出し、探究的な学びを実現する授業デザインを行います。 講義・研究協議「児童生徒の日常を探究にする」 認定NPO法人カタリバ 学校支援担当
102	児童生徒の学びを支える学校図書館活用研修講座	小中高特 80人 8月22日（木）	学校図書館を活用した教育活動に関する実践的な内容・方法等について理解を深め、児童生徒の学習活動の充実を図ることを目的としています。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、公共図書館との連携の在り方や、学校図書館を活用した学びの実践について考えてみませんか。 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの実現を促す学校図書館の在り方」 放送大学 客員教授 堀川 照代

情報教育課の希望研修講座

講座 番号	研修講座名	対象・定員・実施日	内容・講師等
103	体験する工業教育研修講座	小中高特 10人 9月26日（木）	工業とは、工業資源などの原材料を加工して付加価値を加えた製品を作る産業です。ひとつの製品を作るには最新の設備はもちろんのこと、効率的な生産方法、様々な技術やアイデアが必要となります。この講座では企業の生産現場で実際に行われている研修を通して、ものづくりの技術やアイデアを体験することができます。この機会に、ものづくりの奥深さに触れてみませんか。 ※ 本講座は、全ての校種、全ての教科の教員が受講を希望することが可能です。 講義・実習「ものづくり人材育成の実際～生産・管理技術現場の体験を通して～」 キャノン株式会社 ものづくり人材企画部 部長 加藤 孝弘
104	体験する商業教育研修講座	小中高特 13人 9月6日（金）	社会生活を営む私たちは、全員が生活者であり消費者です。「商業」の魅力・役割とは、一人ひとりが社会の担い手としてより良いと判断する行動を選択し、豊かで持続可能な生活と社会を実現することです。本講座では、「商業」の学びに生かすための広い知見を得ることを目的として、スーパーマーケット「カスミ」本社および中央流通センターで、マーケティングと流通の実際について学びます。生活に身近な小売業と流通業のしくみを、その内側から体験することのできるまたとない機会です。この機会にぜひ、「商業」の魅力に触れてみませんか。 ※ 本講座は、全ての校種、全ての教科の教員が受講を希望することが可能です。 講義・実習「スーパーマーケットにおける販売戦略について」 株式会社カスミ 店舗開発・サービス本部 ロジスティック部 システム担当 安藤 元一 講義・実習「スーパーマーケットにおける物流システムの実践」 株式会社カスミ ロジスティック本部 物流部 物流課長 赤津 茂美
105	I C Tを活用した授業づくり研修講座	小中高特 各班50人 A班：7月24日（水） B班：7月25日（木） C班：7月26日（金）	令和の日本型学校教育の実現に向けて、授業におけるI C T活用が必要不可欠なものとなっている中、授業でI C Tを活用することに不安を感じる方も多いのではないのでしょうか。本講座は、教科・科目の目標を授業の主軸におきながら、「文房具としてのI C T活用」を合言葉に、授業でI C Tを活用できる実践力を得ることができます。 ※ 班ごとに演習に使用する授業支援ソフトウェアが異なります。下記から選択し、お申し込みください。 A班：Google Workspace for Education 又は SKYMENU Class B班：SKYMENU Class 又は ロイロノート・スクール C班：Google Workspace for Education 又は ロイロノート・スクール

講座 番号	研修講座名	対象・定員・実施日	内容・講師等
106	新しい教育課題に対応するための教育のデジタル化研修講座	小中高特 40人 8月19日（月）	今年度取り上げる教育課題は、生成AIの効果的な活用を含む「新しい学びのスタイルの実現」です。GIGAスクール構想により一人1台端末が実現している現在において、新たな学びのスタイルの具現化がますます必要となっております。本講座では、新しい学びをICT活用の視点とデジタル・シティズンシップ教育の視点からいかに推進していくかについて、講義、実践発表、演習、研究協議を通して学んでいきます。 講義「新しい学びのスタイルの実現～ICT活用の視点から～」 茨城大学教育学部 准教授 小林 祐紀 講義「新しい学びのスタイルの実現～デジタル・シティズンシップ教育の視点から～」 一般社団法人メディア教育研究室 代表理事 今度 珠美
107	義務教育段階におけるプログラミング教育研修講座	小中高特 45人 8月8日（木）	基礎・基本からプログラミングを学ぶことのできる内容（小学校段階を想定）と、小・中・高を見通したプログラミング教育を考える発展的な内容（中学校段階を想定）から、義務教育段階におけるプログラミング教育に関する知識と技術を習得し、指導力の向上を図ります。順次・分岐・反復などのプログラミング的思考を身に付けるための学習活動について理解を深めるとともに、ロボットなどのリアルなものを動かすプログラミングを行います。 ※ 本講座は、小・中・高のつながりを意識して、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭等が受講可能です。義務教育段階でどのようなプログラミング教育に取り組んでいるかを理解し、小・中・高の連携を図っていきましょう。 実習・演習「義務教育段階におけるプログラミング教育の実践」 センター職員、教諭 2人

教育相談課の希望研修講座

講座 番号	研修講座名	対象・定員・実施日	内容・講師等
108	「不登校」を考える研修講座	小中高特 72人 9月4日（水）	県内でSCを務めている大学教授の講義・演習を通して、「不登校」について考えます。研究協議を通して、より具体的な支援方法について交流し、明日からの支援に生かしましょう。 講義・演習「学びの保障に向けた支援の充実」 茨城大学 准教授 金丸 隆太
109	思春期のこどもと保護者の心に寄り添うソーシャルスキル研修講座	小中高特 72人 10月9日（水）	自殺、自傷行為、自殺予防教育を専門とする講師から、思春期の児童生徒の特徴と適切な関わり方について学びます。そして、児童生徒や保護者の心に寄り添うためのソーシャルスキルを演習で体験し、今後の関わりに生かしましょう。 講義・演習「思春期のこどもの心の危機と向き合う」 東京都立大学 准教授 勝又 陽太郎
110	教育相談（初級）研修講座	小中高特 各班56人 第1日 A班：7月25日（木） B班：8月19日（月） 第2日 A班：11月22日（金） B班：11月29日（金）	全日程を受講した方が受講修了となります。講義・演習を通して、教育相談における基礎を学びます。また、実際の個別面接を想定したロールプレイを行い録音し研究協議を行うなど、話を聴く技法や信頼関係を築く態度についての理論や方法を学び、教育相談に関する資質・能力の向上を図ります。A班かB班のいずれかを申込み時に選択します。 第1日：講義・演習「カウンセリングの基礎」 筑波大学 教授 杉江 征

講座 番号	研修講座名	対象・定員・実施日	内容・講師等
111	教育相談（中級）研修講座	小中高特 40人 第1日 9月19日（木） 第2日 1月16日（木）	教育相談（初級）研修講座を修了している方を対象とした講座で、全日程を受講した方が受講修了となります。抱える問題を明らかにする技法や関わりについて講義・演習・研究協議を通して、理解を深めます。児童生徒や保護者の許可を取り、個別面接を録音し、逐語記録を作成する課題があります。 第2日：講義・演習「カウンセリングにおけるアセスメント」 立正大学 教授 鹿嶋 真弓
112	教育相談（上級）研修講座	小中高特 24人 第1日 7月5日（金） 第2日 10月2日（水） 第3日 1月21日（火）	教育相談（中級）研修講座を修了している方を対象とした講座で、全日程を受講した方が受講修了となります。講義・演習・研究協議を通して、問題を解決に導く技法や関わりについて理解し、教育相談に関する資質・能力の向上を図ります。児童生徒や保護者の許可を取り、個別面接を録音し、逐語記録を作成する課題があります。 第1日：講義・演習「カウンセリングの実践」 茨城大学 教授 正保 春彦 第2日：講義・演習「カウンセリングの応用」 茨城大学 教授 生越 達
113	問題行動等を未然防止！こどもを支える教育相談研修講座	小中高特 72人 7月2日（火）	解決志向アプローチの理論と方法について大学教授の講義・演習から学び、授業や日々の関わりにどのように生かせるか一緒に考えましょう。午後は、グループアプローチの演習を通して、こどもを支える教育相談について理解を深めます。事前に動画を視聴してから受講してください。グループアプローチは構成的グループエンカウンター・クラス会議のいずれかを申し込み時に選択してください。 講義・演習「授業に生かすカウンセリング」 目白大学 教授 黒沢 幸子

特別支援教育課の希望研修講座

講座 番号	研修講座名	対象・定員・実施日	内容・講師等
114	自立活動指導力向上研修講座	小中高 120人 第1日 8月8日（木） 第2日 12月12日（木）	第1日は、講義・演習、実践発表、プロセスシートの作成を通して、自立活動について学びます。第1日終了後、各学校において自立活動の実践を行っていただきます。第2日は、研究協議を通して各学校での自立活動の授業実践について情報共有を行います。また、演習を通して授業改善を目指し、自立活動の授業づくりについて考えます。2日間の研修と学校での自立活動の指導の実践を通して、自立活動の指導力向上を目指します。 第1日：講義・演習「学びを支える自立活動～困難さを改善・克服するために～」 江東区立豊洲北小学校 統括校長 喜多 好一
115	読み書き困難のある児童生徒への指導法研修講座	小中特 140人 11月1日（金）	この講座では、読み書き困難のある児童生徒の認知的背景や支援の在り方等について、実践発表を聞いたり演習や研究協議を行ったりします。3つの分科会（①ひらがな・漢字の指導②文・文章の指導③アルファベット・英単語の指導）から選択していただき、読み書き困難のある児童生徒への具体的な指導方法を学んだ上で、研究協議を行い、今後の指導に生かせるようにしていきます。 講義・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導」 筑波大学 助教 三益 亜美

講座 番号	研修講座名	対象・定員・実施日	内容・講師等
116	通常の学級における特別支援教育研修講座	小中高 110人 7月29日（月）	この講座では、通常の学級における多様なニーズのある子供や、特別支援教育の視点を踏まえた学級経営について、講義・演習や実践発表を聞いて理解を深めます。また、特別な教育的支援を必要とする児童生徒への対応に関して研究協議を行います。児童生徒への支援方法を考えたり、話し合ったりすることを通して、特別支援教育の理解を深めていきます。 講義・演習「通常の学級における特別支援教育～こどもたちの多様なニーズの理解と支援～」 明星大学 准教授 森下 由規子
117	特別支援教育の専門性を高めるための研修講座	小中高特 70人 第1日 8月20日（火） 第2日 11月20日（水）	地域と連携した特別支援教育に関する専門性を高めるための講座です。第1日は、グレーゾーンの児童生徒への支援の在り方についての講義・演習を通して、特別支援教育の方向性と課題について学びます。また、障害のある児童生徒を理解するためのアセスメントについて演習・研究協議を通して考えます。第2日は、ICTを活用した特別支援教育における授業づくりについて研修します。 第1日：講義・演習「グレーゾーンの児童生徒への支援の在り方～二次障害を防ぐために～」 特別支援教育ネット代表 小栗 正幸 第2日：講義・演習「ICTを活用した特別支援教育における授業づくり（基礎編）」 島根県立大学 准教授 水内 豊和

b 実施要項

希望研修	77
------	----

担当：教職教育課
直通：0296-78-3212

令和6年度 学校組織マネジメント（基礎）研修講座

1 目的

学校組織マネジメントの基本的事項に関する研修をとおり、各学校におけるマネジメントの推進者の育成を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教務主任、部主事、事務職員等

3 定員

120人

4 期日及び会場

8月9日（金） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

5 日程

期日及び時間：8月9日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習「学校組織マネジメント(1)ー組織マネジメントとはー」 大学教授
	10:50	講義・演習「学校組織マネジメント(2)ー組織経営面のマネジメントー」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習（午前に続く）
	14:20	講義・演習「学校組織マネジメント(3)ー業務遂行面のマネジメントー」 大学教授
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

学校要覧やグラントデザイン等、自校の学校教育目標や教育の重点が確認できるもの。

令和6年度 学校組織マネジメント（発展）研修講座

※ 令和6年度は、本講座は実施しない。学校組織マネジメント（基礎）研修講座との隔年実施とする。

1 目的
学校組織マネジメントの戦略・ビジョンに関する研修をとおり、各学校におけるマネジメントの推進者の育成を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教務主任、部主事、事務職員等
対象外	令和5年度までに本講座を受講した者

3 定員
50人

4 期日及び会場
*月*日（*） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程
期日及び時間：*月*日（*） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習「学校組織マネジメント(1)ー組織マネジメント概論ー」 大学教授
	10:50	講義・演習「学校組織マネジメント(2)ー学校の戦略マップづくりー」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習（午前に続く）
	14:20	講義・演習「学校組織マネジメント(3)ー戦略の共有と振り返りー」 大学教授
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等
研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品
(1) 学校要覧やグランドデザイン等、自校の学校教育目標や教育の重点が確認できるもの。
(2) 自校に対して組織的な学校経営を行うことを想定し、SWOT分析を行った上で、どこに突破口（機会や強み）や問題（脅威や弱み）があるのかを整理し、今後の自校に必要なことを考察しておく。

令和6年度 帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導研修講座

1 目的

日本語指導における今日的課題とともに、授業の工夫・改善に係る理論と実践について理解を深め、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校
職	校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

100人

4 期日及び会場

8月19日（月） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：8月19日（月） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「帰国・外国人児童生徒への日本語指導—ことばの力を知り、育てる教育へ—」 大学教授
	11:20	実践発表・研究協議「帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導の実際」 教諭、センター職員
	12:20	昼食
	13:20	【初めて受講する方】 ワークショップA「アセスメントの実践と評価」 大学教授、大学院生
		【過去に受講経験のある方】 ワークショップB「アセスメントの評価と指導計画」 大学教授、大学院生
	15:50	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 「自ら問い、考え、語る」 これからの道徳教育研修講座

1 目的

道徳教育に係る授業の理論と実践についての理解を深め、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

40人

4 期日及び会場

10月29日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	「児童生徒の発達の段階に応じた道徳教育の進め方」

期日及び時間：10月29日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	【公開講義 No.02】 講義・演習「道徳教育と主体的・対話的で深い学びに向けた道徳科の授業」 文部科学省関係講師
	11:20	実践発表・協議「『自ら問い、考え、語る』道徳教育の実践」 教諭、センター職員
	12:20	昼食
	13:20	演習・研究協議「『自ら問い、考え、語る』道徳教育を目指して」 センター職員
	15:45	リフレクション

※ 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）第5日【選択研修】と合同開催とする。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 小・中学校

- ・自校で使用している道徳科の教科書
- ・担当校種の学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 平成29年7月 文部科学省

(2) 高等学校

- ・自校で使用している道徳教育の資料

(3) 特別支援学校

- ・自校で使用している道徳科の教科書又は道徳資料

令和6年度 自治的能力を育む特別活動研修講座

1 目的

特別活動の果たすべき役割とこれからの課題を明確にし、特別活動における指導力の向上と教育活動の充実を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

80人

※ 実践発表・協議については、第1分科会 学級（ホームルーム）活動(1)、第2分科会 学級（ホームルーム）活動(2)、(3)、第3分科会 児童会活動、第4分科会 生徒会活動のいずれかを申込時に選択する。

※ 学級（ホームルーム）活動(1)～(3)は、学習指導要領の分類による。

4 期日及び会場

8月19日（月） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

5 日程

期日及び時間：8月19日（月） 13時～16時（受付開始12時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	13:00	イントロダクション
	13:10	【公開講義 No.01】 講義・演習「一人一人が育ち、集団をよりよくするための特別活動」 文部科学省関係講師
	14:50	実践発表・協議「一人一人が育ち、集団をよりよくするための特別活動」（4分科会） 【第1分科会 学級（ホームルーム）活動(1)】 教諭、センター職員 【第2分科会 学級（ホームルーム）活動(2)、(3)】 教諭、センター職員 【第3分科会 児童会活動】 教諭、センター職員 【第4分科会 生徒会活動】 教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 担当校種の学習指導要領解説 特別活動編 文部科学省

(2) 担当校種の以下の資料（教員向けパンフレット）

・みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動（小学校編）

・学校文化を創る特別活動（中学校・高等学校編）

※ 教員向けパンフレットは、国立教育政策研究所のWebページからダウンロードできる。

令和6年度 高等学校等マネジメント研修講座

1 目的

学校教育に関する組織マネジメント及び人材育成に関する研修を通して、学校における諸問題への対応に資するとともに、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上に資する。

2 対象（条件等）

校種	県立中学校、県立高等学校、県立中等教育学校
職	高等学校籍の教諭
条件	以下の条件を全て満たす者 ・受講を希望する者又は校長が推薦する者 ・校務分掌等における役職経験の有無にかかわらず、今後の学校運営等に変革の意欲のある者 ・研修を通して、より広い視野に立った教員としての資質向上の意欲に富み、学校運営において指導的な役割を担うことができる者 ・原則として、35歳以上45歳以下の者（令和7年3月31日現在） ・全日程の受講が可能な者
対象外	前年度までに本講座を受講した者

3 定員

20人

4 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	6月26日（水）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）
第2日	6月27日（木）	
第3日	7月9日（火）	
第4日	9月11日（水）	
第5日	10月10日（木）	
第6日	11月7日（木）	
第7日	12月11日（水）	

5 日程

期日及び時間：6月26日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	開講式 教育研修センター所長、学校教育部長
	9:45	講義「これからのスクールリーダーに期待すること」 高校教育課長
	10:30	講義「生徒を主語にした学校をつくる」 学識経験者
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習「『学校は未来』の実現へ向けて」 学識経験者
	14:40	演習「マネジメントとミドルリーダーの役割」 センター職員
	15:30	リフレクション

期日及び時間：6月27日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義「本県の教育課題とスクールミッション」 高校教育課高校教育改革推進室長
	10:30	講義・演習「教育の未来と新しい学校の在り方」 県立学校協力者
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習「学校ビジョンの構築」 大学教授
	15:30	リフレクション

期日及び時間：7月9日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第3日	9:30	イントロダクション
	9:50	講義・演習「県立学校の法的位置付け」 高校教育課人事担当管理主事
	11:00	講義・演習「教育公務員の身分」 高校教育課人事担当管理主事
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習「教員のサービスの在り方」 高校教育課人事担当管理主事
	13:50	講義・演習「勤務時間の関連規定」 高校教育課人事担当管理主事
	14:40	講義・演習「共通テーマ『休日・休暇』」 高校教育課人事担当管理主事
	15:20	研究協議「個別研究の進め方」（5分散会） 高校教育課人事担当管理主事
	15:50	リフレクション

期日及び時間：9月11日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第4日	9:30	イントロダクション
	9:40	演習・協議「個別テーマ研究の中間検討会」（5分散会） 高校教育課人事担当管理主事
	12:00	昼食
	13:00	演習・協議（5分散会） 「共通テーマ研究の中間検討会」 「発表準備」 高校教育課人事担当管理主事
	15:30	リフレクション

期日及び時間：10月10日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第5日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「新しい学びの推進」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	演習・研究協議「課題発見と改善の方策」 高校教育課主任指導主事
	14:40	研究協議「『私』を主語にして考えた学校の未来」 センター職員（学校経営支援グループ）
	15:45	リフレクション

期日及び時間：11月7日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第6日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「事例研究～事例に学ぶ、問題の焦点化と関連法規～」 高校教育課人事担当管理主事
	10:30	研究発表「個別テーマ研究の研究発表」（4分散会） 高校教育課人事担当管理主事
	12:00	昼食
	13:00	研究協議「個別テーマ研究の研究協議」（4分散会） 高校教育課人事担当課長補佐、高校教育課人事担当管理主事
	15:30	リフレクション

期日及び時間：12月11日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第7日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究発表「『私』を主語にして考えた学校の未来」 センター職員（学校経営支援グループ）
	12:00	昼食
	13:00	研究発表（午前に同じ）
	15:40	修了式「リーダーとして更なる進化へ」 教育研修センター所長

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 こどもを主語にした学びをつくる国語科研修講座

1 目的

単元のまとまりを意識した授業デザインや指導と評価の一体化について追究することを通して、主体的・対話的で深い学びの実現を促す確かな授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校、国公立特別支援学校、私立小学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

80人

4 期日及び会場

第1日：共通 8月20日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

第2日：Ⅰ期 2月14日（金） オンライン研修（所属校等、研修専念できる場所）

Ⅱ期 2月18日（火） 同上

※ 第2日は、申込時に希望日を選択する。

5 日程

期日及び時間：【共通】8月20日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	【公開講義 No.11】 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの実現を促す国語科の授業づくり」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	講義・研究協議「こどもを主語にした学びに向けた国語科の授業改善」 センター職員
	14:00	演習・研究協議「こどもを主語にした学びに向けた授業改善の構想」 センター職員
	15:50	リフレクション

期日及び時間：【Ⅰ期】2月14日（金）【Ⅱ期】2月18日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:50	講義・研究協議「国語科の授業づくりと評価の改善」 センター職員
	11:00	研究協議「こどもを主語にした学びに向けた授業改善の共有」 センター職員
	12:00	昼食
	13:00	研究協議（午前に同じ）
	15:50	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 小学校学習指導要領解説 国語編 平成29年7月 文部科学省

(2) 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校国語】 令和2年3月

(3) 担当学年の教科書

令和6年度 シティズンシップ教育研修講座

1 目的

社会科、地理歴史、公民科を中心としたシティズンシップ教育についての講義や実践発表、演習・研究協議を通して、児童生徒の市民性を育成するために必要な資質と指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）
条件	社会、地理歴史、公民科を担当する者

3 定員

45人

4 期日及び会場

8月20日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：8月20日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・研究協議「シビックプライドを涵養する社会、地理歴史、公民科教育の在り方」 大学教授
	11:30	実践発表・模擬授業・演習「社会、地理歴史、公民科におけるシティズンシップ教育の実践～ 討議、哲学対話、模擬裁判を取り入れた授業づくり～」（3分科会） 高校教育課指導主事、教諭、センター職員
	12:30	昼食
	13:30	実践発表・模擬授業・演習（午前に同じ）
	14:30	研究協議「シビックプライドを涵養する授業づくり」 （3分科会） 高校教育課指導主事、教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 小学校理科観察・実験研修講座

1 目的

小学校理科の基本的な観察・実験を通して、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校、国公立特別支援学校（小学部）
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

48人

4 期日及び会場

8月9日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：8月9日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	観察・実験・研究協議「基礎から学ぶ理科の観察・実験」（4分散会） 外部機関職員、センター職員
	12:15	昼食
	13:15	観察・実験・研究協議（午前に同じ）
	15:50	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 未来を創るSTEAM教育研修講座

1 目的

探究と創造を組み合わせた教科等横断的な学びについて理解することを通して、社会課題を解決し、よりよい社会を創る人材を育成するための指導力向上と教育活動の充実を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校、県・市町村教育委員会、県教育事務所
職	国公立：校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く）、指導主事等 私立：教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

80人

4 期日及び会場

第1日：8月23日（金） 茨城県立歴史館 〒310-0034 水戸市緑町2-1-15（電話：029-225-4425）

第2日：11月28日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：8月23日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	研究協議「STEAM教育に広がる教科等横断的な学び」 センター職員
	10:15	実践発表・研究協議「STEAM教育の実際」 教諭、センター職員
	12:15	昼食
	13:15	講義・研究協議「新しい学びを創造するSTEAM教育」 大学教授、センター職員
	15:25	リフレクション

期日及び時間：11月28日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	10:00	演習・研究協議「STEAM教育におけるプログラミング」 センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習・研究協議「STEAM教育におけるアート」 大学教授、センター職員
	15:25	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 音楽科授業づくり研修講座

1 目的

音楽科教育に関する講義及び体験的な研修を通して、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭
条件	A班：小学校、特別支援学校（小学部）で音楽科を担当する者 B班：中学校、高等学校、特別支援学校（中学部・高等部）で音楽科を担当する者

3 定員

A班、B班 各25人

4 期日及び会場

A班：7月23日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

B班：1月24日（金） 同上

5 日程

期日及び時間：【A班】7月23日（火）【B班】1月24日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・実践発表・研究協議「ICTを活用した授業づくり」 教諭、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・実技「表現と鑑賞を関連させた授業づくりの工夫」 大学教授等
	15:30	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 担当校種の学習指導要領解説

- ・小学校学習指導要領解説 音楽編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 音楽編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 芸術（音楽 美術 工芸 書道）編 音楽編 美術編 平成30年7月 文部科学省

(2) PC

令和6年度 我が国の伝統音楽研修講座

- 1 目的
音楽科における我が国の伝統・文化に関する教育に対する認識を深め、基本的な授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭
条件	音楽科を担当する者

3 定員

箏コース 20人（10人×2班）
三味線コース 5人
※ 申込時に希望コースを選択する。

4 期日及び会場

第1日：8月20日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）
第2日：8月21日（水） 同上

5 日程

期日及び時間：8月20日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・実技「我が国の伝統的な歌唱」 講師（茨城県民謡協会）、センター職員
	10:45	【箏コース】 実技「箏の奏法」（2分散会） 講師（東京藝術大学音楽学部同声会茨城支部）、センター職員
		【三味線コース】 実技「三味線の奏法」 講師（東京藝術大学音楽学部同声会茨城支部）、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	実技（午前に同じ）
	15:45	リフレクション

期日及び時間：8月21日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	【箏コース】 実技「箏の奏法」（2分散会） 講師（東京藝術大学音楽学部同声会茨城支部）、センター職員
		【三味線コース】 実技「三味線の奏法」 講師（東京藝術大学音楽学部同声会茨城支部）、センター職員
	12:30	昼食
	13:30	鑑賞「和楽器を用いた表現」 講師（東京藝術大学音楽学部同声会茨城支部）、センター職員
	14:45	実践発表・研究協議「我が国や郷土の伝統音楽の授業づくり」 教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

箏・三味線の中から選択した楽器

令和6年度 図画工作・美術科授業づくり研修講座

1 目的

感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく図画工作・美術科の授業づくりについて理解を深めることを通して、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭
条件	A班：小学校、特別支援学校（小学部）で図画工作科を担当する者 B班：中学校、高等学校、特別支援学校（中学部・高等部）で美術科を担当する者

3 定員

A班、B班 各25人

4 期日及び会場

第1日：共通 7月26日（金） 茨城県近代美術館 〒310-0851 水戸市千波町東久保666の1（電話：029-243-5111）
第2日：A班 8月2日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）
B班 8月9日（金） 同上

5 日程

期日及び時間：【共通】7月26日（金） 10時～16時（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	10:00	イントロダクション
	10:30	【公開講義 No.09】 講義・研究協議「対話型鑑賞の可能性」 大学教授、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習「美術館を活用した授業づくり」 美術館職員、センター職員
	15:30	リフレクション

期日及び時間：【A班】8月2日（金）【B班】8月9日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	10:00	【A班】 実技「表現と鑑賞を関連させた図画工作科の授業づくり」 教諭、センター職員
		【B班】 実技「社会の中の美術のはたらきを考える授業づくり」 教諭、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	【A班】 実践発表・実技・研究協議「表現と鑑賞を関連させた図画工作科の授業づくり」 教諭、センター職員
		【B班】 実践発表・実技・研究協議「社会の中の美術のはたらきを考える授業づくり」 教諭、センター職員
	15:30	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 第1日、第2日共通

担当校種の学習指導要領解説

- ・小学校学習指導要領解説 図画工作編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 美術編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 芸術（音楽 美術 工芸 書道）編 音楽編 美術編 平成30年7月 文部科学省

(2) 第2日

別途連絡する。

8 その他

- ・第1日の昼食は、弁当持参を基本とするが、館内レストラン又はザ・ヒロサワ・シティ会館レストラン・売店を利用してもよい。

令和6年度 ひろがれスポーツの可能性！体育授業づくり研修講座

1 目的

授業改善に関する実践的・体験的な研修を通して、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する態度を育む体育・保健体育科の授業づくりについて理解を深めるとともに授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）
条件	体育・保健体育科の免許状を有する者で、体育・保健体育科を担当する者

3 定員

40人

4 期日及び会場

6月28日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：6月28日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:15	講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの実現を促す体育授業」 大学教授
	12:15	昼食
	13:15	演習「体育授業における『個別最適な学び』と『協働的な学び』」 センター職員
	15:30	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 担当校種の学習指導要領解説

- ・小学校学習指導要領解説 体育編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 保健体育編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 保健体育編 平成30年7月 文部科学省

(2) 運動のできる服装、運動靴

(3) PC等の端末

令和6年度 できるをいっぱい！家庭科授業づくり研修講座

1 目的

実践的・体験的な学習活動に関する研修をとおり、家庭科教育について理解するとともに授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭
条件	小学校、中学校、高等学校は、家庭科を担当する者

3 定員

小・中・特（小学部、中学部） 30人
高・特（高等部） 15人

4 期日及び会場

8月21日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：8月21日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	【公開講義 No.12】 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの実現を促す家庭科の授業づくり」 大学教授（オンライン）
	11:30	昼食
	12:30	【小・中・特（小学部、中学部）】 実践発表・演習「知識と技能の習得に向けた家庭科の授業づくり」 教諭、センター職員
		【高・特（高等部）】 実践発表・演習「生徒の主体的な学びを促す授業づくりと学習評価」 高校教育課指導主事、教諭
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 担当校種の学習指導要領解説

- ・小学校学習指導要領解説 家庭編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 技術・家庭編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 家庭編 平成30年7月 文部科学省

(2) 担当校種の教科書

(3) 小・中・特（小学部、中学部）については、裁縫用具

担当：教科教育課
 直通：0296-78-3213
 担当：情報教育課
 直通：0296-78-3211

令和6年度 みんなで創ろう「Technology」の授業研修講座

1 目的

実践的・体験的な学習活動に関する研修を通して、Technology教育の授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校、私立中学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）
条件	技術・家庭科〔技術〕を担当する者

3 定員

25人

4 期日及び会場

8月22日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：8月22日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	【公開講義 No.13】 講義・研究協議「技術・家庭科〔技術〕教育の現状と課題」 文部科学省講師（オンライン）
	11:30	昼食
	12:30	実践発表・演習「『Technology』の指導と評価の工夫」 教諭、センター職員
	15:40	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

中学校学習指導要領解説 技術・家庭編 平成29年7月 文部科学省

令和6年度 英語発信力向上を目指す授業づくり研修講座

1 目的

小中学校の外国語（英語）科の授業における言語活動を充実させることを通して、児童生徒の英語発信力向上につながる授業力を身に付ける。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、国公立特別支援学校（小・中学部）、私立小・中学校
職	国公立：教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭
条件	外国語活動、外国語（英語）科を担当する者

3 定員

小・特（小学部） 40人
中・特（中等部） 40人

4 期日及び会場

10月2日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：10月2日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	【公開講義 No.17】 講義・演習「英語発信力向上を目指す授業づくり」 文部科学省関係講師
	11:30	昼食
	12:30	実践発表・演習「英語発信力向上を目指した授業づくりの実際」 教諭、センター職員
	14:00	講義・演習「英語発信力向上を目指した授業改善」 義務教育課指導主事
	14:50	研究協議「英語発信力向上を目指した言語活動の構想」 センター職員
	15:50	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

- 小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編 平成29年7月 文部科学省（データでの持参可）
中学校学習指導要領解説 外国語編 平成29年7月 文部科学省（データでの持参可）
- 担当学年で使用している教科書

令和6年度 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり研修講座（国語）

1 目的

指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業改善に関する講義・演習・研究協議を通して、思考力・判断力・表現力を育成する実践的な指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）
条件	国語科を担当する者

3 定員

20人

4 期日及び会場

第1日：8月19日（月） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）
第2日：1月16日（木） 同上

5 日程

期日及び時間：8月19日（月） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	【公開講義 No.10】 講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと評価」 学識経験者
	12:00	昼食
	13:00	演習「思いや考えを表現する力を高める授業づくりと評価」 センター職員
	14:20	演習・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する単元の指導計画及び評価の検討」 （3分散会） センター職員
	15:30	リフレクション

期日及び時間：1月16日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:50	研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する学習指導と評価の共有」（3分散会） センター職員
	12:30	昼食
	13:30	【公開講義 No.18】 講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する学習指導と評価」 学識経験者
	15:30	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

- ・担当校種の学習指導要領解説
- ・中学校学習指導要領解説 国語編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 国語編 平成30年7月 文部科学省

令和6年度 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり研修講座（社会・地理歴史・公民）

1 目的

指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業改善に関する講義・演習・研究協議を通して、思考力・判断力・表現力を育成する実践的な指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）
条件	A班：小学校、特別支援学校（小学部）で社会科を担当する者 B班：中学校、特別支援学校（中学部）で社会科を担当する者 C班：高等学校、特別支援学校（高等部）で地理歴史・公民科を担当する者

3 定員

A班、B班、C班 各12人

4 期日及び会場

班	第1日	第2日
A班 (小学校・小学部)	9月5日(木) 水戸生涯学習センター	2月4日(火) 教育研修センター
B班 (中学校・中学部)	9月13日(金) 水戸生涯学習センター	
C班 (高等学校・高等部)	9月18日(水) 水戸生涯学習センター	

※ 水戸生涯学習センター 〒310-0011 水戸市三の丸1丁目5-38（電話：029-228-1313）

※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

【A班（小学校・小学部）】

期日及び時間：9月5日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「授業改善の構想」 センター職員
	10:30	講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと学習評価」 大学教授
	12:30	昼食
	13:30	講義・演習「社会の中で働く思考力・判断力・表現力の育成～法曹界との連携を通じた公民分野を中心に～」 茨城県弁護士会員、水戸地方裁判所職員、センター職員
	15:30	リフレクション

※ 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（小学校、社会）第4日と合同開催とする。

※ 講義・演習「社会の中で働く思考力・判断力・表現力の育成」は、地理・歴史・公民の3分野を1年ごとに交代して実施する。

【B班（中学校・中学部）】

期日及び時間：9月13日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「授業改善の構想」 センター職員
	10:30	講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと学習評価」 大学教授
	12:30	昼食
	13:30	講義・演習「社会の中で働く思考力・判断力・表現力の育成～法曹界との連携を通じた公民分野を中心に～」 水戸地方検察庁検察官、水戸地方裁判所職員、センター職員
	15:30	リフレクション

※ 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（中学校、社会）第4日と合同開催とする。

※ 講義・演習「社会の中で働く思考力・判断力・表現力の育成」は、地理・歴史・公民の3分野を1年ごとに交代して実施する。

【C班（高等学校・高等部）】

期日及び時間：9月18日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「授業改善の構想」 センター職員
	10:30	講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと学習評価」 大学教授
	12:30	昼食
	13:30	講義・演習「社会の中で働く思考力・判断力・表現力の育成～法曹界との連携を通じた公民分野を中心に～」 水戸地方裁判所判事、センター職員
	15:30	リフレクション

※ 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、地理歴史・公民）第4日と合同開催とする。

※ 講義・演習「社会の中で働く思考力・判断力・表現力の育成」は、地理・歴史・公民の3分野を1年ごとに交代して実施する。

【全班】

期日及び時間：2月4日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業改善の共有～表現する場面でのパフォーマンス評価～」（3分散会） センター職員
	12:00	昼食
	13:00	研究協議（午前に同じ）
	14:00	講義・研究協議「社会の成り立ちから学び、よりよい社会を創造する力を育成する社会・地理歴史・公民科教育の在り方」 大学教授
	15:30	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり研修講座（算数・数学）

1 目的

指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業改善に関する講義・演習・研究協議を通して、思考力・判断力・表現力を育成する実践的な指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）
条件	A班：小学校、特別支援学校（小学部）で算数を担当する者 B班：中学校、特別支援学校（中学部）で数学を担当する者 C班：高等学校、特別支援学校（高等部）で数学を担当する者

3 定員

A班、B班、C班 各16人

4 期日及び会場

班	第1日	第2日
A班 (小学校・小学部)	9月4日(水) オンライン研修	2月20日(木) 教育研修センター
B班 (中学校・中学部)	9月13日(金) オンライン研修	2月6日(木) 教育研修センター
C班 (高等学校・高等部)	9月17日(火) オンライン研修	2月13日(木) 教育研修センター

※ オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

【A班（小学校・小学部）】

期日及び時間：9月4日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・研究協議「算数科における資質・能力を育む教材理解の在り方」 大学教授
	11:45	昼食
	12:45	講義・研究協議「今、求められる算数科の授業づくり～探究的な学び、教科等横断的な学び、生成AI～」 センター職員
	13:15	講義・研究協議「算数科における児童の学習改善と教師の指導改善につながる評価」 センター職員
	14:15	実践発表・研究協議「算数科の授業デザインの実践～比較検討におけるアウトプットに焦点を当てて～」 教諭、センター職員
	15:00	演習「授業改善の構想」（2分散会） センター職員
	15:50	リフレクション

※ 第1日は、オンライン研修とする。

期日及び時間：2月20日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「授業デザインの共有」（2分散会） センター職員
	12:00	昼食
	13:00	研究協議（午前に同じ）
	14:00	講義・研究協議「実生活の問題を解決する算数の学び」 大学教授（オンライン）
	15:45	リフレクション

【B班（中学校・中等部）】

期日及び時間：9月13日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・研究協議「数学科における資質・能力を育む教材の理解の在り方」 大学教授
	11:45	昼食
	12:45	講義・研究協議「今、求められる数学科の授業づくり～探究的な学び、教科等横断的な学び、生成AI～」 センター職員
	13:15	講義・研究協議「数学科における生徒の学習改善と教師の指導改善につながる評価」 センター職員
	14:15	実践発表・研究協議「数学科の授業デザインの実際～比較検討におけるアウトプットに焦点を当てて～」 教諭、センター職員
	15:00	演習「授業改善の構想」（2分散会） センター職員
	15:50	リフレクション

※ 第1日は、オンライン研修とする。

※ 講義・研究協議「数学科における資質・能力を育むための教材の見方」は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（中学校、数学）第4日と合同開催とする。

期日及び時間：2月6日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「授業デザインの共有」（2分散会） センター職員
	12:00	昼食
	13:00	研究協議（午前に同じ）
	14:00	講義・研究協議「社会で生きる数学の学び～教科等横断的な学びの視点から～」 大学教授（オンライン）
	15:45	リフレクション

※ 講義・研究協議「社会で生きる数学の学び～教科等横断的な学びの視点から～」は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（中学校、数学）第7日と合同開催とする。

【C班（高等学校・高等部）】

期日及び時間：9月17日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・研究協議「数学科における資質・能力を育む教材の理解の在り方」 大学教授
	11:45	昼食
	12:45	講義・研究協議「今、求められる数学科の授業づくり～探究的な学び、教科等横断的な学び、生成AI～」 センター職員
	13:15	講義・研究協議「数学科における生徒の学習改善と教師の指導改善につながる評価」 センター職員
	14:15	実践発表・研究協議「数学科の授業デザインの実際～比較検討におけるアウトプットに焦点を当てて～」 教諭、センター職員
	15:00	演習「授業改善の構想」（2分散会） センター職員
	15:50	リフレクション

※ 第1日は、オンライン研修とする。

※ 講義・研究協議「数学科における資質・能力を育むための教材の見方」は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、数学）第4日と合同開催とする。

期日及び時間：2月13日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「授業デザインの共有」（2分散会） センター職員
	12:00	昼食
	13:00	研究協議（午前に同じ）
	14:00	講義・研究協議「社会で生きる数学の学び～探究的な学びの視点から～」 大学教授（オンライン）
	15:45	リフレクション

※ 講義・研究協議「社会で生きる数学の学び～探究的な学びの視点から～」は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、数学）第7日と合同開催とする。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

担当校種の学習指導要領解説

- ・小学校学習指導要領解説 算数編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 数学編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 数学編 平成30年7月 文部科学省

令和6年度 思考力・判断力・表現力を育成する理科観察・実験研修講座

1 目的

観察・実験・研究協議と評価に関する講義を通して、思考力・判断力・表現力を育成する実践的な指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）講師（非常勤除く） 私立：教諭
条件	理科を担当する者

3 定員

48人

4 期日及び会場

8月20日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：8月20日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	観察・実験・研究協議（4分散会） 「エネルギー領域における思考力・判断力・表現力を育成する観察・実験の工夫」 「粒子領域における思考力・判断力・表現力を育成する観察・実験の工夫」 「生命領域における思考力・判断力・表現力を育成する観察・実験の工夫」 「地球領域における思考力・判断力・表現力を育成する観察・実験の工夫」 ※ 生徒のサイエンスコミュニケーションの能力にも触れる。 高等学校教諭、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	観察・実験・研究協議（午前に同じ）
	15:30	講義「理科観察・実験の評価」 リフレクション センター職員

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり研修講座（外国語（英語））

1 目的

指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業改善に関する講義・演習・研究協議を通して、思考力・判断力・表現力を育成する指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）
条件	外国語（英語）を担当する者

3 定員

中・特（中学部） 10人

高・特（高等部） 10人

4 期日及び会場

第1日：9月19日（木） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

第2日：1月21日（火） 同上

5 日程

期日及び時間：9月19日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	研究協議「考えや気持ちを伝え合う授業づくりの共有と検討」（3分散会） センター職員
	15:40	リフレクション

期日及び時間：1月21日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習「授業とつながるパフォーマンステスト」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	研究協議「パフォーマンステストの共有と検討」（3分散会） センター職員
	15:40	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 持続可能な社会を創る！SDG s 研修講座

1 目的

SDG s 達成に向けた取組についての講義や実践発表、演習・研究協議を通して、持続可能な社会の創り手となる人材を育成するために必要な資質と指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、養護教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

A班、B班 各40人

※ 申込時に希望班を選択する。

4 期日及び会場

第1日：A班 8月1日（木） JICA筑波 〒305-0074 つくば市高野台3-6（電話：029-838-1111）

B班 8月2日（金） 同上

第2日：共通 1月30日（木） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

5 日程

期日及び時間：【A班】8月1日（木）【B班】8月2日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・実践発表・研究協議「SDG s 達成に向けたグローバルな視点からの取組の実際」 JICA筑波職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・実践発表・研究協議（午前に同じ）
	14:00	演習・研究協議「SDG s アイテムを活用したESD実践の構想」 センター職員
	15:50	リフレクション

期日及び時間：【共通】1月30日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:50	講義・研究協議「学校と地域が連携したSDG s 達成に向けた教育の在り方」 大学教授
	11:20	実践発表「学校と地域が連携したSDG s 達成に向けた教育の実際」 教諭、センター職員
	12:20	昼食
	13:20	研究協議「SDG s アイテムを活用したESD実践の共有」 センター職員
	14:20	演習「教室から世界を考える オンラインスタディ・ツアー体験」 NPO法人CFFジャパニスタッフ
	15:50	リフレクション

※ 第2日は、オンライン研修とする。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 その他

第1日の昼食は、館内レストランを利用又は持参とする。

令和6年度 夏季自然体験活動研修講座

1 目的

自然博物館や環境科学センターの施設を活用した観察・実験、実習・調査などを通して、自然体験活動に係る指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、講師（非常勤除く） 私立：教頭、教諭、養護教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

A班（博物館を活用した理科教育） 30人

B班（河川観察等を通じた体験型環境教育） 24人

※ 申込時に希望班を選択する（両班への参加も可）

4 期日及び会場

A班：8月1日（木） ミュージアムパーク茨城県自然博物館 〒306-0622 坂東市大崎700（電話：0297-38-2000）

B班：8月22日（木） 茨城県霞ヶ浦環境科学センター 〒300-0023 土浦市沖宿町1853（電話：029-828-0960）

5 日程

【A班（博物館を活用した理科教育）】

期日及び時間：8月1日（木） 10時～16時（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	10:00	イントロダクション
	10:10	実習・講義「博物館野外における動物観察・博物館の活用例紹介」 自然博物館職員、センター職員
	11:20	実習・講義「博物館野外における植物観察・博物館の活用例紹介」 自然博物館職員、センター職員
	12:30	昼食・館内施設見学
	13:30	実習・講義「地学分野における体験・博物館の活用例紹介」 自然博物館職員、センター職員
	14:30	講義・演習「博物館における教育普及・授業における博物館の利用」 自然博物館職員、センター職員
	15:30	リフレクション

【B班（河川観察等を通じた体験型環境教育）】

期日及び時間：8月22日（木） 10時～16時（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	10:00	イントロダクション
	10:10	実習「河川中流の観察」（水辺の環境の観察、水質観察等（透視度、COD等）） 霞ヶ浦環境科学センター職員、センター職員
	12:30	昼食
	13:30	実習「河川源流の観察」、「河川河口付近の観察」 霞ヶ浦環境科学センター職員、センター職員
	15:30	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 共通

- ・昼食、飲み物
- ・雨具（合羽等）
- ・野外活動に適した服装（長袖、帽子等）
- ・（必要に応じて）デジタルカメラ、虫よけスプレー、採取したものを入れるファスナー付きビニル袋等

(2) 班別

A班（ミュージアムパーク茨城県自然博物館）：白衣

B班（茨城県霞ヶ浦環境科学センター）：長靴又はよごれてもよい靴

8 その他

- ・実習のため、動きやすい服装で参加する。
- ・茨城県霞ヶ浦環境科学センターと実習場所の往復は、茨城県霞ヶ浦環境科学センターのバスを利用する。

令和6年度 日常を探究にする研修講座

1 目的

日常の関心事の中から探究したいテーマを見だし、各教科や総合的な学習（探究）の時間において課題の設定から表現までのプロセスを体験することを通して、探究的な学びをデザインする力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校、県・市町村教育委員会、県教育事務所
職	国公立：校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）、指導主事等 私立：教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

100人

4 期日及び会場

8月23日（金） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

5 日程

期日及び時間：8月23日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	【公開講義 No.15】 講義・研究協議「児童生徒の日常を探究にする」 大学教授等
	11:45	昼食
	12:45	演習・研究協議「日常の中にテーマを見だし、探究し、表現する学びのデザイン」 センター職員
	15:30	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

- (1) 担当校種の学習指導要領解説 総則編
小・中学校（平成29年7月）、高等学校（平成30年7月）
- (2) 担当校種の学習指導要領解説 総合的な学習（探究）の時間編
小・中学校（平成29年7月）、高等学校（平成30年7月）
- (3) 総合的な学習の時間（小・中学校）あるいは総合的な探究の時間（高等学校）の年間計画
- (4) 担当教科・科目の教科書

令和6年度 児童生徒の学びを支える学校図書館活用研修講座

1 目的

学校図書館を活用した教育活動に関する実践的な内容・方法等について理解を深めることにより、児童生徒の学習活動の充実を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、司書教諭、講師（非常勤除く）、学校司書

3 定員

80人

4 期日及び会場

8月22日（木） オンライン研修（所属校等、研修等に専念できる場所）

5 日程

期日及び時間：8月22日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	【公開講義 No.14】 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの実現を促す学校図書館の在り方」 大学教授
	11:30	講義「学校と公共図書館の連携の在り方」 県立図書館職員
	12:15	昼食
	13:15	実践発表・研究協議「学校図書館を活用した学びの実践」 教諭
	14:30	演習・研究協議「学校図書館を活用した学び」 センター職員
	15:30	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

「事前課題」（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

令和6年度 体験する工業教育研修講座

1 目的

工業教育に関する理解を深めることを通し、他教科においても工業の見方・考え方を生かすための広い知見の獲得を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く） 私立：教諭
対象外	本年度、新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校、工業）を受講する者

3 定員

10人

4 期日及び会場

9月26日（木） キヤノン株式会社ものづくり推進センター 〒302-8501 取手市白山7-5-1（電話：03-3758-2111）

5 日程

期日及び時間：9月26日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・実習「ものづくり人材育成の実際～生産・管理技術現場の体験を通して～」 関連施設担当職員、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・実習（午前に同じ）
	15:45	リフレクション

※ 新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校、工業）第9日と合同開催とする。

※ 現地集合、現地解散。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 体験する商業教育研修講座

1 目的

商業教育に関する理解を深めることを通し、他教科においても商業の見方・考え方を生かすための広い知見の獲得を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く） 私立：教諭
対象外	本年度、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、商業）を受講する者

3 定員

13人

4 期日及び会場

9月6日（金）

午前：株式会社カスミつくばセンター 〒305-0831 つくば市西大橋599-1（電話：029-850-1850）

午後：株式会社カスミ中央流通センター 〒315-0056 かすみがうら市上稲吉2045-1（電話：029-831-2431）

5 日程

期日及び時間：9月6日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・実習「スーパーマーケットにおける販売戦略について」 関連施設担当職員、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・実習「スーパーマーケットにおける物流システムの実際」 関連施設担当職員、センター職員
	15:45	リフレクション

※ 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、商業）第4日と合同開催とする。

※ 現地集合、現地解散。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 ICTを活用した授業づくり研修講座

1 目的

学習支援ツールを中心としてICTの利用技術を習得することにより、個別最適な学びや協働的な学びの推進に資する。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く） 私立：教諭

3 定員

- A班（Google Workspace for Educationのコース 又は SKYMENU Classのコース） 50人
 B班（SKYMENU Classのコース 又は ロイロノート・スクールのコース） 50人
 C班（Google Workspace for Educationのコース 又は ロイロノート・スクールのコース） 50人
 ※ 申込時に希望班を選択する。

4 期日及び会場

- A班：7月24日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）
 B班：7月25日（木） 同上
 C班：7月26日（金） 同上

5 日程

期日及び時間：【A班】7月24日（水）【B班】7月25日（木）【C班】7月26日（金）
 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	研究協議・実践発表「授業における学習支援ツールの活用」 教諭、センター職員
	11:00	演習・実習「協働的な学びを促進するICT活用について」 教諭、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	演習・実習（午前に同じ）
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

- (1) 教材作成に必要な資料（教科書、資料集等）
 ※ 電子データ（動画、静止画ファイル等）を使用する場合は、Googleドライブにて持参
 (2) 教育情報ネットワークのメールアドレスとパスワード

令和6年度 新しい教育課題に対応するための教育のデジタル化研修講座

1 目的

教育のデジタル化に係る課題解決の糸口となる知識と技術の習得により、社会や学校のデジタル化の進展に対応する資質・能力を育成する。本年度のテーマは、生成A I の効果的活用を含む「新しい学びのスタイルの実現」とする。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

40人

4 期日及び会場

8月19日（月） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：8月19日（月） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	【公開講義 No25】 講義「新しい学びのスタイルの実現～I C T活用の視点から～」 学識経験者（オンライン）
	11:00	【公開講義 No26】 講義「新しい学びのスタイルの実現～デジタル・シティズンシップ教育の視点から～」 学識経験者（オンライン）
	12:00	昼食
	13:00	実践発表・研究協議「新しい学びのスタイルの実現～教室のリアルから生成A I等の活用を学ぶ～」 教諭、センター職員
	14:10	演習・研究協議「新しい学びのスタイルの実現～生成A I等を活用した授業づくりを通して～」 教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

教育情報ネットワークのメールアドレスとパスワード

令和6年度 義務教育段階におけるプログラミング教育研修講座

1 目的

プログラミング的思考を身に付けるための学習活動について理解を深め、実践力を身に付けることにより、学校段階を貫いたプログラミング教育の体制づくりに資する。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭

3 定員

45人

※ 実習・演習については、Aコース（小学校段階）、Bコース（中学校 技術・家庭科〔技術〕）のいずれかを申込時に選択する。

4 期日及び会場

8月8日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：8月8日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	演習・研究協議「教育のデジタル化と義務教育段階におけるプログラミング教育」 センター職員 実践発表「義務教育段階におけるプログラミング教育の実践」 教諭
	11:00	実習・演習「義務教育段階におけるプログラミング教育の実践」 【Aコース（小学校段階）】 教諭、センター職員 【Bコース（中学校 技術・家庭科〔技術〕）】 教諭、センター職員
	12:10	昼食
	13:10	実習・演習（午前に同じ）
	14:30	演習・研究協議「プログラミング教育の授業づくり」 教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

「研修講座資料室」に掲載する。

令和6年度 「不登校」を考える研修講座

1 目的

「不登校」の現状を理解し、「不登校」に対する教員の対応力向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く） 私 立：教諭、養護教諭、養護助教諭、講師（非常勤除く）
対象外	過去に本講座を受講した者

3 定員

72人

4 期日及び会場

9月4日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：9月4日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	【公開講義 No28】 講義・演習「学びの保障に向けた支援の充実」 大学教授
	11:45	昼食
	12:45	演習「こどもの社会的自立に向けた支援」 センター職員
	14:00	研究協議「こどもの社会的自立に向けたチーム支援」（6分散会） センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 その他

講座前日までに、「生徒指導提要」（文部科学省 令和4年12月）の「第10章 不登校」を読んでおく。

令和6年度 思春期のこどもと保護者の心に寄り添うソーシャルスキル研修講座

1 目的

思春期の特徴を理解し、児童生徒や保護者と信頼関係を築きながら、児童生徒の成長を支援するためのソーシャルスキルの向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、養護教諭、養護助教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

72人

4 期日及び会場

10月9日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：10月9日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	【公開講義 No29】 講義・演習「思春期のこどもの心の危機と向き合う」 大学教授（オンライン）
	11:45	昼食
	12:45	演習「こどもと保護者の心に寄り添うためのソーシャルスキルの活用」（6分散会） センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 教育相談（初級）研修講座

1 目的

話を聴く技法や信頼関係を築く態度についての理論や方法を学ぶことを通し、カウンセリングに関する資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く）
条件	全日程の受講が可能な者（全日程を受講した者が受講修了となる）
対象外	以下のいずれかの講座を受講した者 ・平成22年度～平成28年度10年経験者研修講座の選択研修「教育相談」 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座の選択研修「教育相談」 ・本講座

3 定員

A班、B班 各56人

※ 申込時に希望班を選択する。

4 期日及び会場

班	第1日	第2日
A班	7月25日（木） 教育研修センター	11月22日（金） 教育研修センター
B班	8月19日（月） 教育研修センター	11月29日（金） 教育研修センター

※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	「面接の基本的な技法（初級編）」

期日及び時間：【A班】7月25日（木）【B班】8月19日（月） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	【公開講義 No27】 講義・演習「カウンセリングの基礎」 大学教授
	11:45	昼食
	12:45	演習「個別面接の基礎1～話を聴く技法と態度を中心に～」（7分散会） センター職員
	15:45	リフレクション

期日及び時間：【A班】11月22日（金）【B班】11月29日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	演習「個別面接の基礎2～ロールプレイを通しての実践～」（14分散会） 教諭又は養護教諭、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	研究協議「個別面接のロールプレイを基にした検討」（14分散会） 教諭又は養護教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

第2日：個別面接を録音・再生するためのICレコーダー等

令和6年度 教育相談（中級）研修講座

1 目的

問題を明らかにする技法や関わりについての理論と方法を学ぶことを通し、校内におけるカウンセリングコーディネーターとしての素養を身に付ける。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く）
条件	以下のアとイをともに満たす者 ア 以下のいずれかの講座を受講した者で、全日程の受講が可能なる者（全日程を受講した者が受講修了となる） ・教育相談（初級）研修講座 ・平成22年度～平成28年度10年経験者研修講座の選択研修「教育相談」 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座の選択研修「教育相談」 イ 第2日において、児童生徒又は保護者と対面の個別面談をし、その録音と記録（逐語記録）を持参することが可能な者
対象外	過去に本講座を受講した者

3 定員

40人

4 期日及び会場

第1日：9月19日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

第2日：1月16日（木） 同上

5 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	「面接の基本的な技法（中級編）」

期日及び時間：9月19日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	演習「個別面接の実際～話し手の自己探索を支援する問いかけの技法を中心に～」 （10分散会） 教諭又は養護教諭、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	研究協議「個別面接のロールプレイを基にした検討」（10分散会） 教諭又は養護教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

期日及び時間：1月16日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・演習「カウンセリングにおけるアセスメント」 大学教授
	11:45	昼食
	12:45	研究協議「個別面接の実践記録を基にした検討」（10分散会） 教諭又は養護教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

- (1) 第1日：個別面接を録音・再生するためのICレコーダー等
- (2) 第2日：逐語記録 5部（A4判、横書き、両面印刷）、録音データ及び録音データを再生するための機器

令和6年度 教育相談（上級）研修講座

1 目的

問題を解決に導く技法や関わりについての理論と方法を学ぶことを通し、地域におけるカウンセリングコーディネーターとしての素養を身に付ける。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、講師（非常勤除く）
条件	以下のアとイをともに満たす者 ア 以下のいずれかの講座を受講した者で、全日程の受講が可能な者（全日程を受講した者が受講修了となる） ・教育相談（中級）研修講座 ・他の機関が主催した、教育相談（中級）研修講座と同等若しくはそれ以上の研修 イ 第3日において、児童生徒又は保護者と対面の個別面談をし、その録音と記録（逐語記録）を持参することが可能な者
対象外	過去に本講座を受講した者

3 定員

24人

4 期日及び会場

第1日：7月5日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）
第2日：10月2日（水） 同上
第3日：1月21日（火） 同上

5 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	「面接の基本的な技法（上級編）」

期日及び時間：7月5日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・演習「カウンセリングの実践」 大学教授
	11:45	昼食
	12:45	演習「個別面接の実際1～問題を解決に導く問いかけの技法を中心に～」（6分散会） センター職員
	15:45	リフレクション

期日及び時間：10月2日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・演習「カウンセリングの応用」 大学教授
	11:45	昼食
	12:45	演習「個別面接の実際2～ロールプレイを通しての実践～」（6分散会） センター職員
	14:10	研究協議「個別面接のロールプレイを基にした検討」（6分散会） センター職員
	15:45	リフレクション

期日及び時間：1月21日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第3日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「個別面接の実践記録を基にした検討」（6分散会） センター職員
	12:00	昼食
	13:00	研究協議（午前に同じ）
	15:40	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

- (1) 第2日：個別面接を録音・再生するためのICレコーダー等
- (2) 第3日：逐語記録 5部（A4判、横書き、両面印刷）、録音データ及び録音データを再生するための機器

令和6年度 問題行動等を未然防止！こどもを支える教育相談研修講座

1 目的

問題行動等を未然防止するために、児童生徒の成長を支えるカウンセリングの理論と方法を学び、学校生活の様々な場面で児童生徒を支援できる資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

72人

※ 午後の演習については、Aコース（構成的グループエンカウンター）、Bコース（クラス会議）のいずれかを申込時に選択する。

4 期日及び会場

7月2日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	「問題行動等の未然防止の理論と方法」

期日及び時間：7月2日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習「授業に生かすカウンセリング」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	【Aコース（構成的グループエンカウンター）】 演習「構成的グループエンカウンターによるこどものよりよい人間関係づくり」 センター職員 ----- 【Bコース（クラス会議）】 演習「クラス会議によるこどもが安心できる学級づくり」 センター職員 ※ “クラス会議”はアドラー心理学に基づき学級内の児童生徒が、心理的安全性が担保された中でフラットな立場で語り合うことにより良好な人間関係を築く手法として紹介されてきた一方、クラスの活動の場としての本来の学級会（クラスミーティング）との混同も指摘されているところ。しかし、上記のコマにおいては、平成26・27年の研究テーマの成果発表として“クラス会議”との呼称を使用しています。
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 自立活動指導力向上研修講座

1 目的

自立活動の指導に関する講義及び演習等を通して、専門的な知識を深め、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校
職	教諭、講師（非常勤除く）
条件	特別支援学級又は通級指導教室を担当している者（新任者除く）
対象外	過去に本講座を受講した者

3 定員

120人

4 期日及び会場

第1日：8月8日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

第2日：12月12日（木） 同上

5 日程

期日及び時間：8月8日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	【公開講義 No.30】 講義・演習「学びを支える自立活動～困難さを改善・克服するために～」 学識経験者
	12:00	昼食
	13:00	実践発表「自立活動の授業の実際」 教諭、センター職員
	14:10	演習「自立活動プロセスシートの作成～実態把握から指導の手立ての検討～」 (分散会) 教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

期日及び時間：12月12日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	演習「自立活動の指導の実際」 センター職員
	10:40	研究協議「学びを支える自立活動の授業実践～プロセスシートを踏まえて～」 (分散会) センター職員
	12:30	昼食
	13:30	研究協議・演習「学びを支える自立活動の授業づくり～授業改善を目指して～」 (分散会) センター職員
	15:50	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 2日間共通

- ・「小・中学校の先生のための自立活動の指導プロセス解説『すんなり自立活動』」及び「自立活動実践事例集」をセンターWebページからダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して持参する。

(2) 第2日

- ・第1日に作成したプロセスシートに実践内容まで記入したワークシート、実践で用いた教材教具等
- ・特別支援学校学習指導要領解説自立活動編 平成30年3月 文部科学省

令和6年度 読み書き困難のある児童生徒への指導法研修講座

1 目的

読み書き困難のある児童生徒への具体的な指導方法に関する講義及び演習等を通して、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、国公立特別支援学校
職	教諭、講師（非常勤除く）
対象外	過去に本講座を受講した者

3 定員

140人

※ 演習・研究協議については、第1分科会（ひらがな・漢字の指導）、第2分科会（文・文章の指導）、第3分科会（アルファベット・英単語の指導）のうち二つの分科会を申込時に選択する。

4 期日及び会場

11月1日（金） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

5 日程

期日及び時間：11月1日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	【公開講義 No.34】 講義・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	実践発表「読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫」 教諭、センター職員
	14:10	演習・研究協議「読み書き困難のある児童生徒への指導の実際」（3分科会） 【第1分科会（ひらがな・漢字の指導）】 教諭、センター職員 【第2分科会（文・文章の指導）】 センター職員 【第3分科会（アルファベット・英単語の指導）】 教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

※ 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）第5日【選択研修】と合同開催とする。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 通常の学級における特別支援教育研修講座

1 目的

小・中・高等学校の通常の学級における授業、学級運営における特別な教育的支援を要する児童生徒への支援の在り方について、知識を深め、資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校
職	教諭、講師（非常勤除く）
条件	通常の学級を担任している者
対象外	・本年度、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（小学校、中学校、高等学校）を受講する者 ・本年度、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校、中学校、高等学校）を受講する者 ・令和5年度に本講座を受講した者

3 定員

110人

※ 演習・研究協議については、第1分科会（学習の課題）、第2分科会（行動の課題）のいずれかを申込時に選択する。

4 期日及び会場

7月29日（月） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：7月29日（月） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習「通常の学級における特別支援教育～こどもたちの多様なニーズの理解と支援～」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	実践発表「特別支援教育の視点を踏まえた学級マネジメントの実践」 教諭、センター職員
	14:15	演習・研究協議「特別な教育的支援を必要とする児童生徒への対応」（2分科会） 【第1分科会（学習の課題）】 教諭、センター職員 【第2分科会（行動の課題）】 教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和6年度 特別支援教育の専門性を高めるための研修講座

- 1 目的
地域と連携した特別支援教育に関する専門的な知識を深め、資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）
条件	小・中：特別支援学級・通級指導教室を2年以上担当した者 高：通級指導教室を2年以上担当した者
対象外	・本年度、新規採用教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校）を受講する者 ・本年度、新任特別支援学級・通級指導教室担当者研修講座を受講する者 ・令和4年度までに特別支援学級・通級指導教室担当者指導力向上研修講座を受講した者

- 3 定員
70人

4 期日及び会場

第1日：8月20日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）
第2日：11月20日（水） 同上

5 日程

期日及び時間：8月20日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	【公開講義 No.31】 講義・演習「グレーゾーンの児童生徒への支援の在り方～二次障害を防ぐために～」 学識経験者（オンライン）
	12:00	昼食
	13:00	研究協議「障害のある児童生徒を理解するためのアセスメント」 センター職員
	15:00	研究協議「児童生徒理解を支援に生かすために」 センター職員
	15:50	リフレクション

期日及び時間：11月20日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	10:00	【公開講義 No.35】 講義・演習「ICTを活用した特別支援教育における授業づくり（基礎編）」 大学教授（オンライン）
	12:00	昼食
	13:00	実践発表「ICTを活用した授業の工夫」 教諭、センター職員
	14:10	研究協議「ICTを活用した授業づくり」（2分科会） 教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

(11) 公開講義

- ・ 研修講座や教育研究において実施する主に外部講師による講義を公開します。
- ・ 研修講座の受講ではなく、講義の聴講として参加いただきます。研修講座の受講認定にはなりません。
- ・ 募集に関する詳細は、令和6年4月下旬にお知らせします。

教職教育に関する公開講義

番号	講義名	実施日	時間	講師名	主な内容	対象校種	実施形態	募集定員
No.01	一人一人が育ち、集団をよりよくするための特別活動	8月19日(月)	13:10～14:40	文部科学省初等中等教育局視学官 安部 恭子	今この時期だからこそ特別活動の意義が見直され、活動内容が注目されています。文部科学省初等中等教育局視学官から特別活動の最新の動向を伺うとともに、県内各地で積極的に特別活動に取り組んでいる先生の実践を共有し、演習を行うことで、特別活動の大切さやこれから大切になっていくことについて理解を深めます。	小中高特	オンライン	100
No.02	道徳教育と主体的・対話的で深い学びに向けた道徳科の授業	10月29日(火)	9:40～11:10	文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 堀田 竜次	教育活動全体を通じて行う道徳教育と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた道徳科の授業改善について理解を深め、授業力の向上につなげます。	小中高特	オンライン	100

教科教育に関する公開講義

番号	講義名	実施日	時間	講師名	主な内容	対象校種	実施形態	募集定員
No.03	これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～こどもたちのウェルビーイングを高めるために～	6月7日(金)	9:45～11:15	大妻女子大学教授 澤井 陽介	今、教育を巡る社会背景がどのようになっているのか、今後どのような資質・能力が求められるのか、教科指導の観点からご講義いただきます。	小	オンライン	50
No.04	これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～こどもたちのウェルビーイングを高めるために～	6月20日(木)	10:45～12:15	横浜国立大学名誉教授 高木 展郎	今、教育を巡る社会背景がどのようになっているのか、今後どのような資質・能力が求められるのか、教科指導の観点からご講義いただきます。	高	オンライン	50
No.05	主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業改善	6月25日(火)	9:45～11:45	敬愛大学教授 向後 秀明	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について、豊富な事例を基にご講義いただきます。	高	オンライン	50
No.06	これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～こどもたちのウェルビーイングを高めるために～	6月27日(木)	10:45～12:15	京都市総合教育センター指導室長 東良 雅人	今、教育を巡る社会背景がどのようになっているのか、今後どのような資質・能力が求められるのか、教科指導の観点からご講義いただきます。	中	オンライン	50
No.07	主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業改善	7月10日(水)	9:45～11:45	熊本大学特任教授 前田 康裕	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について、豊富な事例を基にご講義いただきます。	中	オンライン	50
No.08	主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業改善	7月12日(金)	9:45～11:45	福島大学准教授 鳴川 哲也	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について、豊富な事例を基にご講義いただきます。	小	オンライン	50
No.09	対話型鑑賞の可能性	7月26日(金)	10:00～12:00	武蔵野美術大学教授 三澤 一実	茨城県近代美術館を会場にして実施します。県内でも実践が広がっている対話型鑑賞。対話型鑑賞を通して育まれる資質・能力や可能性について、朝鑑賞等の事例を基にご講義いただきます。	小中高特	集合	100
No.10	思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと評価	8月19日(月)	10:00～12:00	専修大学教授 山下 直	指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの実現に関して理解を深め、実践的な指導力の向上を図ります。	中高特	オンライン	30
No.11	主体的・対話的で深い学びの実現を促す国語科の授業づくり	8月20日(火)	10:00～12:00	大妻女子大学教授 樺山 敏郎	主体的・対話的で深い学びを実現する国語科の授業づくりについての理解を深め、授業力向上につなげます。	小中特	オンライン	30
No.12	主体的・対話的で深い学びの実現を促す家庭科の授業づくり	8月21日(水)	10:00～11:30	茨城大学教授 佐藤 裕紀子	主体的・対話的で深い学びを実現する家庭科の授業づくりについての理解を深め、授業力向上につなげます。	小中高特	オンライン	50
No.13	技術・家庭科〔技術〕教育の現状と課題	8月22日(木)	10:00～11:30	文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 渡邊 茂一	技術・家庭科〔技術分野〕の現状と課題を踏まえ、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりについて理解を深め、授業力向上につなげます。	中	オンライン	50

番号	講義名	実施日	時間	講師名	主な内容	対象校種	実施形態	募集定員
No.14	主体的・対話的で深い学びの実現を促す学校図書館の在り方	8月22日(木)	10:00～11:30	放送大学客員教授 堀川 照代	学校図書館を活用した教育活動に関する実践的な内容や方法を学び、児童生徒の学習活動の充実を目指します。	小中高特	オンライン	20
No.15	児童生徒の日常を探究にする	8月23日(金)	9:45～11:45	認定NPO法人カタリバ 学校支援担当	児童生徒の日常の中に探究テーマとの出会いやヒントとなるきっかけを見出し、総合的な学習(探究)の時間、あるいは各教科における探究的な学びのデザインのために必要なことについて学んでいきます。	小中高特	オンライン	50
No.16	国語科の授業づくりと評価の改善	9月13日(金)	10:00～12:00	国立教育政策研究所学力 調査官・教育課程調査官 加藤 咲子	中学校国語科における、指導と評価の一体化について考えていきます。育成を目指す資質・能力を見取るための評価問題から、授業づくりや授業改善について学びます。	中特	オンライン	50
No.17	英語発信力向上を目指す授業づくり	10月2日(水)	10:00～11:30	文部科学省初等中等教育 局教科調査官 入之内 昌徳	小学校外国語活動・外国語科、中学校外国語(英語)科においては、言語活動を通して、児童生徒のコミュニケーションを図る資質・能力を育成することが求められています。英語を使いながら学ぶ帰納的なプロセスを重視し、「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の発信力の向上を目的とした言語活動の設定について、文部科学省初等中等教育局調査官から全国の先進的な取組をご紹介します。	小中	オンライン	20
No.18	思考力・判断力・表現力を育成する学習指導と評価	1月16日(木)	13:30～15:30	専修大学教授 山下 直	指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの実現に関して理解を深め、実践的な指導力の向上を図ります。	中高特	オンライン	30
No.19	創造的な学びに着目した理科教育	2月6日(木)	13:30～15:30	玉川大学教授 久保田 善彦	マルチメディア教材やバーチャルリアリティ(VR)、仮想現実(AR)といった新しいテクノロジーを活用して教育におけるさまざまな問題の解決や改善を考えていく講義です。	中	オンライン	50
No.20	美術科の授業改善の共有	2月13日(木)	9:40～12:30	茨城県教育研修センター 指導主事	中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座(中学校、美術)(高等学校、美術・書道)の研修を通してつくり上げ、実践した授業の発表を行います。	小中高特	オンライン	50
No.21	創造的思考力を育むアート	2月13日(木)	13:30～15:30	武蔵野美術大学准教授 石川 卓磨	デザイン思考やアート思考など、これからの社会で求められるアートの力について、学校教育ではどのように育むことが大切であるか、学校と社会とのつながりについて学びます。	小中高特	オンライン	50
No.22	創造的な学びに着目した理科教育	2月13日(木)	13:30～15:30	日本大学教授 野内 頼一	新しい時代に必要とされる資質・能力を育成するために、高校理科教員は何かができるのか。様々な事例を参考に、これからの理科教育の在り方を考えます。	高	オンライン	20
No.23	豊かな情操を培う造形遊び	2月21日(金)	13:30～15:30	鳴門教育大学大学院教授 山田 芳明	小学校図画工作科における「造形遊び」の意義や魅力、授業づくりの工夫などについて、事例を基に学びます。	小中高特	オンライン	50

情報教育に関する公開講義

番号	講義名	実施日	時間	講師名	主な内容	対象校種	実施形態	募集定員
No.24	新しい時代における子供たちの学びのスタイルを実現する一人1台端末の活用について	5月21日(火)	10:00～11:40	茨城大学教育学部 毛利 靖	新しい時代における子供たちの学びのスタイルとは何か、その際に、一人1台端末環境におけるICTはどのような役割を担っていくのか。新しい時代における子供たちの学びのスタイルを実現するための、一人1台端末の効果的な活用について理解を深めます。	小中高特	オンライン	100
No.25	新しい学びのスタイルの実現～ICT活用の視点から～	8月19日(月)	9:45～11:00	茨城大学准教授 小林 祐紀	本講座は、社会や学校のデジタル化の進展による新しい教育課題に対応するため、教育のデジタル化に関する基礎的な知識と技術の習得を図ることを目的としており、本年度のテーマは「新しい時代における学びのスタイル」です。本講義では、ICTの活用の視点から理解を深めます。	小中高特	オンライン	100
No.26	新しい学びのスタイルの実現～デジタル・シティズンシップ教育の視点から～	8月19日(月)	11:00～12:00	一般社団法人メディア教育研究室 今度 珠美	本講座は、社会や学校のデジタル化の進展による新しい教育課題に対応するため、教育のデジタル化に関する基礎的な知識と技術の習得を図ることを目的としており、本年度のテーマは「新しい時代における学びのスタイル」です。本講義では、デジタル・シティズンシップ教育の視点から理解を深めます。	小中高特	オンライン	100

教育相談に関する公開講義

- ・教育相談に関する公開講義は、全てオンデマンド動画配信となります。
- ・実施日は研修講座の実施日であり、講義動画を収録・編集した上で、後日配信いたします。

番号	講義名	実施日	時間	講師名	主な内容	対象校種	実施形態	募集定員
No.27	カウンセリングの基礎	7月25日(木) 8月19日(月) ※動画は 後日配信	9:45～ 11:45	筑波大学教授 杉江 征	相談者と信頼関係を築く態度について理解するとともに、話の聴き方の技法について学びます。これまで、茨城いのちの電話等の研修などを担当してきた教授の講義です（演習は視聴できません）。指定された期間内に動画を視聴するオンデマンド配信となります。	小中高特	オンデマンド	制限なし
No.28	学びの保障に向けた支援の充実	9月4日(水) ※動画は 後日配信	9:45～ 11:45	茨城大学准教授 金丸 隆太	不登校児童生徒数が増加し、学校内外の専門機関で相談・支援等を受けていない児童生徒も多く、喫緊の教育課題になっています。学校臨床を専門に研究し、長年に渡ってSCとして県内の児童生徒保護者の相談に関わっている講師の講義・演習を通して、今求められる支援について考えましょう。指定された期間内に動画を視聴するオンデマンド配信になります。	小中高特	オンデマンド	制限なし
No.29	思春期のこどもの心の危機と向き合う	10月9日(水) ※動画は 後日配信	9:45～ 11:45	東京都立大学准教授 勝又 陽太郎	『学校における自殺予防教育プログラムGRIP』の編者でもあり、自殺、自傷行為、自殺予防教育を専門とする講師から、思春期の児童生徒の特徴と適切な関わり方について学び、理解を深めましょう。指定された期間内に動画を視聴するオンデマンド配信になります。	小中高特	オンデマンド	制限なし

特別支援教育に関する公開講義

番号	講義名	実施日	時間	講師名	主な内容	対象校種	実施形態	募集定員
No.30	学びを支える自立活動～困難さを改善・克服するために～	8月8日(木)	10:00～ 12:00	江東区立豊洲北小学校統 括校長 喜多 好一	自立活動の指導における第一人者である喜多先生から自立活動について、基本的な考えについて学びます。児童生徒の困難さを改善・克服するためには、実態把握や目標の設定などどのように行えばよいのかなどについて考えます。	小中高	オンライン	100
No.31	グレーゾーンの児童生徒への支援の在り方～二次障害を防ぐために～	8月20日(火)	10:00～ 12:00	特別支援教育ネット代表 小栗 正幸	発達障害の症状がいくつか認められるものの、診断までには至っていない「グレーゾーン」の児童生徒がいます。グレーゾーンの児童生徒の二次障害を防ぐためには、どのような支援を行うとよいのかについて、法務技官としての経験が豊富な小栗先生より学びます。	小中高特	オンライン	100
No.32	障害の重い児童生徒の理解と支援	9月19日(木)	10:00～ 12:00	国立重度知的障害者総合 施設のぞみの園研究部長 日詰 正文	障害の重い児童生徒の中でも特に「強度行動障害」について学びます。「強度行動障害」の児童生徒についての理解を深め、日々悩まれている先生方の支援のヒントがみつかるはずです。	小中高特	オンライン	100
No.33	自立活動の指導における工夫・改善	10月11日(金)	10:00～ 12:00	文教大学准教授 北川 貴章	特別支援学校における自立活動について学びます。特別支援学校での最新の理論と実践に基づき、自立活動について理解を深めます。	特	オンライン	100
No.34	読み書き困難のある児童生徒への指導	11月1日(金)	10:00～ 12:00	筑波大学助教 三孟 亜美	全般的に知的発達に遅れがないのに読み書き困難がある「発達性ディスレクシア」について学びます。読み書き困難の背景や、児童生徒への具体的な指導方法について理解を深めます。	小中高特	オンライン	50
No.35	I C Tを活用した特別支援教育における授業づくり（基礎編）	11月20日(水)	10:00～ 12:00	島根県立大学准教授 水内 豊和	発達支援におけるI C T活用、アクセシビリティ支援を研究テーマとしている水内先生から、I C Tを活用した特別支援教育における授業づくりの基礎を学びます。	小中高特	オンライン	100

(12) 特別研修

ア 長期研修（内地留学）

a 目的

長期間の研修を通して、より広い視野に立った教員としての資質・能力の向上を図る。

b 実施期間及び研究分野

3か月：令和6年9月25日（水）から令和6年12月24日（火）まで

6か月：令和6年9月25日（水）から令和7年3月24日（月）まで

研究分野	実施期間
○各教科に関する研究 国語、社会、地理歴史、公民、算数、数学、理科、生活、体育、保健体育、家庭、技術・家庭、音楽、図画工作、美術、芸術（音楽、美術）、外国語（英語）、情報、農業、工業、商業	3か月
○小学校における外国語活動に関する研究	3か月
○総合的な学習（探究）の時間に関する研究	3か月
○生徒指導に関する研究	3か月
○教育の情報化（ICTを活用した授業研究、プログラミング教育、ネットワークの教育利用、情報モラルの指導、校務の情報化、事例研究）に関する研究	3か月、6か月
○道徳に関する研究	3か月、6か月
○特別活動に関する研究	3か月、6か月
○教育課題（組織マネジメント、社会に開かれた教育課程、学校評価、カリキュラム・マネジメント、校内研修等）に関する研究	3か月、6か月
○学級（ホームルーム）経営に関する研究	3か月、6か月
○教育相談（人間関係づくり、個別対応・集団対応の在り方等）に関する研究	3か月
○特別支援教育（障害のある子供の教育相談、特別支援教育に係る調査研究及び教材開発等）に関する研究	3か月、6か月

イ スキルアップ研修

a 目的

指導に課題や不安のある教員に対して、課題に応じた月1回の専門的な研修を実施することにより、指導力の向上をねらいとする校内研修の充実に向けて支援する。

b 研修期間

研修期間は4月～9月の6か月間とし、通所研修は、計6回とする。

c 研修方法

研修は、校内研修を基本とし、教育研修センターへの通所研修を月1回実施する。

ウ 指導改善研修

a 目的

学習指導、生徒指導及び学級（ホームルーム）経営上等に課題のある教員に対して、課題に応じた研修を実施することにより、指導力の向上に向けて支援する。

b 研修期間

研修期間は原則として1年間、研修の開始時期は原則として4月とする。

c 研修方法

教育研修センターで実施する。ただし、研修の内容等によっては、所属校、所属校以外の学校及び学校以外の教育機関等においても実施する。

2 教育研究に関する事業

(1) 目的

学校との協力による実践的研究から効果的な指導の在り方を追究し、研究成果の提供等を通して学校の教育活動を支援する。

(2) 研究主題

研究分野	研究主題
教 職 に 関 す る 研 究	学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育－「できること」「意義を感じること」「したいこと」を大切にする探究的な学びを通して－
教 科 に 関 す る 研 究	自立した学習者を育む学校
教育の情報化に関する研究	新しい時代における子供たちの学びのスタイルを実現する一人1台端末の活用に関する研究
教育相談に関する研究	(令和7年度に再開する)
特別支援教育に関する研究	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学びに向かう力を育む支援の在り方－自己の理解と行動を調整する力を引き出す授業実践を通して－

(3) 研究事業

研究分野	教職に関する研究
研 究 主 題	学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育－「できること」「意義を感じること」「したいこと」を大切にする探究的な学びを通して－
研 究 の 内 容	中央教育審議会 諮問・答申等や学習指導要領に基づき、有識者から指導・助言を受けながら、研究協力校と茨城県教育研修センター教職教育課指導主事で、学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育について研究する。
研 究 期 間	令和5年4月～令和7年3月（2か年事業の2年次）
研 究 方 法	年間4回の研究協議会を設定し、学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育について協議する。うち1回は、有識者から指導・助言を受ける。担当指導主事による年間4回程度の学校訪問を行い、授業参観、研究協議等における指導・助言により研究を推進する。
成 果 の 普 及	令和6年度研究報告書作成及び発表

研究分野	教科に関する研究
研 究 主 題	自立した学習者を育む学校
研 究 の 内 容 (教科)	新学習指導要領の趣旨に基づき、令和の日本型学校教育の構築を目指した学びの実現に向け、多様な子供一人一人が自立した学習者として学び続けていけるよう、学校として授業改善に取り組む研究を行うことで、各学校での組織的な授業づくりの改善・充実に資する。
研 究 期 間	令和5年4月～令和7年3月（2か年事業の2年次）
研 究 方 法	各教科で校内研究（研修）の担当者と共同して、2年間にわたり、年4回の研究協議会を開催する。関係機関等との連携大学教授等、研究協力校との連携を図りながら、研究を推進する。
成 果 の 普 及	令和6年度研究報告書作成及び発表

研究分野	教育の情報化に関する研究
研究主題	新しい時代における子供たちの学びのスタイルを実現する一人1台端末の活用に関する研究
研究の内容	新しい時代における子供たちの学びのスタイルを実現する上での課題把握と、それらを解決する方策について構想する。そして、その構想に基づき、新しい時代における子供たちの学びのスタイルの実践を提案し、一人1台端末の効果的な活用について探究する。
研究期間	令和6年4月～令和8年3月（2か年事業の1年次）
研究方法	1年次には、研究協力員を委嘱して研究協議会4回と授業研究会1回を開催し、子供たちの学びのスタイルや新しい学びのスタイルを実現する一人1台端末の活用に関する実態調査を行い、課題を把握する。そして、その調査結果を踏まえ、新しい時代における子供たちの学びのスタイルについて検討し、授業研究で検証する。2年次には、新しい学びのスタイルを実現する一人1台端末の効果的な活用について検証する。さらに、本研究の成果をまとめるとともに、その成果を広く公表する。
成果の普及	令和7年度研究報告書作成及び発表

研究分野	教育相談に関する研究（令和7年度に再開する）
------	------------------------

研究分野	特別支援教育に関する研究
研究主題	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学びに向かう力を育む支援の在り方 ー自己の理解と行動を調整する力を引き出す授業実践を通してー
研究の内容	小・中・高等学校の知的、自閉症・情緒障害特別支援学級及び通級指導教室並びに知的障害特別支援学校の児童生徒に対して、自己を理解し、調整を促すための学びシートや手引き等のツールの開発・活用を通して、学びに向かう力を育むための支援の在り方について提案する。
研究期間	令和5年4月～令和7年3月（2か年事業の2年次）
研究方法	大学教授、研究協力員との連携を図りながら、2年間にわたり、年4回の研究協議会を開催する。各協力員による授業実践や指導主事による授業参観や研究協議を重ねながら研究を推進する。
成果の普及	令和6年度研究報告書作成及び発表

(4) 教育研修センター研究発表会

趣 旨	茨城県教育研修センターにおける研究成果を全県の教育関係者に向けて発表し、その理解と普及を図り、本県教育の向上に資する。
主催・会場	茨城県教育研修センター
期 日	令和6年8月5日（月）、6日（火）
発表内容	教職の情報化に関する研究、教育相談に関する研究
参加対象	県内の小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の教職員、県・市町村教育委員会の職員、就学前教育を担当する教職員、県内大学の大学生・大学院生及び全国の教育関係者

3 研修支援に関する事業

担当：教育相談課
直通：0296-78-3219

- (1) 目的 喫緊の課題解決を必要とする学校等の研修会を中心に指導主事等を派遣し助言等を行うことにより、OJTを基礎に、各種研修、指導教諭等による研修会及びそれらの受講者による校内での成果報告等を超える機会として、教職員集団の育成に資する。
- (2) 対象 学校、複数の学校のグループ、市町村教育委員会（「学校等」と表す）
- (3) 訪問期間 令和6年6月3日（月）から令和7年1月31日（金）まで
- (4) 訪問者 教育研修センター指導主事、主査、茨城大学教職大学院担当教員
※ 21の学校運営については、原則として教育研修センター指導主事等と茨城大学教職大学院担当教員の双方が訪問する。
- (5) 応募要件 **研修体制**
ア 対象分野について、年間の研修計画及びOJT等の体制が構築されている。
イ 校内研修会の形態を基本とし、参加人数は場合によりその都度少なくとも5人以上とする。
ウ できるだけ、市町村単位等を含め、他校との合同開催とする。なお、市町村立学校で構成する複数学校のグループは市町村教育委員会を通して申し込むこと。
エ 指導主事等による講義のみを実施する派遣は行わない。
オ 国・県・市町村の研究推進校や教育研究会等の研究団体の研究指定校等になっていない。
カ 学校等は、当該研修後に、成果について振り返り、検証報告書を提出する。
- 訪問の回数等**
ア 市町村立学校は、1分野の申込みができる。ただし、県立学校及び市町村教育委員会はこの限りではない。
イ 1分野での訪問は、年度内2回を上限とする。そのうち1回においては研究授業を実施する。
ウ 2年連続同一分野の申込みはできない。
- (6) 手続き等 **申込み**
ア 支援を希望する学校等は、様式1-1「研修計画書」を作成する。
イ 市町村立学校は、様式1-1を市町村教育委員会へ提出する。
ウ 複数の申し込みをする県立学校及び市町村教育委員会は、すべての申し込みについて優先順位をつける。
エ 県立学校又は市町村教育委員会は、次のGoogleフォームに必要事項を入力し、様式1-1をアップロードした上で県教育研修センターへ申し込む。
I期申込用URL：<https://forms.gle/GnhPmZpy53VdqS257>
※ II期については、令和6年7月末日までに県教育研修センターWebサイトに掲載する。
- 訪問校等選定**
ア 県教育研修センターは、申込みフォームや様式1-1の記載内容を基に審査を行い、訪問する学校等を決定する。
※ 申込状況や計画書等の内容により、要請にお応えできない場合もあることをご了解願います。
イ 県教育研修センターは、県立学校又は市町村教育委員会に、I期は令和6年3月末日まで、II期は令和6年9月末日までに通知する。
ウ 通知後、県教育研修センターは、学校等と支援内容について調整を行い、実施日時

を決定する。

エ 学校等は、指導案等の資料を実施日の2週間前までに県教育研修センターに提出する。

成果検証

学校等は、様式1-2「成果検証報告書」を記載し、既に提出済みの様式1-1に連結させて、令和7年2月末日までに、次のGoogleフォームから県教育研修センターへ提出する。

提出用URL：<https://forms.gle/yo9xHhzNn4YVCPmX6>

(7) 訪問者の旅費 教育研修センターが負担する。（予算の範囲内で支援を行う）

(8) そ の 他 ア 申込数の状況や計画書等の内容により要請に応じられない場合もある。
イ 各分野の研修内容によって、オンラインによる研修も可能とする。

(9) 研修支援「研修テーマ（例）」

学校及び市町村教育委員会は、1～21の各分野から選択して申し込んでください。1～21の各分野に当てはまらない教科・領域については、「22 その他」で申し込んでください。

番号	分野	研修テーマ（例）
1	国語	事柄や根拠を明確にして自分の考えを表現する力を育てる授業づくり
2	社会 地理歴史 公民	習得した知識及び技能を活用し、多角的に考える力（多面的・多角的に考察する力）を育成する授業づくり
3	算数 数学	数学的な思考力、判断力、表現力等を育む授業づくり
4	理科	問題解決の力、科学的に探究する力を育てる授業づくり
5	生活	気付きの質を高める授業づくり
6	音楽	生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する授業づくり
7	図画工作 美術	生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する授業づくり
8	家庭 技術・家庭	生活を工夫し創造する資質・能力を育成する授業づくり
9	体育 保健体育	豊かなスポーツライフを実現する資質・能力の育成を目指した授業づくり
10	外国語活動 外国語（英語）	言語活動を通して資質・能力を育成する授業づくり 思考力・判断力・表現力を高めるパフォーマンステストの課題設定と評価の工夫
11	道徳	自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う道徳教育の在り方
12	総合的な学習の時間 総合的な探究の時間	探究的な見方・考え方を働かせた、横断的・総合的な学習過程の充実
13	特別活動	よりよい自分や学級・学校生活、人間関係をつくる特別活動の在り方
14	情報教育	情報活用能力の育成（プログラミング教育、デジタル・シティズンシップ教育を含む）、ICTを活用した授業づくり、校務のデジタル化のためのICT活用
15	食育	食に関する指導の充実
16	キャリア教育	一人一人の社会的・職業的自立に向けたキャリア教育

番号	分野	研修テーマ（例）
17	人権教育	一人一人を大切にする人権教育の進め方
18	教育相談	教育相談に関する資質・能力の向上
19	特別支援教育	一人一人の障害の状態等に応じた指導の充実
20	学校保健	健康の保持増進を図ることを目指す学校保健の推進の在り方
21	学校運営	学校組織マネジメント・カリキュラムマネジメント等の実践の在り方
22	その他	※ 1～21の各分野に当てはまらない教科・領域、または複数の教科・領域に関連する場合には、「22 その他」で申し込んでください。

4 教育相談に関する事業

(1) 目的

電話相談及び来所相談の充実を図り、不登校やいじめ、非行及び怠学、発達の遅れ等の悩みを抱える幼児児童生徒、保護者及び教職員等の相談に適切に対応する。

(2) 子どもの教育相談

ア 相談内容

- ・不登校に関する事
- ・いじめに関する事
- ・非行や怠学に関する事
- ・子育てやしつけに関する事
- ・進路に関する事
- ・その他必要と認める事

イ 対象

- ・幼児、児童、生徒、保護者、教職員

ウ 相談方法

電話相談

- ・受付日（時間）：月曜日から金曜日まで（午前8時30分から午後8時まで）
土曜日（午前8時30分から午後5時まで）
※ ただし、休日及び12月29日から1月3日までは除く
- ・電話番号：0296-71-3870

FAXでの相談

- ・受付日（時間）：毎日（24時間）
- ・FAX番号：0296-71-3870

メールでの相談

- ・受付日（時間）：毎日（24時間）
- ・メールアドレス：7830@center.ibk.ed.jp

来所相談

- ・受付日（時間）：月曜日から金曜日まで（午前9時から午後4時30分まで）
※ ただし、休日及び12月29日から1月3日までは除く
- ・電話番号：0296-78-3219（教育相談課）
※ 電話予約の上、来所日時を決定

(3) 発達が気になる子どもの教育相談

ア 相談内容

- ・発達が気になる子どもに関する事
- ・学習のつまずきや遅れに関する悩み
- ・その他、身体的・精神的な悩みに関する事
- ・心理的な問題で悩んでいる子どもに関する事
- ・就学や進路に関する事

イ 対象

- ・幼児、児童、生徒、保護者、教職員

ウ 相談方法

電話相談

- ・受付日（時間）：月曜日から金曜日まで（午前9時30分から午後4時30分まで）
※ ただし、休日及び12月29日から1月3日までは除く
- ・電話番号：0296-78-2777（特別支援教育課）

来所相談

- ・受付日（時間）：月曜日から金曜日まで（午前9時30分から午後4時30分まで）
※ ただし、休日及び12月29日から1月3日までは除く
- ・電話番号：0296-78-2777（特別支援教育課）
※ 電話予約の上、来所日時を決定

(4) 専門医による心の健康相談

ア 相談内容

- ・専門医による指導・助言が必要と思われる相談

イ 対象

- ・来所相談の中で専門医による指導・助言が必要と思われる対象者

ウ 相談方法

- ・来所相談

(5) 外部専門家による教育相談

ア 相談内容

- ・発達障害や情緒障害等に関する諸問題
- ・言語障害等に関する諸問題

イ 対象

- ・発達が気になる子どもの教育相談において外部専門家による指導及び助言が必要と認められる幼児、児童及び生徒並びにその保護者
- ・特別な教育的支援が必要な幼児児童生徒と関わる機会のある教職員

ウ 相談方法

- ・来所相談
- ・電話番号：0296-78-2777（特別支援教育課）
- ※ 電話予約の上、来所日時を決定

5 教育情報の収集及び提供に関する事業

本教育研修センターでは、教育研修センター内の図書情報室に資料等を収集するとともに、教材データベースに登録し、これを公開することにより教育に役立つ情報の提供に努めている。

(1) 目的

教育に関する情報を収集し、教育機関・学校等に提供する。

(2) 教育情報の種別と提供方法

種別	主な内容	提供方法
教育文献	研究指定校研究報告書、研究紀要等	図書情報室で閲覧、教育研修センター内貸出
学習指導案	県内の教員から提供された学習指導案	茨城県教育情報ネットワークの教材データベースを利用して提供 教育研修センターのWebページで一部を閲覧可能
教材・教具・素材	県内の教員や教育研修センターの指導主事が作成した教材・教具・素材	教育研修センターのWebページで閲覧可能
研究成果	教育研究に関する研究報告書等	教育研修センターのWebページで閲覧可能
研修資料等	研修講座の資料等	教育研修センターのWebページで閲覧可能

(3) 教材データベースへのアクセス方法

茨城県教育情報ネットワーク（IEIネット）のWebページ（<https://portal.ibk.ed.jp/material-db/list>）にアクセスし、各画面に表示される説明に従って操作することで利用できる。

(4) 図書情報室の利用時間

平日 9:00～17:00（教育研修センターの休所日を除く）

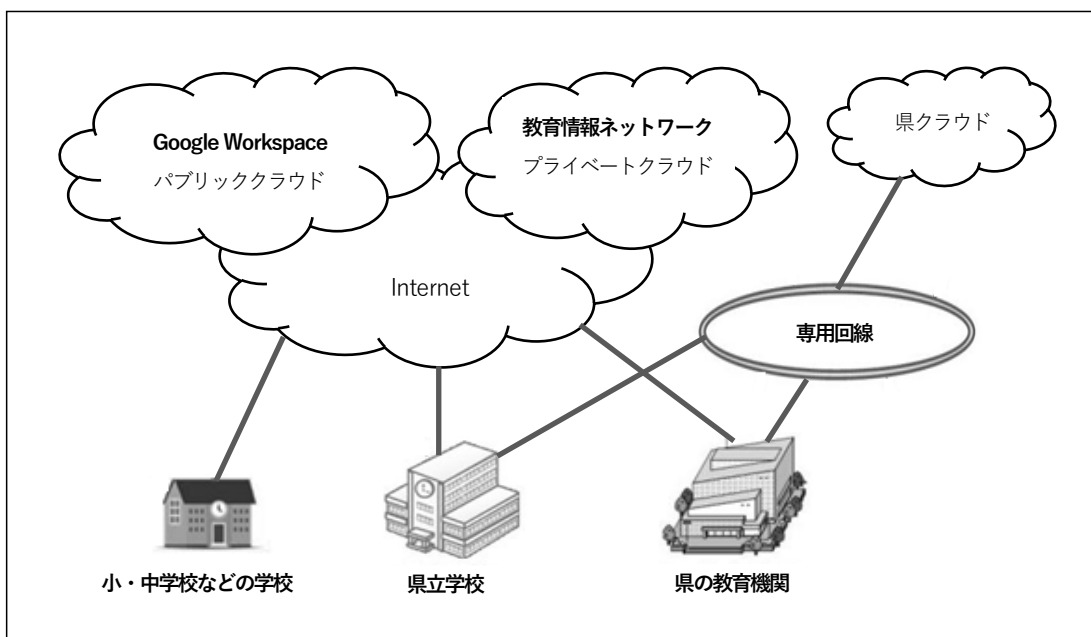
6 茨城県教育情報ネットワークに関する業務

(1) 業務内容

- ア 教育情報ネットワークシステムの運用、保守、管理
- イ 教育情報ネットワーク利用者のアカウント管理
- ウ 教育のデジタル化に係る情報提供、利用支援
- エ 各教育機関からの技術的相談窓口、技術支援

(2) 提供する主なサービス

- ア 回線サービス
(県立学校及び学校以外の教育機関)
- イ フィルタリングサービス
(県立学校及び学校以外の教育機関)
- ウ ポータルサイト
 - ・お知らせ
 - ・文書通知
 - ・教材データベース
 - ・教育用コンテンツ
- エ Google Workspace for Education
(Gmail、Meet、カレンダー、ドライブ、Classroom、YouTube、組織アドレス帳)
- オ Webサービス
(県立学校及び学校以外の教育機関)
- カ 県立学校合格発表サービス



教育情報ネットワークの概念図

7 いばらき輝く教師塾（Ⅰ期・Ⅱ期）

担当：教職教育課
直通：0296-78-3212

令和6年度 いばらき輝く教師塾Ⅰ期

1 目的

教職に関心のある大学・短期大学生等に対し、教員の魅力を伝えるとともに、教員に求められる人間性や専門性について、実践的、協働的に学ぶ研修を行うことにより、教員志望への意欲を高める。

2 対象（条件等）

大学、短期大学及び大学院等に在籍中の者で、県内の公立学校の教員を目指している者。又は、常勤講師や非常勤講師等での勤務経験の有無を問わず、教員免許状を保有している者で、県内の公立学校の教員を目指している者。ただし、過去に受講経験がある者を除く。

3 定員

A班、B班 各120人

4 期日及び会場

班	第1日	第2日
A班	8月20日（火） 教育研修センター	9月6日（金） 笠間市内の公立学校等
B班	8月23日（金） 教育研修センター	9月12日（木） 笠間市内の公立学校等

※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

※ 笠間市内の公立学校（市町村立小・中学校、県立高等学校、県立特別支援学校）

5 日程

期日及び時間：【A班】8月20日（火）【B班】8月23日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	開講式、イントロダクション
	10:00	体験発表「茨城の教員を目指して」 茨城大学教職大学院生
	11:30	昼食
	12:30	グループワーク「教員の魅力について語り合おう」 教諭、センター職員
	14:30	グループワーク「主体的に体験研修に参加するために」 教諭、センター職員
	15:00	第2日ガイダンス（担当職員との顔合わせ、諸連絡等） センター職員
	15:30	リフレクション

期日及び時間：【A班】9月6日（金）【B班】9月12日（木） 8時～16時30分

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	8:00	移動 友部駅 → 各学校
	9:00	体験研修「児童生徒、教職員との交流」 笠間市内の各市町村立小・中学校、県立高等学校、県立友部特別支援学校
		昼食（訪問する学校による）
	14:00	移動 各学校 → 教育研修センター
	15:10	研究協議「体験研修を振り返って」、リフレクション センター職員
	15:50	閉講式
	16:30	移動 教育研修センター → 友部駅

6 携行品

参加者が決定後、連絡する。

令和6年度 いばらき輝く教師塾Ⅱ期

1 目的

県内の公立学校の教員を目指している者に対し、教員として必要となる素養を高めるとともに、教育現場で実際に必要なスキルや考え方に触れ、教員になることへの意欲を高める。

2 対象（条件等）

大学、短期大学及び大学院等に在籍中の者で、県内の公立学校の教員を目指している者。又は、常勤講師や非常勤講師等での勤務経験の有無を問わず、教員免許状を保有している者で、県内の公立学校の教員を目指している者。ただし、過去に受講経験がある者を除く。

3 定員

240人

4 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	9月29日（日）	オンライン研修（自宅等、研修に専念できる場所）
第2日	10月6日（日）	教育研修センター
第3日	10月27日（日）	〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）
第4日	11月17日（日）	

5 日程

期日及び時間：9月29日（日） 9時30分～14時30分（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	開講式
	9:40	イントロダクション
	9:45	所長講話 教育研修センター所長
	10:40	講義・演習「教員の使命とは」 センター職員
	11:30	昼食
	12:20	講義・演習「魅力のある学級づくり」 センター職員
	13:10	ワークショップ「魅力のある学級づくり」 センター職員
	14:20	リフレクション、諸連絡

※ 第1日は、オンライン研修とする。

期日及び時間：10月6日（日） 9時30分～15時15分（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:35	講義・演習「一人一人のこどもが主体的に取り組む授業づくり」 センター職員
	10:35	ワークショップ「一人一人のこどもが主体的に取り組む授業づくり」 センター職員
	12:15	昼食
	13:05	ワークショップ（午前に同じ）
	15:00	リフレクション、諸連絡

期日及び時間：10月27日（日） 9時30分～15時15分（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第3日	9:30	イントロダクション
	9:35	講義・演習「学級で気になるこどもへの支援」 センター職員
	10:30	ワークショップ「学級で気になるこどもへの支援の実際」 センター職員
	11:50	昼食
	12:40	講義・演習「授業におけるICT活用」 センター職員
	13:20	ワークショップ「授業におけるICT活用」 センター職員
	15:05	リフレクション、諸連絡

期日及び時間：11月17日（日） 9時30分～15時15分（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第4日	9:30	イントロダクション
	9:35	講義・演習「一人一人のこどもを大切にする教師の関わり」 教育相談課長
	10:30	ワークショップ「一人一人のこどもを大切にする教師の関わり」 センター職員
	11:50	昼食
	12:40	講義・演習「キャリア教育とは」 センター職員
	13:40	講話「教職を目指すに当たり」 センター職員
	14:40	リフレクション、諸連絡
	15:00	閉講式

6 携行品

第2日以降：受講登録証、昼食等（その都度連絡する）

8 その他の事業

(1) 茨城大学教職大学院との連携

- ・目的

教育研修センターと茨城大学教職大学院が相互に連携協力することにより、茨城県の高度な教育実践を担う教員の育成を目指す。

(2) 常磐大学との連携

- ・目的

教育研修センターと常磐大学が相互に連携協力することにより、茨城県の高度な教育実践を担う教員の育成を目指す。

(3) 茨城キリスト教大学との連携

- ・目的

教育研修センターと茨城キリスト教大学が相互に連携協力することにより、茨城県の高度な教育実践を担う教員の育成を目指す。



茨城県教育研修センター

〒309-1722

茨城県笠間市平町1410

TEL : 0296-78-2121 (代表)

FAX : 0296-78-2122

URL : <https://www.center.ibk.ed.jp/>



各課直通

- ・企画管理課企画係…………… (0296) 78-3629
- ・教職教育課…………… (0296) 78-3212
- ・教科教育課…………… (0296) 78-3213
- ・情報教育課…………… (0296) 78-3211
- ・教育相談課…………… (0296) 78-3219
- ・特別支援教育課…………… (0296) 78-4437
- ・教育情報ネットワーク管理室…………… (0296) 78-3003